



俳書・人名・地名索引

装幀　津田青楓

凡例

俳書大系十六卷に渉つて主要な人名・地名の檢索に便する目的で本索引を編纂したのである。

一、人名索引は本大系第十五卷『俳諧系譜逸話集』所載の人名及び其に洩れたる者若干を選び、主として傳記資料たる可き事項の索引用として作製したので俳諧上の作品には渉つて居ない。但し著書・俳話・文章・書翰の如きは逸せず掲出してあるので、書名及び件名の一部はこれに依つて索出し得るであらう。檢索上の注意としては

一、人名の排列は五十音順に據つたが、イ・ヰ、エ・ヱ、オ・ヲは區別せずア行の部に收めてある。

一、人名の稱呼は一樣に漢字音のまゝ捧讀みとした。但し特殊な呼び方のある人名は其の慣用に從ひ、捧讀みの片假名を振れる者と區別する爲め平假名を施してある。又音訓兩樣に通用する者、例へば乙州の如き「オツシウ」「をとくに」と兩者を左右に振分けて置いた。

一、異名同人は別箇に取扱ひ、異名は異名として排列した上各別號を參照す可く、例へば桃青と記載した末に「芭蕉を見よ」といふ風に注意してある。

一、同名異人は人名の下に本姓か雅號か住所を註し、それを以て別人なる事を明瞭にしてあるが、一世・二世ある者はたゞ其の別を註するに止めた。

一、檢索用の書名は煩はしくとも一々掲記した。但し大系本の標題は『蕉門俳諧前集』を「蕉前」の如く略語を以て表示したが、これは書名によらず直ちに大系本を繰るに便する爲めである。

一、人名索引は鈴木虎之助氏に其の作製、校正を托したのである。

一、地名索引は俳諧に現はれた山水・名所或は地誌の材料を俳諧に求める必要から能ふ限り精細を期したが、本大系十六巻の地名悉くを收錄するは不可能の問題なので、著名なもの若くは文献資料に價するものを採つて、人名索引の姉妹篇たる可く作製したのである。編纂の方針としては

一、收錄せる地名を國・郡、市・町・村、雜に三別し、各五十音順に排列した。

一、國郡市町村の區劃は概して舊制に從ひ、雜には山・川・湖・海・關・橋その他名所・舊蹟を收めた。但し國・郡は俳句・連句に詠まれたものに限る事とした。

一、假名に書れたものは便宜漢字に改め、又二様の讀み方あるは二様に振假名を施した。

一、同名の地にて二箇所以上あるもの、或は迷ひ易きものは地名の下に所在を註し、當て字には正字を添へ、所在不明のものは姑く?を附して置いた。

一、『本朝文選』の「鎌倉賦」の類はその中の一々の地名を採らず、たゞ鎌倉として、項末の「參考」にこれを示す事とした。

一、地名が他の語と結びて別の意味をなすもの、例へば堅田鮒・富士垢離・熊谷笠の如き、又、山州・東・中國・金城の如き並に神社・佛閣はすべて省略して揭げない。

一、地名索引は神津道一氏に其の作製・校正を托したのである。

一、芭蕉・蕪村・一茶の全句索引は俳書大系の編纂上特に時代を代表する三人物として重視した關係と、各一代集を編纂して一卷となせる事とから最初の豫定には入れてなかつたが、本索引の人名・地名を鈴木・神津兩氏に依囑すると

共に、私自身その編纂をなしたのである。

一、芭蕉・蕪村・一茶の三索引共、各一代集を主として大系本十六卷に渉つて、其の俳句を收錄し、連句は發句の上中のみを掲げ、五十音順に排列せる事人名・地名索引と同一である。

一、各句上部の括弧内に註せるは所載書名又は各一代集の俳句・連句集名の略語にて、下部の括弧内に記せるは大系本の卷名である。

一、芭蕉全句索引には第一卷『芭蕉一代集』編纂後に發見せる逸句及び收錄洩れ又混入句の判明せるものを追加の意味にて右記の諸句を挿入又は削除してある。

一、新に挿入せるもの

竹内一枝軒にて

世ににほへ梅花一枝のみそさゝい　（住吉物語）

山里は萬歲おそし梅の花　（笈日記）

梅咲や臼の挽木のよき曲り　（おか玉の木）

吹度に蝶の居なをる柳哉　（わたまし抄）

いも植て門は葎のわか葉哉　（笈小文）

しばし間もまつやほときす千年　（續山井）

五月雨や桶の輪切る夜の聲　（一字幽蘭集）

水雞啼と人のいへばや佐屋泊　（笈日記）

秋ちかき心の寄や四疊半　（鳥の道）

今日よりや書付消さん笠の露　（奥の細道）

身にしみて大根からし秋の風　（更科紀行）

おくられつおくりつ果は木曾の秋　（同　）

しほらしき名や小松吹萩すゝき　（奥の細道）

朝な〳〵手習すゝむきり〴〵す　（廖詰庵入日記）

行燕又來る芽はり柳迄　（障子紙）

いものはや月待さとの燒はたけ　（鹿島詣）

月さびよ明智の妻の咄しせん　（勸進牒）

鎖あけて月さし入よ浮み堂　（笈日記）

面白き穐の朝寐や亭主ぶり　（翁草）

幾秋のせまりて芥子に隱しけり　（翁草）

年は人にとらせていつも若夷　（千宜理記）

文ならぬいろはもかきて火中哉　（同　）

命こそ芋種よ又今日の月　（同　）

廿九日立春ナレハ

春やこし年や行けん小晦日　（同　）

日の星や花をねかひの糸櫻 （同）

人毎の口に有也した椛 （同）

一、混入句として削除すべきもの

（作者惟然）笠の緒に柳縮る旅出かな （惟然坊句集）

（同）古沓や花の旅出の拾ひばき（もの） （同）

（作者一鐵）東路の毛髄恥かし床すゞみ （江戸蛇の鮓）

（作者杉風）玉川の水におほれそ（こ）女郎花 （杉風句集）

（作者涼菟）もろ〳〵の心柳にまかすべし （水薦刈）

（作者素堂）此わすれ流るゝ年の淀ならん （はせを盥）

（作者布仙）けさ散し甲斐の落ばや田子の浦 （綾錦）

（作者去來）誰〳〵もひがし向らん月の暮 （續虛栗）

（作者支考）水上はうぐひす啼て水淺し （笈日記　蓮二吟集）

（作者桃隣）三日月や早手にさはる草の露 （古太白堂句選）

一、作者孰れとも決し難く姑く不審抄に入る可きもの

たはみては雪ま（も）つ竹のけしき哉 （笈日記——芭蕉　杉風句集——杉風）

鶯や雀よけ行枝うつり （平安廿歌仙——芭蕉　藤の實——素牛）

武藏野や一寸ほどな鹿の聲 （當世男——桃青　坂東太郎——西望）

一、芭蕉全句索引に挿入又は削除せるものは川西和露、頴原退藏兩氏の指示及び『國語國文の研究』能勢氏の千宜理記の紹介によるところが多い。

昭和三年一月十七日

勝峰晋風

日本俳書大系 第十六巻 俳書人名地名索引 目次

（總頁數六〇二）

俳書人名索引

俳書人名索引

ア

イ

依々（イイ） 蕉門諸生全傳(系譜二九一)

友意（イウイ） 傳記、誹家大系圖(系譜二五七)

遊蘭（イウラン） 住所、京羽二重(逸話一三八)

友我（イウガ） 師承、誹諧作者名寄(系譜五)
誹諧作者名寄(系譜一二)
俳系、綾錦(系譜二六)
傳記、誹家大系圖(系譜二四三)

友閑（イウカン） 師承、誹諧作者名寄(系譜三)
傳記、家譜拾遺(系譜一三四)
傳記、誹家大系圖(系譜二三三)
師承、京羽二重(逸話一四九)

右寄（イウゲワ） 傳記、家譜後拾遺(系譜一五六)

有計（イウケイ） 傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一七九)
俳系、葛飾蕉門分脈系圖(系譜二〇二)

遊計（イウケイ） 住所、京羽二重 逸話一三九)

友賢（イウケン） 幽山に寄する詩文、誹枕(談林四五一)

呦軒（イウケン） 住所、京羽二重(逸話一三七)

由健（イウケン） 傳記、誹家大系圖(系譜二三〇)

又玄（イウゲン） 住所、京羽二重(逸話一三九)

由已（イウキ） 太閤の執筆をつとめし事、鷹筑波(一門三五〇)

友吉（イウキチ） 傳記、誹家大系圖(系譜二四八)

有恭（イウキヤウ） 傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一八〇)
傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜二〇二)

友琴（イウキン） 花見車(逸話一〇九)

友光（イウクワウ） 師承、誹諧作者名寄(系譜六)

有克（イウコク） 傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一八〇・二〇二)

遊谷（イウコク） 貞德永代記(逸話三三六)

友作（イウサク） 住所、京羽二重(逸話一三二)

友三（イウサン） 師承、誹諧作者名寄(系譜四)
師承、綾錦(逸話二六)
傳記、家譜拾遺(系譜一三六)
傳記、誹家大系圖(系譜二四三)

幽山（イウザン） 著書、誹枕(談林四一七)
著書、江戸八百韻(談林三三七)
傳記、誹家大系圖(系譜二三六)

友之（イウシ） 師承、綾錦(系譜二九)

友資（イウシン） 住所、京羽二重(逸話一三八)
傳記、誹家大系圖(系譜二三九)

由至（イウシ） 傳記、家譜拾遺(系譜一四四)

友次（イウジ） 師承、誹諧作者名寄(系譜一二)
傳記、誹家大系圖(系譜三三五・二六〇)

有次（立圃門）（イウジ） 誹諧作者名寄 (系譜八・三)
傳記、誹家大系圖(系譜一三四)

有次（幸和門）（イウジ） 誹諧作者名寄(系譜九)

由章（イウシヤウ） 住所、京羽二重(逸話一三〇)

友水（イウスキ） 傳記、家譜拾遺(系譜一四一)

友正（イウセイ） 師承、誹諧作者名寄(系譜八)
誹諧作者名寄(系譜一三)

有靜（イウセイ） 師承、誹諧作者名寄(系譜九)
傳記、誹家大系圖(系譜三八)

遊生（イウセイ） 住所、京羽二重(逸話一四四)
傳記、誹諧家譜(系譜七七)
傳記、誹家大系圖(系譜二二〇)

翁病床日記、芭蕉翁反古文（逸話二五四）
住吉明神へ翁の平復を祈、芭蕉翁反古文（逸話二五七）
越中に浪化を訪ふ、續有磯海（蕉後一六七）
長崎の卯七亭に宿る、渡鳥集（蕉後二三六）
鬼貫を揶揄す、七車（元祿六八）
椎葉文の事、惟然坊句集（元祿三六九）
坊名ヲ僞リ俳席ニ交る事、惟然坊句集（元祿三六九）
翁に隨從行脚の事、惟然坊句集（元祿三七〇）
芭蕉遷化後旅の具携行の事、惟然坊句集（元祿三七一）
婚家に一宿の說、誹諧世說（逸話三六）
婚家一宿の事、惟然坊句集（元祿三七一）
惟然坊娘に逢ふ並時雨の吟、芭蕉翁頭陀物語（逸話三〇）
娘父を慕ひ都へ登る事並薙髮の事惟然坊句集（元祿三七二）
市上に娘に逢ふ事、惟然坊句集（元祿三七二）
無名庵に假寓、浪化上人發句集（元祿四三）
風羅念佛の事、惟然坊句集（元祿三七〇）
風羅念佛の事、枇杷園隨筆（近話一三七）
贊讃、惟然坊句集（元祿三六九）
東暇宛書翰、惟然坊句集（元祿三六四）
意專宛書翰、惟然坊句集（元祿三六六）

惟中（キチユウ） 著書、破邪顯正返答（貞門五七九）
傳記、誹諧家譜（系譜八五）
師承、家譜拾遺（系譜一三四）
傳記、誹家大系圖（系譜二六三）

惟豐（キホウ） 住所、京羽二重（逸話一三三）

渭北（キホク）（大阪） 花見車（逸話一〇六）

渭北（キホク）（江戸） 舊名麥天、蕪村の奔走にて俳席を設くる事、新華摘（蕪村四三）

僞文（キブン） 住所、京羽二重（逸話一三三）
花見車（逸話一一三）

員九（キンキウ） 傳記、誹諧家譜（系譜一〇三）
傳記、誹家大系圖（系譜二六八）
題詠の事、はいかい袋（中話二四三）

尹具（キング） 住所、京羽二重（系譜一三八）

員戌（キンセイ） 師承、誹諧作者名寄（系譜六）

ウ

雨行（ウカウ） 住所、京羽二重（逸話一三五）

烏玉（ウヒヨク） 住所、京羽二重（逸話一三二）
花見車（逸話一一三）

羽貫（ウクワン） 住所、かゝ見種（系譜一九九）

宇古（ウコ） 傳記、蕉門諸生全傳（系譜一六七）

羽紅（ウコウ）（竹田氏） 傳記、誹諧家譜（系譜九六）
傳記、誹家大系圖（系譜逸話二五四）

羽紅（ウコウ）（凡兆妻） 芭蕉に腰綿を送る（芭蕉七六）

羽紅夫婦落柿舍に泊る、嵯峨日記（芭蕉六〇五）

鵜江（ウコウ）　傳記、家譜拾遺（系譜一四五）

雨言（ウゲン）　傳記、家譜後拾遺（系譜一五六）

雨谷（ウコク）　傳記、誹家大系圖（系譜二六九）

氏重（うじしげ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜二〇四）

師承、誹諧作者名寄（系譜四・九）

卯七（ウシチ）　傳記、誹家大系圖（系譜二三六）

著書、渡鳥集（蕉後三二）

傳記、蕉門諸生全傳（系譜二九〇）

西瓜の句評の事、去來抄（蕉話二五八）

游₂簾雪庵₁並序、渡鳥集（蕉後二五〇）

長崎に芭蕉塚を立つ、渡鳥集（蕉後二三八）

氏守（うじもり）　露川と閑談、西國曲（蕉續二一〇）

傳記、誹家大系圖（系譜二五七）

烏水（ウスヰ）　住所、京羽二重（逸話一三四）

雨澤（ウタク）　住所、かゝ見種（系譜二〇三）

宇中（ウチユウ）　傳₂千代女₁書、千代尼句集（中名三三二）

烏朝（ウテウ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一八二）

烏調（ウテウ）　傳記、誹諧家譜（系譜一〇七）

于當（ワタウ）　著書、閼湾水物語（近名四七九）

蕉翁十哲の評、閼湾水物語（近名五〇九）

續幻住菴記、閼湾水物語（近名五一〇）

羽白（ウハク）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一七七）

烏明（ウメイ）　著書、ふたつの文（芭蕉七〇七）

雨柳（ウリウ）　傳記、家譜後拾遺（系譜一五六）

羽笠（ウリツ）　傳記、蕉門諸生全傳（系譜二八六）

羽林（ウリン）　麥林舍發句集題（元祿四五五）

烏林（ウリン）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一八七）

雨林（ウリン）　住所、かゝ見種（系譜一九八）

雲閑（ウンカン）　師承、誹諧作者名寄（系譜七）

雲鼓（ウンコ）　傳記、誹諧家譜（系譜九五）

傳記、誹家大系圖（系譜二三七）

花見車（逸話九七）

雲五（ウンゴ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一七七）

雲砂（ウンナ）　傳記、誹諧家譜（系譜一〇一）

雲水（ウンスヰ）　住所、京羽二重（逸話一四二）

貞德永代記（逸話二四三）

雲扇（ウンセン）　傳記、誹諧家譜（系譜九五）

傳記、誹家大系圖（系譜二三七）

雲堂（ウンダウ）　傳記、誹諧家譜（系譜九五）

傳記、誹家大系圖（系譜二三七）

雲知（ウンチ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一八三）

雲竹（ウンチク）　自畫像に芭蕉の讃（芭蕉五八）

大師の後に細字雲竹、鵲尾冠（蕉續一三三）

雲峰（ウンポウ）　傳記、誹諧家譜（系譜九五）

傳記、誹家大系圖（系譜二三八）

雲裡坊（ウンリバウ）　芭蕉の眞蹟を藏す（芭蕉六一三）

著書、笈のわか葉（蕉續三七九）

傳記、本朝文選（蕉話四九四）

傳記、誹諧家譜（系譜九五）

傳記、誹家大系圖（系譜二三七）

蕉門諸生全傳（系譜二八八）

歷代滑稽傳（逸話一八）

雲鈴（ウンレイ）

エ

花見車(逸話一〇六)
畫像、陸奥衛(蕉後三三八)

艶之(エンシ)(齋藤)　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一九〇・一九四)

燕志(エンシ)　住所、かゝ見種(系譜三〇四)

淵瀬(エンセイ)　住所、京羽二重(逸話一三五)
花見車(逸話一一三)

ヱ

越人(エツジン)　著書、庭竈集(後六二三)
鵲尾冠(蕉續一〇九)
俳諧不猫蛇(蕉話三一三)
猪の早太(蕉話三六五)
傳記、蕉門諸生全傳(系譜二八二)
歴代滑稽傳(逸話一三)
丈草等と石山ニ會す。芭蕉翁頭陀物語(逸話三一)
舊懷の吟、俳諧世說(逸話七四)
寄根ヶ峯(蕉話四八一)
大垣に芭蕉を訪ふ、奥の細道(芭蕉六〇一)
肖柏所持名香あらし山を文隣より得、曠野(蕉前一六三)
題法華經十卷序、庭竈集(蕉後六四二)
芭蕉庵懷舊、庭竈集(蕉後六四七)
本情をあらはす、去來抄(蕉話二四四)
續猿蓑は支考の僞書なる事を論ず不猫蛇(蕉話三一八)
支考の十論を難ず、不猫蛇(蕉話三一三)
ひさご序(蕉前三六五)
問ず語、鵲尾冠(蕉續一二一)
人心靈妙、鵲尾冠(蕉續一三一)
峨眉山論、鵲尾冠(蕉續一五六)
菊の論、鵲尾冠(蕉續一五七)
舍了翁ノ靈至ニ投ず、鵲尾冠(蕉續一六二)
芭蕉と杜國を訪ふ事、鵲尾冠(蕉續一八六)
歴代滑稽傳(逸話一八)

越闌(エツラン)　歴代滑稽傳(逸話一八)

猿左(エンサ)　水鷹苅跋(近名一九六)

圓佐(エンサ)　住所、京羽二重(逸話一三四)
花見車(逸話一二四)

圓山(エンサン)　住所、京羽二重(逸話一三六)

猿山(エンザン)　鬼貫と戯る、水鷹苅(近名一八四)

遠山(エンサン)　傳記、誹諧家譜(系譜一〇四)

遠之(エンシ)　住所、京羽二重(逸話一四一)

遠舟(エンシウ)　傳記、誹家大系圖(系譜二六五)

猿離(エイスキ)　傳記、蕉門諸生全傳(系譜二八六)

遠水(エンスヰ)　師承、綾錦(系譜三一)
蕉門諸生全傳(系譜二九〇)

圓木(エンホク)　住所、京羽二重(逸話一三七)

圓立(エンリツ)　住所、京羽二重(逸話一四四)
傳記、誹家大系圖(系譜二三四)

オ

應隨　傳記、家譜拾遺(系譜一四一)
俳系、家譜後拾遺(系譜一五六)

乙由　傳記、誹家大系圖(系譜三五九)
著書、麥林集(元祿四五三)
師承、綾錦(系譜六六)
傳記、蕉門諸生全傳(系譜二八七)
支考に句を奪る、芭蕉翁頭陀物語(逸話二九)
支考へ文通、芭蕉翁頭陀物語(逸話二八)
月花の姿情を悟る、芭蕉翁頭陀物語(逸話三六)
支考と才を戰ふ、芭蕉翁頭陀物語(逸話三七)
或人麥林に句姿を問ふ說、誹諧世說(逸話七〇)
遊里に通ふ說、誹諧世說(逸話七〇)
自遁庵の記、麥林集(元祿五〇五)
句法の說、南北新話(中話八〇)
附句の說、南北新話(中話九二)
祖翁の傳燈を繼ぐ、落葉考(中話三一〇)
句案に凝り欄より落ちし話、新雜談集(中話四三)
桃靑を感ぜしむ並うき草の句に就て、玉池雜藻(近話七九)
千代尼句評と書翰、千代尼句集(中名家三三)
希因宛書翰、落葉考(中話二一六)

乙孝　著書、一幅半(蕉後四五七)
水風呂のことば、一幅半(蕉四七八・四八〇)

乙二　著書、はたけせり(近名五三三)
斧の柄(近名三九七)
句集をのゝえ草稿(近話三四九)
筥館より松前の紀行、斧の柄(近名四〇一)
句作の事、はたけせり(近名五三五)

乙見　閑人を訪ふ心得、はいかい袋(中話二〇九)

乙州　傳記、蕉門諸生全傳(系譜二八三)
歷代滑稽傳(逸話三)
義仲寺法莚、芭蕉翁頭陀物語(逸話二六)
花見車(逸話一八)
師の恩によつてその名を得たる說、靑根ケ峯(蕉話四七八)
笈の小文を出す(芭蕉五七二)
住吉明神へ翁の平復を祈、芭蕉翁反古文(逸話三五七)

乙勝　住所、京羽二重(逸話一四二)

乙雉　住所、かゝ見種(系譜三〇二)

鬼貫　著書、獨言(元祿九三)
鬼貫句選(元祿二一)
句集、七車(元祿四九)
師承、綾錦(系譜二五)
傳記、誹諧家譜(系譜一〇二)

鬼貫

ヲ

カ

可理（カリ）
師承、綾錦（系譜三五）
傳記、誹諧家譜（系譜八四）
俳系、家譜拾遺（系譜一三四）
傳記、誹家大系圖（系譜二三三）
誹諧作者名寄（系譜三）

訶流（カリウ）
傳記、誹家大系圖（系譜二三三）
傳記・誹諧家譜（系譜八七）

加連（カレン）
傳記、誹家大系圖（系譜二五七）

我鈩（ガロ）
住所・京羽二重（逸話一三八）

岩翁（ガンオウ）
蕉門諸生全傳（系譜二九〇）
花見車（逸話一一七）

間加（カンカ）
傳記、誹家大系圖（系譜二六〇）

雁臺（ガンタイ）
傳記、誹諧家譜（系譜一〇六）

雁宕（ガンタウ）
著書、夜半亭發句帖（中興五七）
蓼すり古義（中話四九一）
俳諧一字般若（中話五一三）
蓼太を仙臺の旅寓に訪ふ説、遲八刻（中話五〇四）

閑空（カンクウ）
傳記、家譜後拾遺（系譜一五五）

寒月（カンゲツ）
住所、京羽二重（逸話一三五）

甘谷（カンコク）
師承、綾錦（系譜三一）

潤水（カンスヰ）
傳記・誹諧大系圖（系譜二七〇）
住所、京羽二重（逸話一四〇）

岸柚（ガンセン）
住所・京羽二重（逸話三六）

岸芷（ガンシ）
去來文序（蕉話二八一）

岸紫（ガンシ）
花見車（逸話一〇三）

竿秋（カンシウ）
傳記・誹諧家譜（系譜九二）
俳系・家譜拾遺（系譜一三九）
傳記、家譜拾遺（系譜一四〇）
俳系、家譜後拾遺（系譜一五六）

岩勝（ガンショウ）
住所、京羽二重（逸話一三三）

諫圃（カンホ）
成美家集序（近話四三）

閑里（カンリ）
傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜二〇〇）

キ

龜友（キイウ）
住所、京羽二重（逸話一三九）

起一（キイチ）
傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜二〇四）

几逸（キイツ）
著書、雜話抄（中話一）
俳系、家譜拾遺（系譜一四五）
住所・かゝ見種（系譜二九七）
假名の詩、雜話抄（中話一三）
和讃、雜話抄（中話一三）
放鳥辭、雜話抄（中話一三）
冬瓜說、雜話抄（中話一四）

希因（キイン）
花まうけ序、翺隨筆（中話二六）
俳諧の辨、南北新話（中話八〇）
麥林の句を喜ぶ、南北新話（中話八三）
附樣に就ての話、俳懺悔（中話一六九）

喜隱（キイン）
新撰武藏曲跋（中名九二）

休安（キウアン）
師承、誹諧作者名寄（系譜一〇）

牛行（ギウカウ）
傳記・家譜後拾遺（系譜一五九）

休々（キウキウ）
浪化上人發句集跋（元祿四二七）

休計（キウケイ）
花見車（逸話一一七）

舊國（キウコク・ふるくに）
傳記、俳懺悔（中話一九九）
松嶋にて蓼太の句を感じ、其門に入る、俳懺悔（中話一四三）
一音・二柳の句を評す、新雜談集

(中話四三)
大江丸(オホエマル)ヲ見ヨ
玖山(キウザン)　淸水寺花の會、貞德永代記(逸話一七六)
求之(キウノ)　住所、京羽二重(逸話三三七)
久次(キウジ)　師承、誹諧作者名寄(系譜八)
傳記、誹家大系圖(系譜三三七)
舊室(キウシツ)　傳記・西山家連誹系譜(系譜一六五)
俳道の奧儀の話、俳懺悔(中話一九〇)
一卷の變化の話・はいかい袋(中話三五一)
活々坊(クワツ〳〵バウ)ヲ見ヨ
九節(キウセツ)　蕉門諸生全傳(系譜二九一)
九井(キウセヰ)　傳記、西山家連誹系譜(系譜一六六)
久重(キウヂユウ・ひさしげ)　師承、誹諧作者名寄(系譜四)
九重(キウヂウ)　傳記、家譜後拾遺(系譜一五六)
久德(キウトク)　師承、誹諧作者名寄(系譜五)
牛呑(ギウドン)　住所・かゝ見種(系譜二九九)
舊白(キウハク)　住所、京羽二重(逸話三三七)
久武(キウブ)　傳記、誹家大系圖(系譜二四八)

休甫(キウホ)　誹諧作者名寄(系譜一〇)
傳記、誹家大系圖(系譜二三二)
師承・京羽二重(逸話一四九)
夷中誹士の事・貞德永代記(逸話一九三)
点取者を諷刺す、玉池雜藻(近話二一)
休也(キウヤ)　師承、誹諧作者名寄(系譜六)
玖也(キウヤ)　師承・綾錦(系譜三二)
傳記、誹家大系圖(系譜二四九)
舊旅(キウリヨ)　傳記、誹家大系圖(系譜二四九)
喜雲(キウン)　師承　誹諧作者名寄(系譜五)
傳記、誹諧家譜(系譜八九)
傳記、誹家大系圖(系譜二四〇)
其英(キエイ)　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一九〇)
奇淵(キエン)　著書、新がはづ合(近名四三五)
龜翁(キオウ)　蕉門諸生全傳(系譜二九〇)
十四才一夏百句を吟して其角・沾德を感ぜしむ、勸進牒(蕉前二九九)
鬼翁(キヲウ)　大矢數序(談林四七三)

幾音(キオン)　傳記、誹家大系圖(系譜二六四)
記孝(キカウ)　師承、誹諧作者名寄(系譜九)
其角(キカク)　著書、田舍句合(芭蕉五一九)
虛栗(蕉前一三)
續虛栗(蕉前四三)
いつを昔、誹番匠(蕉前三一三)
華摘(蕉前三三一)
枯尾花(蕉前六〇三)
五元集(元祿一九一)
類柑子(元祿五〇七)
初懷紙、落葉考(中話二九八)
光陰鼠の道行、俳諧鼠道行(近名三七)
傳記・本朝文選(蕉話四九三)
俳系、綾錦(系譜二九)
傳記、誹諧家譜(系譜九〇)
俳系、家譜拾遺(系譜一三六)
傳記、蕉門諸生全傳(系譜二七七)
歷代滑稽傳(逸話一一)
傳記、はいかい袋(中話二一六)
傳記・類柑文集(元祿五九五・六〇五)

ク

ケ

慶友（ケイイウ）　誹諧作者名寄（系譜一〇）
傳記・綾錦（系譜二四）
歴代滑稽傳（逸話七）
俳系、京羽二重（逸話一四九）
夷中誹士の事、貞徳永代記（逸話一九三）

月雄（ゲツイウ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一九七）

敬雨（ケイウ）　著書、花月六百韻（中名一三）
祇空（ギクウ）ヲ見ヨ

徑烏（ケイウ）　傳記、誹諧家譜（系譜一〇七）

桂岡（ケイカウ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一八八）

鷄賀（ケイガ）　住所、京羽二重（逸話一四）

啓宜（ケイギ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一九八）

景卿（ケイキヤウ）　住所・京羽二重（逸話一四一）

雞冠（ケイクワン）　住所、かゝ見種（系譜三〇四）

雞口（ケイコウ）　住所、かゝ見種（系譜三〇四）

蕳口（ケイコウ）　傳記、蕉門諸生全傳（系譜二八五）
傳記・本朝文選（蕉話四九四）

惠佐（ケイサ）　寄根ケ峯（蕉話四八〇）
歴代滑稽傳（逸話三）
花見車（逸話一一九）
團扇ノ賛、本朝文選（蕉話六一五）
師承、誹諧作者名寄（系譜五）
師承、綾錦（系譜二五）

勁齋（ケイサイ）　傳記、誹家大系圖（系譜二四一）
嵐亭誹話跋（近話二四四）

慶山（ケイサン）　傳記、誹諧家譜（系譜九三）

桂山（ケイサン）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜二〇一）

珪山（ケイサン）　住所・かゝ見種（系譜三〇四）

慶士（ケイシ）　傳記、家譜後拾遺（系譜一五四）

啓字（ケイジ）　傳記、誹諧家譜（系譜一〇二）

桂洲（ケイシウ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一八八）

景俊（ケイシユン）　師承、綾錦（系譜三

溪石（ケイセキ）　蕉門諸生全傳（系譜二九〇）

輕素（ケイソ）　俳仙窟序（中話一一）

輕定（ケイテイ）　傳記、誹諧家譜（系譜八九）
傳記、誹家大系圖（系譜二四三）

徑童（ケイドウ）（一世）　傳記・家譜拾遺（系譜一三九）
俳系・家譜拾遺（系譜一四五）

徑童（ケイドウ）（二世）　傳記、家譜拾遺（系譜一四五）

溪尾（ケイビ）　傳記、誹諧家譜（系譜一〇四）

惠方（ケイハウ）　住所、京羽二重（逸話一三二）

慶命（ケイメイ）　住所・京羽二重（逸話一三五）

莖羅（ケイラ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一八七）

敬林（ケイリン）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一七六）

珪琳（ケイリン）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一七七）

桂露（ケイロ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一九八）

曉雨（ゲウウ）　著書、新撰武藏曲（中典七九）

曉翁（ゲウヲウ）　全史に曉雨の號を與へ曉翁と改む
新撰武藏曲（中名八一）

曉臺（ゲウタイ）　著書、秋の日（中典五〇五）
曉臺句集（天明三八九）
丈芝と共に士朗・都貢の京の旅寐を訪ふ、幣ふくろ（中名五一〇）
太魯に誘はれて京より大阪に下る、幣ふくろ（中名五三三）
病床苦吟・新華摘（近名六九）
蕪村の法筵に對して（から檜葉一三）
曉臺の附句几董を感嘆せしむ・新

元順　蕉門諸生全傳(系譜二九〇)　花見車(逸話一〇七)

元恕　傳記、誹家大系圖(系譜二四六)

原松　師承、綾錦(系譜六五)　傳記、誹諧家譜(系譜九二)　傳記、蕉門諸生全傳(系譜二八五)　都不富宛書翰並に傳記、隨齋諧話(近話一九六)　其角の傳書は虚妄の說(中話四九四)

元辰　師承、誹諧作者名寄(系譜四)

元親　師承、誹諧作者名寄(系譜四)

見性　傳記、誹家大系圖(系譜二六〇)

顯成　師承、誹諧作者名寄(系譜一〇)　傳記、誹家大系圖(系譜二三五)

元清　住所、京羽二重(逸話一三四)

元晴　師承、誹諧作者名寄(系譜四)

元正　傳記、誹家大系圖(系譜三三六)

見笑　師承、誹諧作者名寄(系譜七)

言石　傳記、誹諧家譜(系譜八八)　傳記、誹家大系圖(系譜二三六)

玄仝　誹諧作者名寄(系譜一三)

言泰　師承、誹諧作者名寄(系譜八)

乾宅　師承、誹諧作者名寄(系譜一三)

元知　師承、誹諧作者名寄(系譜四)　俳系、誹諧作者名寄(系譜六)　傳記、誹諧家譜(系譜八四)　俳系、家譜拾遺(系譜一三四)　傳記、誹家大系圖(系譜三三四)

言聽　師承、誹諧作者名寄(系譜五)　傳記、誹家大系圖(系譜二四一)

元重　師承、誹諧作者名寄(系譜七)

元定　師承、誹諧作者名寄(系譜一三)　傳記、誹家大系圖(系譜三三三)

元貞　師承、綾錦(系譜二七)

絢堂　素丸發句集序(天明五四九)

賺堂　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一七五)

謙堂　不白翁句集序(近話三一三)

言當　傳記、誹家大系圖(系譜三三六)　俳系、誹家大系圖(系譜二六二)

原棠　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜二〇〇)

玄梅　梅月を教ふ、芭蕉翁頭陀物語　(系譜三〇)

元輔　もとすけヲ見ヨ

兼豐　師承、綾錦(系譜二八)　傳記、誹家大系圖(系譜二六〇)

乾峰(一世)　傳記、誹諧家譜(系譜九五)　俳系、家譜拾遺(系譜一三九)　俳系、家譜後拾遺(系譜一五六)　傳記、誹家大系圖(系譜三三九)

乾峰(二世)　傳記、誹諧家譜(系譜九五)　傳記、誹家大系圖(三三九)　傳記、家譜拾遺(一四〇)

乾峰(三世)　傳記、家譜後拾遺　(系譜一五六)　傳記、誹家大系圖(系譜三三九)

元夢　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一七六)

玄茂　師承、誹諧作者名寄(系譜一四)

謙也　師承、誹諧作者名寄(系譜一四)

犬養　住所、かゝ見種(系譜三〇一)

元來　住所、京羽二重(逸話一三二)

軒柳(油小路)　住所、京羽二重(逸話二一七)

コ

サ

西角（サイカク）　一日四千句獨吟の景況、大矢數（談林五九〇）
第三後水尾院より御たづねの事、俳懺悔（中話一五六）
傳記、誹諧家譜（系譜一〇〇）
俳系、家譜拾遺（系譜一四三）
傳記、誹家大系圖（系譜二五八）
住所、京羽二重（逸話一四一）

西吟（サイギン）　著書、庵櫻（談林三三五）
傳記、誹諧家譜（系譜一〇六）
傳記、誹家大系圖（系譜二六七）
花見車（逸話二二）
落日庵の圖、庵櫻（談林三三七）

西國（サイコク）　傳記、誹家大系圖（系譜二六四）

柴舟（サイシウ）　傳記、誹家大系圖（系譜二六六）

西隨（サイズイ）　傳記、誹家大系圖（系譜二六六）

宰陀（サイダ）　傳記、誹諧家譜（系譜一〇八）

齋當（サイタウ）　傳記、誹家大系圖（系譜二六二）

在轉（ザイテン）　住所、かゝ見種（系譜三〇五）

西武（サイブ・にしたけ）　著書、鷹筑波（貞門一七三）
師承、誹諧作者名寄（系譜三・五）
俳系、綾錦（系譜二五）
傳記、誹諧家譜（系譜八二）
俳系、家譜拾遺（系譜一三四）
傳記、誹家大系圖（系譜二三〇）
俳系、誹家大系圖（系譜二四四）
傳記、はいかい袋（中話三三）
歴代滑稽傳（逸話五）
俳系、京羽二重（逸話一四九）
妙滿寺雪の會、貞德永代記（逸話一〇）
芦の丸屋月の會、貞德永代記（逸話一八三）
十首狂詠、貞德永代記（逸話一八六）
萬葉之誹諧、貞德永代記（逸話一八七）
元日三物付の事、貞德永代記（逸話一九〇）
誹諧發句帳的傳正統の事、貞德永代記（逸話一九二）
古點者品定の事、貞德永代記（逸話一九九）
貞德夢物語、貞德永代記（系譜二一七）

西馬（サイバ）　おらが春跋（一茶二一）

才麿（サイマロ）　才麿發句拔萃（元祿一七）
俳系、綾錦（系譜三二）
師承、綾錦（系譜六五）
俳系、誹諧家譜（系譜八八）
傳記、誹諧家譜（系譜一〇三）
傳記、西山家連誹系譜（系譜一六五）
傳記、誹家大系圖（系譜二六七）
傳記、はいかい袋（中話二〇九）
花見車（逸話一〇〇）
畫像、才麿發句拔萃（元祿一八四）
椎能恩爺忌（元祿一八五）
東日記序（談林一八七）

在命尼（ザイメイニ）　傳記、蕉門諸生全傳（系譜二八五）

蒼虬（サウキウ）　蒼虬句集（近話六一九）
傳記、蒼虬翁句集（近話六三一）

巣鳩（サウキウ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一七九）

巣居（リウキヨ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一八七）

シ

傳記・葛飾蕉門分脈系圖(系譜一九九)
秀延　師承、誹諧作者名寄(系譜七)
秀億　住所、かゝ見種(系譜二九九)
秋香　傳記、誹家大系圖(系譜一六五)
秋擧　惟然坊句集(元祿三六一)
　枇杷園隨筆序(近話一三三)
周桂　綾錦(系譜一四)
秋月　傳記・誹家大系圖(系譜二三三)
修古　傳記・家譜拾遺(系譜一四〇)
周午　師承、綾錦(系譜七〇)
秀興　住所、京羽二重(逸話一三三)
秀國　住所、かゝ見種(系譜二〇五)
秋色女　師承、綾錦(系譜二九)
　花見車(逸話二八)
　古着店を仕舞ひそば切屋となる、隨齋諧話(近話二〇四)
秋色(二世)　住所、かゝ見種(系譜二九八)
秋之坊　あきのばうヲ見ヨ
秀翠　傳記・葛飾蕉門分脈系圖(系譜一九六・一九八)
秋翠　住所、京羽二重(逸話二三七)
秌藥　傳記、誹諧家譜(系譜一〇七)
秀盛　師承、誹諧作者名寄(系譜一〇)
秀正　蕉門諸生全傳(系譜二六九)
萩夕　住所、京羽二重(逸話一三七)
獸石　住所、京羽二重(逸話一三〇)
周竹(江戸)　俳系、綾錦(系譜三一)
　吏登に雪中菴の印を譲る、遲八刻(中話五〇七)
　葛の松原の説に感ず、はいかい袋(中話二〇三)
　發句に付ての話・はいかい袋(中話三九)
　附句の話、はいかい袋(中話二〇三)
周竹(京都)　住所・京羽二重(逸話一三〇)
秋竹　住所、京羽二重(逸話一三九)
秀朝　師承・誹諧作者名寄(系譜五)
　傳記・誹家大系圖(系譜二五一)
秀堂　師承、綾錦(系譜二九)
秋風　傳記、誹家大系圖(系譜二五一)
　住所、京羽二重(逸話一四)
　花見車(逸話一三)
　異體の句、玉池雜藻(近話六〇)
周木　住所、京羽二重(逸話一三〇)
周也　住所、京羽二重(逸話一三〇)
秋里　傳記・葛飾蕉門分脈系圖(系譜一九一)
　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一九七)
　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(一九九)
舟露　傳記・誹諧家譜(系譜九四)
　傳記、誹家大系圖(系譜一五四)
　住所、京羽二重(逸話一四二)
　貞享永代記(逸話二三六・二四三)
秀和　師承・綾錦(系譜二九)
　傳記、誹家大系圖(系譜一四七)
　花見車、(逸話一〇六)
　書像・陸奥鵆(蕉後二三一)
周爲　傳記、誹諧家譜(系譜九九)
　傳記、誹家大系圖(系譜一五九)
子英　師承、綾錦(系譜一九)

自悦（ジエツ）　傳記、誹家大系圖（系譜二五七）
傳記、誹家大系圖（系譜二四八）
花見車（逸話九四）

子葉（シエフ）　住所　京羽二重（逸話一四四）
傳記、誹家大系圖（系譜二七〇）
招山宛書翰、水薦苅（近名一九五）

支考（シカウ）　著書、葛の松原（蕉話一）
續五論（蕉話一七）
笈日記（蕉後一）
梟日記（蕉後六七）
草苅笛（蕉後一七三）
そこの花（蕉續四七）
俳諧十論（蕉話四九）
削かけの返事（蕉話三五七）
口状（蕉話三七九）
蓮二吟集（元祿二六九）
師承、綾錦（系譜六六）
傳記、蕉門諸生全傳（系譜二八一）
傳記、はいかい袋（中話二〇九）
傳記、本朝文選（蕉話四九三）
歴代滑稽傳（逸話一三）
花見車（逸話二一〇）
義仲寺法筵、芭蕉翁頭陀物語（逸話一六）
福壽草に題す、芭蕉翁頭陀物語（逸話一七）
還俗、芭蕉翁頭陀物語（逸話一七）
入夕暮第三の事、芭蕉翁頭陀物語（逸話一八）
童平と吉野に登る、芭蕉翁頭陀物語（逸話一八）
乙由が附句を奪ふ、芭蕉翁頭陀物語（逸話一九）
丈草等と石山ニ會す、芭蕉翁頭陀物語（逸話三一）
杉風ニ絶交さる、芭蕉翁頭陀物語（逸話三一）
乙由と才を戰ふ、芭蕉翁頭陀物語（逸話三七）
万子を評す、誹諧世說（逸話四八）
北枝の家燒失ニ見舞、誹諧世說（逸話六二）
禪より誹道ニ入る、誹諧世說（逸話六四）
巴靜と桑名同船、誹諧世說（逸話六五）
長崎逗留、誹諧世說（逸話六五）
濃川の長溪寺に芭蕉忌を營む、笈日記（蕉後五〇）
許六亭にて梨の花と馬の讃の事、笈日記（蕉後五六）
西の宮にて舍羅と別る、梟日記（蕉後七〇）
野紅、倫女の愛女を失へるを惜む、梟日記（蕉後八五）
朱拙と對談、梟日記（蕉後八七）
長崎に卯七を訪ふ、梟日記（蕉後九三）
長崎の卯七亭に至る、渡鳥集（蕉後二三五）
卯七に芭蕉の句を送る、渡鳥集（蕉後二四四）
長崎にて去來の來れるに逢ふ、梟

集加（シウカ）　住所、京羽二重（逸話一三二）
十口（ジフコウ）　著書、家譜拾遺集（系譜三九）家譜後拾遺（系譜一四九）
　傳記、家譜拾遺（系譜一四四）
　傳記、家譜後拾遺（系譜一五五）
　傳記、誹家大系圖（系譜三三九）
什山（ジフザン）　來山四世の孫、續今宮草（元祿一三九）
芝峯（シホウ）　住所、京羽二重（逸話一三四）
　貞德永代記（逸話三六）
子鳳（シホウ）　傳記、家譜後拾遺（系譜一五四）
紫鳳（シホウ）　住所、かゝ見種（系譜三〇〇）
示蜂（シホウ）　傳記、蕉門諸生全傳（系譜二九〇）
之明（シメイ）　靑根が峯序（蕉話四一二）
時明（ジメイ）　誹諧作者名寄（系譜一三）
尙榮（シヤウエイ）　傳記、誹家大系圖（系譜二四五）
常英（ジヤウエイ）　傳記、誹諧家譜（系譜八九）
　傳記、誹家大系圖（系譜二四三）
淨榮（ジヤウエイ）　師承、誹諧作者名寄（系譜四）
常矩（ジヤウク）　つねのりヲ見ヨ

淨久（ジヤウキウ）　傳記、誹家大系圖（系譜三三五）
淨求（ジヤウキウ）　芭蕉に仕へ發句を試む、別座鋪（蕉前三二九）
將監（シヤウゲン）　歷代滑稽傳（逸話七）
常昨（ジヤウサク）　師承、誹諧作者名寄（系譜九）
商山（シヤウザン）　住所、京羽二重（逸話一四〇）
尙春（シヤウシユン）　住所、京羽二重（逸話一四三）
常春（ジヤウシユン）　傳記、誹諧家譜（系譜八九）
　傳記、誹家大系圖（系譜二四三）
　住所、京羽二重（逸話一四二）
　貞德永代記（逸話二四二）
尙女（シヤウジヨ）　師承、誹諧作者名寄（系譜七）
常信（ジヤウシン）　師承、誹諧作者名寄（系譜九）
常辰（ジヤウシン）　つねときヲ見ヨ
常雪（ジヤウセツ）　住所、京羽二重（逸話一三四）
　花見車（逸話一一四）
常仙（ジヤウセン）　師承、綾錦（系譜三）
　傳記、誹家大系圖（系譜二七〇）
　住所、かゝ見種（系譜三〇五）

常知（ジヤウチ）　師承、誹諧作者名寄（系譜七）
　傳記、誹家大系圖（系譜三三三）
常長（ジヤウチヤウ）　師承、誹諧作者名寄（系譜九）
　傳記、誹諧家譜（系譜八六）
　傳記、誹家大系圖（系譜三三九）
常朝（ジヤウテウ）　師承、誹諧作者名寄（系譜九）
蒼迪（シヤウテキ）　から檜葉跋（蕪村一九）
湘南（シヤウナン）　傳記、家譜後拾遺（系譜一五七）
情入（ジヤウニフ）　住所、京羽二重（逸話一四一）
尙白（シヤウハク）　傳記、誹諧家譜（系譜一〇八）
　傳記、誹諧大系圖（系譜二六一）
　傳記、蕉門諸生全傳（系譜二八二）
　歷代滑稽傳（逸話一一）
　花見車（逸話一〇七）
　靑根ケ峯（蕉話四八二）
　芭蕉の句を許す、去來抄（蕉話二四四）
常牧（ジヤウボク）　傳記、誹諧家譜（系譜八六）
　傳記、誹家大系圖（系譜三三九）
　花見車（逸話九四）
　住所、京羽二重（逸話一三六）

酒的(シユテキ)　傳記、本朝文選(蕉話四九五)
　酒德の頌、本朝文選(蕉話六一三)
　住所、京羽二重(逸話一三六)
酒粕(シユハク)　花見車(逸話一一六)
守武(シユブ)　もりたけヲ見ヨ
珠來(シユライ)　住所、かゝ見種(系譜二〇三)
　蘇明山非發句藻序(天明三)
如遊(ジヨイウ)　住所、京羽二重(逸話一三八)
子鷹(シヨウ)　住所、かゝ見種(系譜三〇〇)
松意(シヨウイ)　著書、談林十百韻(談林二九)
　虎溪の橋(談林七三)
　師承・綾錦(系譜三)
　俳系、誹家大系圖(系譜二六三)
　傳記、誹家大系圖(系譜二六八)
　歷代滑稽傳(逸話八)
勝伊(シヨウイ)　住所、京羽二重(逸話一三一)
昌意(シヤウイ)　師承、誹諧作者名寄(系譜四)
　傳記、誹家大系圖(系譜二三四)
松有(シヨウイウ)　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜二〇三)

松因(シヨウイン)　千代尼句集敍(中名三二)
松隱(シヨウイン)　住所、京羽二重(逸話一三五)
松雨(シヨウウ)　花見車(逸話一一四)
松詠(シヨウエイ)　住所、京羽二重(逸話一四〇)
昌易(シヤウエキ)　傳記、家譜拾遺(系譜一三五)
　玉海集跋(貞門四〇五)
松煙(シヨウエン)　住所、京羽二重(逸話一三八)
　蕉門諸生全傳(系譜二八九)
松下(シヨウカ)　住所、京羽二重(逸話一三五)
松閑(シヨウカン)　住所、京羽二重(逸話一三八)
昌休(シヤウキウ)　師承、綾錦(系譜二四)
勝吉(シヨウキチ)　蕉門諸生全傳　系譜二八九)
松逕(シヨウケイ)　住所、京羽二重(逸話一三九)
　貞德永代記(逸話二三〇)
松溪(シヨウケイ)　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一九九)
松曉(シヨウケウ)　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一九三)
　師承、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一九七)
升月(シヤウゲツ)　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜二〇一)
松月(シヨウゲツ)　住所、京羽二重(逸話一四〇)

　貞德永代記(逸話二三六・二四一)
松堅(シヨウケン)　俳系、誹諧家譜(系譜九八)
　傳記、誹家大系圖(系譜二三四)
　俳系・誹家大系圖(系譜二五八)
松見(シヨウケン)　住所、京羽二重(逸話二五八)
松軒(シヨウケン)　住所、京羽二重(系譜一三一)
乘言(ジヨウゲン)　傳記・誹家大系圖(系譜二三三)
松江(シヨウコウ)　傳記・誹諧家譜(系逸九二)
松窠(シヨウクウ)　萑亭句集跋(天明五一六)
昌察(シヨウサツ)　西山家連誹系譜(系譜一六五)
昌三(シヤウサン)　傳記、家譜拾遺(系譜一三四)
城之(ジヤウシ)　傳記、家譜後拾遺(系譜一五五)
勝周(シヨウシウ)　住所、京羽二重(逸話一四二)
乘秀(ジヨウシウ)　傳記、誹家大系圖(系譜二四五)
松春(シヤウシユン)　傳記・誹諧家譜(系譜九三)
　傳記、誹家大系圖(系譜二四六)
　住所、京羽二重(逸話一三四)
　貞德永代記(逸話二三六)
勝春(シヤウユン)　師承、誹諧作者名寄(系譜七)

花見車(逸話一一三)
市柳(シリウ)　蕉門諸生全傳(系譜二八九)
順菴(ジュンアン)　家譜拾遺(系譜一三五)
俊安(シュンアン)　師承、誹諧作者名寄(系譜一三)
傳記、誹家大系圖(系譜一三四)
春耕(シュンカウ)　傳記、誹諧家譜(系譜一〇五)
傳記、誹家大系圖(系譜二六八)
俊輝(シュンキ)　師承、誹諧作者名寄(系譜九)
春花(シュンクワ)　蟾蜍之賦、常盤の香(蕪村二九)
春丸(シュンクワン)　傳記、誹家大系圖(系譜二四二)
春元(シュンゲン)　師承、誹諧作者名寄(系譜五)
潤口(ジュンコウ)　住所、京羽二重(逸話一三七)
駿哉(シュンサイ)　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜二〇〇)
春齋(シュンサイ)　傳記、家譜拾遺(系譜一三五)
淳兒(ジュンジ)　蕉門諸生全傳(系譜二八九)
俊似(シュンジ)　傳記、蕉門諸生全傳(系譜二八九)
俊秀(シュンシウ)　師承、誹諧作者名寄(系譜六)
師承、綾錦(系譜二六)
傳記、誹家大系圖(系譜二五六)

筍深(ジュンシン)　花摘集跋(蕉前三六二)
春水(シュンスヰ)　住所、京羽二重(逸話一四二)
春清(シュンセイ)　師承、誹諧作者名寄(系譜一一)
傳記、誹家大系圖(系譜一三一)
春霄(シュンセウ)　誹諧作者名寄(系譜一〇)
春昔(シュンセキ)　傳記、誹家大系圖(系譜二五七)
春堂(シュンダウ)　傳記、家譜拾遺(系譜一三九)
住所、かゝ見種(系譜二九八)
花見車(逸話一一六)
喜撰の世を宇治山の歌の解、はいかい袋(中話二五九)
能太夫を見る話、はいかい袋(中話二五九)
順琢(ジュンタク)　蕉門諸生全傳(系譜二九〇)
淳竹(ジュンチク)　住所、京羽二重(逸話一三七)
貞德永代記(逸話三六・二四〇)
春澄(シュンチョウ)　はるずみヲ見ヨ
春坡(シュンパ)　非華集跋(天明二六)
春豐(シュンパウ)　住所、京羽二重(逸話一四二)
春帆(シュンパン)　傳記、誹家大系圖(系譜二七〇)

春明(シュンメイ)　著書、誹家大系圖(系譜一〇五)
順也(ジュンヤ)　傳記、誹家大系圖(系譜二五一)
住所、京羽二重(逸話一四四)
春雄(シュンユウ)　傳記、誹諧家譜(系譜九四)
俳系、家譜拾遺(系譜一三八)
傳記、家譜拾遺(系譜一四三)
傳記、誹家大系圖(系譜二五一)
春來(シュンライ)　正花の事、較隨筆(中話一九)
述懷の事、較隨筆(中話二六)
俳話、較隨筆(中話三一)
愛蓮夫戲語、較隨筆(中話五〇)
貝銘、較隨筆(中話五六)
受戒して假死の發句、較隨筆(中話六三)
靑峨(セイガ)ヲ見ヨ
春龍(シュンリュウ)　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜二〇〇)
春倫(シュンリン)　師承、綾錦(系譜一三)
傳記、誹家大系圖(系譜二六五)
信阿(シンア)　傳記、葛飾蕉門分脈系圖(系譜一八二)
晋阿(シンア)　住所、かゝ見種(系譜一九七)

セ

誹諧作者名寄（逸話一〇）
傳記、誹諧家譜（系譜八四）
師承、家譜拾遺（一三四）
傳記、誹家大系圖（系譜三三二）
俳系、誹家大系圖（系譜二五七）
師承、京羽二重（系譜一九四）
芦の丸屋月の會、貞德永代記（系譜一八三）
玉海集序（貞門二七七）

正章（セイシヤウ）
傳記、誹諧家譜（系譜八三）
師承、家譜拾遺（系譜一三四）
傳記、誹家大系圖（系譜一三〇）
芦の丸屋月の會、貞德永代記（逸話一八三）
元日三物付の事、貞德永代記（逸話一九〇）
誹諧發句帳出傳正統の事、貞德永代記（逸話一九二）
貞室（テイシツ）ヲ見ヨ

正種（セイシユ）　まさたねヲ見ヨ

靜壽（セイジユ）　誹諧作者名寄（系譜一〇）
傳記、誹家大系圖（系譜一三四）

清春（セイシユン）　師承、綾錦（系譜一七）

正春（セイシユン）　まさはるヲ見ヨ

正俊（セーシユン）　師承、誹諧作者名寄（系譜九）

晴助（セイジヨ・はるすけ）　七柏集後筆（中名五九二）

正勝（セイシヤウ）　師承、誹諧作者名寄（系譜七）

政勝（セイシヤウ）　花見車（逸話一一四）

政昌（セイシヤウ）　師承、誹諧作者名寄（系譜四）

清昌（セイシヤウ）　住所、京羽二重（逸話一三二）

青城（セイジヤウ）　葛箒（天明五一七）

正信（大和）（セイシン）　誹諧作者名寄（系譜一〇）

正信（內田）（セイシン）　誹諧作者名寄（系譜一三）

正辰（セイシン）　傳記、誹家大系圖（系譜二五七）
住所、京羽二重（逸話一四三）

正親（セイシン・まさちか）　誹諧作者名寄（系譜一〇）
傳記、誹家大系圖（系譜二五七）

生信（セイシン）　師承、誹諧作者名寄（系譜七）

政信（荷葉屋）（セイシン）　師承、誹諧作者名寄（系譜二）

政信（住田）（セイシン）　師承、誹諧作者名寄（系譜四）

青人（セイジン）　花見車（逸話一一六）

正盛（セイセイ）　傳記、誹家大系圖（系譜二三五）

井々（セイセイ）　住所、かゝ見種（系譜二〇三）

成政（セイセイ）　師承、誹家大系圖（系譜二〇一）

井泉（セイセン）　師承、葛飾蕉門分脈系圖（系譜二〇一）

正宣（セイセン）　傳記、誹家大系圖（二五九）

正全（セイゼン）　師承、綾錦（系譜四七）

政則（セイノク）　俳系、綾錦（系譜六七）
住所、京羽二重（系譜一四三）

正村（セイソン）　誹諧作者名寄（系譜一〇）

正長（島本）（セイチヤウ）　師承、誹諧作者名寄（系譜九）
傳記、誹家大系圖（系譜二四五）

正長（高政門）（セイチヤウ）　傳記、誹家大系圖（系譜二六八）

清長（大澤）（セイチヤウ）　師承、誹諧作者名寄（系譜七）

清長（森）（セイチヤウ）　誹諧作者名寄（系譜一一）
傳記、誹家大系圖（系譜二三一）

政重（セイチユウ）　誹諧作者名寄（系譜一四）

正重（セイチウ）　誹諧作者名寄（系譜一三）

涼菟（レウト）ヲ見ヨ

チ

知覺（チガク）　師承、誹諧作者名寄（系譜九）

親重（ちかしげ）　傳記・誹諧家譜（系譜八三）
傳記、家譜拾遺（系譜一三四）
傳記、俳家大系圖（系譜二一九）
妙滿寺雪の會、貞德永代記（逸話一八〇）
誹諧發句帳并重頼と爭ふ事、貞德永代記（一九二）
立圃（リツホ）ヲ見ヨ

親信（ちかのぶ）　誹諧作者名寄（系譜八・一三）

遲牛（チギウ）　住所、京羽二重（逸話一四一）

知鏡（チキヤウ）　誹諧作者名寄（系譜七・一三）

竹阿（チクア）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一七四）

竹翁（チクヲウ）（西村）　傳記　誹家大系圖（系譜二五一）

竹翁（チクヲウ）（耕齋）　傳記、誹諧家譜（系譜九三）
傳記、誹家大系圖（系譜二四六）
住所・京羽二重（逸話一三九）
貞德永代記（逸話二三〇）

竹夏（チクカ）　傳記、誹諧家譜（系譜一〇二）

竹我（チクガ）　傳記・葛飾蕉門分脈系圖（系譜二〇三）

竹溪（チクケイ）　狸の怪の發句、新華摘（蕪村三七）

竹護（チクゴ）　白隱和尚の活機に感ず、新雜談集（中話四一四）
嵐山（ランザン）ヲ見ヨ

竹枝（チクシ）　住所、京羽二重（逸話一三五）

竹朶（チクダ）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一九六）

竹亭（チクテイ）　師承、綾錦（系譜六五）
傳記・誹諧家譜（系譜八七）
傳記・誹家大系圖（系譜二六一）
住所・京羽二重（逸話一三〇）
花見車（逸話一一三）
をだ卷の批評、古學截斷字論（近話二六九）

竹條（チクデウ）　花見車、（逸話一一四）

竹戸（チクコ）　傳記、蕉門諸生全傳（系譜二八五）

竹平（チクヘイ）　傳記・誹家大系圖（系譜二七〇）

竹母（チクボ）　也哉鈔序（中話三七七）

竹露（チクロ）　師承　葛飾蕉門分脈系圖（系譜二〇〇）

智月（チゲツ）　傳記、蕉門諸生全傳（系譜二八二）
歷代滑稽傳（逸話一三）
義仲寺法筵、芭蕉翁頭陀物語（逸話二六）
翁に形見を乞、誹諧世說（逸話六八）
靑根ヶ峯（蕉話四七九）

知秋（チシウ）　師承、誹諧作者名寄（系譜八）

知秀（チシウ）　續いま宮草後序（元祿一六五）

知石（チセキ）　傳記、誹諧家譜（九六）
俳系、家譜拾遺（系譜一三八）
傳記、誹家大系圖（系譜二五四）

知詮（チセン）　師承、誹諧作者名寄（系譜八）
誹諧作者名寄（系譜一一）
傳記、誹家大系圖（系譜二三四）

知泉（チセン）　師承、誹諧作者名寄（系譜五）
傳記、蕉門諸生全傳（系譜二八〇）

知足（チソク）（鳴海）　著書、千鳥掛（蕉前九九）
千鳥掛選集中途にして歿す、千鳥掛序（蕉前一〇一）

知足（チソク）（京）　住所・京羽二重（逸話一三七）

重滿（ヂウマン）　傳記、誹家大系圖（系譜二三九）
重明（ヂユウメイ）　師承、誹諧作者名寄（系譜四）
重庸（ヂヤウヨウ）　師承、誹諧作者名寄（系譜四）
冲翼（チユウヨク）　蓼太を難ずる文、蓼すり古義（中話四九八）
重利（ヂユウリ）　師承、誹諧作者名寄（系譜九）
重隆（ヂユウリユウ）　師承、誹諧作者名寄（系譜六）
師承、綾錦（系譜二六）
知與（チヨ）（森川）　句集雪摺石、俳仙窟（中話二一六）
澄里（チヤウリ）　傳記、家譜拾遺（系譜一四五）
樗雲（チヨウン）　住所、かゝ見種（系譜二〇三）
直入（チヨクニフ）　師承、誹諧作者名寄（系譜七）
直久（チヨクキウ）　俳系、誹諧作者名寄（系譜一三）
直氏（チヨクシ）　住所、京羽二重（逸話一四一）
苧狐（チヨコ）　讀いま宮草序（元祿三九）
樗山（チヨザン）　傳記、葛飾蕉門分脈系圖（系譜一八六）
千代（チヨ）　千代尼句集（中興一一九）
三界唯一心の發句、新雜談集（中話四三一）
たまも集序（たまも集三）
樗堂（チヨダウ）　萍窓集（近話三八五）
除風（ヂヨフウ）　傳記、誹家大系圖（系譜二一八）
蕉門諸生全傳（系譜二八九）
花見車（逸話一一〇）
樗良（チヨラ）　樗良發句集（天明三二）
月の夜（蕪村連句七五）
几董の句を賞す、新雜談集（中話一四〇）
前句に障らず人情の附方、新雜談集（中話四一八）
ちり（千里）　傳記、蕉門諸生全傳（系譜二六六）
入道偈、陸奥衛（蕉後三五九）
知溫（チヲン）　綾錦（系譜一四）
塵言（ヂンゲン）　傳記、誹家大系圖（系譜二三八）
塵哉（ヂンサイ）　師傳、誹諧作者名寄（系譜一三）
珍之（チンシ）　師承、誹諧作者名寄（系譜二九〇）
塵生（ヂンセイ）　蕉門諸生全傳（系譜二九〇）
珍碩（チンセキ）　著書、ひさご（蕉前三六三）
歷代滑稽傳（系譜三）
酒堂（シユウ）ヲ見ヨ
枕樂（チンラク）　傳記、誹諧家譜（系譜一〇四）
枕流（チンリウ）　住所、京羽二重（逸話一四三）

ツ

通親（ツウシン）　師承、誹家大系圖（系譜二三四）
通見（ツウケン）　住所、京羽二重（逸話一三二）
通定（ツウテイ）　師承、誹諧作者名寄（系譜九）
通流（ツウリウ）　梅室家集序（近話五三九）
月成（つきなり）　哲阿彌藻序（天明三九）
常辰（つねとき）　師承、誹諧作者名寄（系譜八・九）
師承、綾錦（系譜二五）
傳記、誹家大系圖（系譜二三九）
著書、誹諧雜巾（談林一一七）
師承、綾錦（系譜六五）
傳記、誹諧家譜（系譜八六）
常矩（つねのり）　傳記、誹家大系圖（系譜二六五）
歷代滑稽傳（逸話九）

テ

貞齜（テイシ）
傳記、誹家大系圖（系譜二六二）
傳記・家譜拾遺（系譜一四三）

定次（テイジ）
誹諧作者名寄（系譜三）
傳記、誹家大系圖（系譜三三七）

定時（テイシ）
誹諧作者名寄（系譜一三）
傳記、誹諧大系圖（三三）

貞秋（テイシウ）
住所、京羽二重（逸話一三七）

貞室（テイシツ）
著書、玉海集（貞門二七五）
俳諧之註（貞門五〇二）
師承、誹諧作者名寄（系譜三）
俳系、誹諧作者名寄（系譜五）
俳系、綾錦（系譜二五）
俳系、俳家大系圖（系譜三三八）
傳記、はいかい袋（中話三三）
歷代滑稽傳（逸話五）
俳系、京羽二重（逸話一四五）
重頼と不和の事、貞德永代記（逸話一九一）
古點者品定の事、貞德永代記（逸話一九九）
貞德夢物語、貞德永代記（逸話二一七）
あけぼの丶御掛物を賜はる、類柑文集（元祿五〇九）
女院より探幽筆曙の繪を賜はる、鶉尾冠（蕉續一七一）

貞上（テイジヤウ）
傳記・誹家大系圖（系譜二六七）

貞春（テシユン）
住所、京羽二重（逸話一三七）

貞恕（テイジヨ）
師承、綾錦（系譜二五）
傳記、誹諧家譜（系譜八九）
俳系、家譜拾遺（系譜一三八）
傳記、誹家大系圖（系譜三三八）
歷代滑稽傳（系譜六）
住所、京羽二重（逸話一三一）
貞德永代記（系譜三三六・三三一）

貞勝（テイシヨウ）
俳系、誹家大系圖（系譜二五八）

定勝（テシウ）
住所、京羽二重（逸話一四三）

定親（テシン）
師承、誹諧作者名寄（系譜八・一〇）
傳記・誹家大系圖（系譜三三一）

定信（テイシン）
傳記・誹家大系圖（系譜二四〇）
師承、誹諧作者名寄（系譜六）

貞晨（テイシン）
傳記、誹家大系圖（系譜三三六）

貞伸（テイシン）
師承、誹諧作者名寄（系譜四）

貞眞（テイシン）
住所、京羽二重（逸話一四三）

庭水（テイスヰ）
住所、京羽二重（逸話一三四）

貞盛（テセイ）
師承、誹諧作者名寄（系譜四）
傳記、誹家大系圖（系譜三三六）

定清（テイセイ）
俳系、誹諧作者名寄（系譜九）
傳記、誹家大系圖（系譜三三八）

定政（テイセイ）
俳系、誹諧作者名寄（系譜一三）

貞清（テイセ）
傳記・誹家大系圖（系譜三三九）

貞扇（テイセン）
傳記、誹諧家譜（系譜九六）
傳記、誹家大系圖（系譜三三七）

貞宣（テイセン）
誹諧作者名寄（系譜一一）
傳記・誹家大系圖（系譜二四〇）

定宗（テイソウ）
花見車（逸話一一五）
住所、京羽二重（逸話一三九）

貞則（テイソク）
師承、誹家大系圖（系譜二五八）
住所、京羽二重（逸話一三八）

泥足（デイソク）
著書、其便（蕉前五四一）
花見車（逸話九七）
翁と淸水浮瀬に勝遊、芭蕉翁反古

八

ヒ

フ

蕪村（ブソン）

ヘ

ホ

リ

レ

ロ

（人名をはり）

俳書地名索引

俳書地名索引

一 國郡

ア

近江（アフミ）

芭蕉俳句類聚（芭蕉 三・二四）芭蕉連句集成（同 一九三・四四四）初懷紙評註（同 四四八）○曠野後集（蕉前 二一）華摘（同 三四〇）猿蓑（同 三九一）己が光（同 四三三）枯尾花（同 六〇三）○梟日記（蕉後 九六）渡鳥集（同 二五三）小文庫（同 二七六）陸奥衛（同 三一七）正風彥根躰（同 五九）○篇突（蕉話 一〇七）花實集（同 二〇九）去來抄（同 二四四）△初心もと柏（元祿 三）鬼貫句選（同 二四・三二）湏化上人發句集（同 四一九）○紅梅千句（貞門 一四七）歌仙そろへ（同 三三〇）中庸姿（同 五四五）○蓮實（談林 四一五）誹枕（同 四六二）○蕪村俳句類聚（蕪村 七九・九八）蕪村書翰集（同 九八）新華摘（同 二七）たまも集（同 七）常盤の香（同 二五）○みかへり松（中名 六）其雲影（同 三〇八）續一夜松前集（同 三九四）續一夜松後集（同 四四三）○前山窩（中話 二一五）はいかい袋（同 二一六）落葉者（同 三〇二）也哉鈔（同 三八五）○哲阿彌句藻（天明 五四）春泥發句集（同 一五七）○一茶連句集成（一茶 一七四）○せき屋でう（近名 一五四）○芭蕉葉ぶね（近話 一六五）古學截斷字論（同 二六四）梅室家集（同 五六五）○綾錦（系譜 五〇）○江鮭子（蕉續 三）卯辰集（同 三一）そこの花（同 六七）北國曲（同 二九三）

東近江（ヒガシアフミ）

笈日記（蕉後 四一）篇突（蕉話 一一七）五老井發句集（元祿 三〇〇）○新增犬筑波（貞門 七七）○大矢數（談林 五八五）○白雄句集（天明 二七三）○一茶連句集成（一茶 一六・一一三）

西近江（ニシアフミ）

骨書（中名 四五四）

向近江（ムカヒアフミ）

正風彥根躰（蕉後 五七七）○葎亭句集（天明 四九九）

イ

伊賀（イガ）

芭蕉連句集成（芭蕉 二〇九・三一〇）○續猿蓑（蕉前 三九七）○陸奥衛（蕉後 三二六）錢龍賦（同 五一八）○歌仙そろへ（貞門 三三〇）○一茶連句集成（一茶 一五・九一・一四一・一四五）○みはしら（近名 三五九）麻刈集（同 三六八）斧の柄（同 四〇九）○枇杷園句集（近話 五〇〇）梅室家集（同 五七四）

壹岐（イキ・ユキ）　雪之島

○誹枕（談林 四四七（二））○歌仙そろへ（貞門 五三二）

伊勢（イセ）

芭蕉俳句類聚（芭蕉 四（蓬萊に）・五一・七一）芭蕉連句集成（同 一九四・二三三・三三三・三四九・三五三・三六九・三八五・三八七・四〇三・四二〇・四四七・四九一）山中三吟評語（同 五五四）○武藏曲（蕉前 九）續虛栗（同 六一）春の日（同 八四）句餞別（同 九二）曠野（同 一九二）其袋（同 二五九）華摘（同 三四〇）猿蓑（同 三八八）百人一句（同 四〇六・四〇八）弓（同 四四九）炭俵（同 五〇〇）別座鋪（同 五三二・五三四）續猿蓑（同 五七五・五七六）○梟日記（蕉後 九〇・九六）となみ山（同 一三四）草苅笛（同 一八二）渡鳥集（同 二三七・二四三）

子集（同三四七）○鳳朗發句集（近話 五八一）

葛野（カドノ）
玉海集（貞門 二八三）

河内（カハチ）
芭蕉連句集成（芭蕉 一九三）○炭俵（蕉前 四九五））獨吟千句（貞門 一〇）玉海集（同 六・三九五）歌仙そろへ（同 五三〇）○大矢數（談林 五三六）（蕪村俳句類聚（蕪村 七九）蕪村連句選集（同 三三）花鳥篇（同 一三）○續明烏（中名 三四七）○落葉考（中話 三三五）○井華集（天明 二〇一）蓼太句集（同 二三六）白雄句集（同 二八八）○株番（一茶 四四）○松のそなた（近名 三〇）德萬歳（同 一四五）寂砂子集（同 三四八）○野坡吟艸（蕉續 四六七）

東河内（ヒガシカハチ）
俳諧何袋（近名 二一五）

甲斐（カヒ）
芭蕉連句集成（芭蕉 一九三・二七三・四三一）初懷紙評註（同 五四四）（續虛栗（蕉前 四六六）曠野（同 一八八）○伊達衣（蕉後 四〇六）韻塞（同 五六〇）○新撰犬筑波（貞門 五〇）新増犬筑波（同 八三・一二三）玉海集（同 三九六）歌仙そろへ（同 五三〇）○江戸八百韻（談林 二四一）白根嶽（同 六三一）○から檜葉（蕪村 一三）○花月六百韻（中名 三九）反古衾（同 二一八）新みなし栗（同 二八一）七柏集（同 五五六）○落葉考（中話 三〇〇・三〇一）○蓼太句集（天明 二五三）白雄句集（同 二九七）○我春集（一茶 三一）○せき屋でう（近名 一五三）俳諧何袋（同 二〇六）○綾錦（系譜 四六・六三）○俳諧深川（蕉續 一九）

甲賀（カフガ）
そこの花（蕉續 五六）

キ

紀伊（キイ）
紀
武藏曲（蕉前 九）曠野（同 一九四）猿蓑（同 三八八）○五元集（元祿 二〇二）去來發句集（同 三八四）○獨吟千句（貞門 一三）新増犬筑波（同 八五）玉海集（同 三九八）歌仙そろへ（同 五三一）○大坂獨吟集（談林 三三七）東日記（同 一九四）一字幽蘭集（同 三六四）誹枕（同 四四五・四六三）○新みなし栗（中名 二八〇）○蓼太句集（天明 二四二）

吉備（キビ）
歌仙そろへ（貞門 五三一）○誹枕（談林 四四二）○一茶連句集成（一茶 三一）

ク

玖珠（クス）
梟日記（蕉後 八五）○蓮二吟集（元祿 二八四）

サ

相馬（サウマ）
誹枕（談林 四六八）○蕪村連句選集（蕪村 七二）

相摸（サガミ）
猿舞師（蕉後 三〇五）○鷹筑波（貞門 一八五）歌仙そろへ（同 五三〇）○蕪村俳句類聚（蕪村 九五）蕪村連句選集（同 三三）○我春集（一茶 二三）○鳳朗發句集（近話 六一四）

薩摩（サツマ） 歌仙そろへ(貞門 三三二) ○蕪村連句選集(蕪村 一五) ○松のそなた(近名 一九)

佐渡（サド） 芭蕉俳句類聚(芭蕉 四八)○芭蕉連句集成(同 三四四) 奥の細道(同 五九七) 芭蕉文集(同 六三六) ○虚栗(蕉前 三二) 其袋(同 二五五) 勸進牒(同 二九〇) 枯尾花(同 六三六) ○陸奥衛(蕉後 三六六) 韻塞(同 五三六) 幾人水主 正風彦根躰(同 五八三・五八五) ○青根が峯(蕉話 四七二) ○五老井發句集(元祿 三〇一) 類柑子(同 五一〇) ○歌仙そろへ(貞門 三三一) ○誹枕(談林 四三九・四六八) ○蕪村俳句類聚(蕪村 九五) 蕪村連句選集(同 五二一) ○新みなし栗(中名 二八九・三二) 續明烏(同 三三四) 春秋稿(同 四九九) ○俳諧寂栞(中話 三三二) ○的申集(近名 二九五) 寂砂子集(同 三三〇) 美佐古鮓(同 五三四) はたけせり(同 五四三・五五七) ○誹諧根源集(近話 三三) ○鶉尾冠(蕉續 一八八) 北國曲(同 三〇〇・三三三・三三三)

讃岐（サヌキ） 新増犬筑波(貞門 八〇) 玉海集(同 三七七・三) 歌仙そろへ(同 三三一) ○おくれ雙六(談林 三三三) ○鶉尾冠(蕉續 一八八)

更科（サラシナ） 芭蕉俳句類聚(芭蕉 六一) 更科紀行(同 四四八) 芭蕉文集(同 六三四) ○いつを昔(蕉前 三三〇) 曠野(同 一七六) ○小文庫(蕉後 二八二) ○水薦苅(近名 一八六)

シ

信濃（シナノ） 芭蕉連句集成(芭蕉 四四一) ○武藏曲(蕉前 五) 曠野(同 一八八) 其袋(同 二六一) 華摘(同 三四〇) 枯尾花(同 六三三) ○となみ山(蕉後 一三四) 陸奥衛(同 三七三) 伊達衣(同 四〇一・四〇六) 皮籠摺(同 四五二) ○支峰集(元祿 二六一) 去來發句集(同 三八九) ○獨吟千句(貞門 一八) 歌仙そろへ(同 三三〇) 中庸姿(同 五四〇) ○談林十百韵(談林 六四・六六) 誹諧當世男(同 九七) 虎溪(同 三三〇) 誹枕(同 四三六) 大矢數(同 五四八) ○蕪村俳句類聚(蕪村 一三八) 蕪村連句選集(同 一八) 芭蕉句合集(同 四七) ○續一夜松前集(中名 三九三) ○白雄句集(天明 二八六) ○一茶俳句選抄(一茶 一〇三) 一茶連句集成(同 三・二七・一六六) ○せき屋でう(近名 一五四) 水薦苅(同 一九一・一九五)○綾錦(系譜 六四) ○北國曲(蕉續 三三八)

參考――水薦苅(近名 一七五―一九六)

信夫（シノブ） 錢龍賦(蕉後 五三) ○誹枕(談林 四六四) 大矢數(同 五五五) ○蕪村俳句類聚(蕪村 一〇三) ○報隨筆(中話 九九)

志摩（シマ） 曠野後集(蕉前 三二一) ○歌仙そろへ(貞門 三三〇) ○その濱ゆふ(蕉續 三九五)

伊勢島（イセシマ） 貞德永代記(逸話 一八八)

下野（シモツケ）

地名（國・郡）　シ セ タ

鷹筑波(貞門 一九四)　玉海集(同 三八〇)　山之井(同 四三一)　○江戸八百韻(談林 二四一)

下總（シモフサ）

別座鋪(蕉前 五三三)　○歌仙そろへ(貞門 三三〇)　○江戸八百韻(談林 三三八)　誹枕(同 四三三)　○新撰武藏曲(中名 八八)　七柏集(同 五三五)　○我春集(一茶 二六)　○俳諧鼠道行(近名 一三五)　せき屋でう(同 一三三)

周防（スハウ）

渡鳥集(蕉後 二四一)　○歌仙そろへ(貞門 五三一)

駿河（スルガ）

續猿蓑(蕉前 五七七)　○猿舞師(蕉後 二九五)　伊達衣(同 三九七)　幾人水主(同 六〇八)　○初心もと柏(元祿 一七)　五老井發句集(同 三〇三)　○獨吟千句(貞門 二五)　鷹筑波(同 二〇〇・二七〇)　歌仙そろへ(同 五三〇)　○七百五十韵(談林 二六九)　おくれ雙六(同 三〇七)　庭櫻(同 三三七)　○みかへり松(中名 三)　花月六百韻(同 二九)　蟻つか(同 一七六)　○玉池雜藻(近話 九六)　嵐亭誹話(同 二三九)　曾波可理(同 四七三)　○俳諧深川(蕉續 一五)

セ

攝津（セッツ）

紅梅千句(貞門 一四五)　歌仙そろへ(同 五三〇)

津國（ツノクニ）

句餞別(蕉前 九六)　○五元集(元祿 二〇四)　○獨吟千句(貞門 一八)　新撰犬筑波(同 四九)　玉海集(同 三六七)　○談林十百韵(談林 五三)　當流籠抜(同 一五九)　蓮實(同 四〇七)　誹枕(同 三三(三)・四六二)　大矢數(同 五一四)　○芭蕉翁付合集(蕪村 三〇)　から檜葉(同 九)　○花月六百韻(中名 二七)　○はいかい袋(中話 二一七)　○一茶俳句選抄(一茶 一三二)　一茶遺句集成(同 三七・四一・九一・一三七)　おらが春(同 一〇五)

タ

臺灣（タイワン）

太祇句選後編(天明 一六六)

但馬（タヂマ）

歌仙そろへ(貞門 五三一)

多摩（タマ）

杉風句集(元祿 三五四)

丹後（タンゴ）

陸奥衛(蕉後 三六五)　錢龍賦(同 五三〇)　○歌仙そろへ(貞門 五三一)　○誹枕(談林 四三九)　○續一夜松後集(中名 四三三)

丹波（タンバ・タニハ）

弓(蕉前 四五一)　藤の實(同 四七八)　炭俵(同 五〇〇)　○小文庫(蕉後 二七九)　陸奥衛(同 三六五)　錢龍賦(同 五三〇)　○去來發句集(元祿 三八〇)　○玉海集(貞門三〇八・三八八)　歌仙そろへ(同 五三一)　○誹枕

（談林 四五九・四六八） ○蕪村俳句類聚（蕪村 三六） 蕪村連句選集（同 一三） 芭蕉翁付合集（同 四九）○其雪影（中名 二九五・三〇六） 續明烏（同 三三五） 五車反古（同 三七九） 七柏集（同 五四八） ○はいかい袋（中話 二八〇） 俳諧寂栞（同 三三三） ○葎亭句集（天明 四七二） ○一茶連句集成（一茶 三九・一三九） ○はりまあんご（近名 八〇） ○綾錦（系譜 五九） ○江鮭子（蕉續 七）

チ

筑後（チクゴ） 歌仙そろへ（貞門 五三一）

筑前（チクゼン） 誹枕（談林 四三三） ○江鮭子（蕉續 六）

ツ

津輕（ツガル） 芭蕉連句集成（芭蕉 二七二） ○一茶連句集成（一茶 九四） ○花見二郎（近名 四三一）

筑紫（ツクシ） 芭蕉連句集成（芭蕉 一八九・一九二・二七九） 初懷紙評註（同 五四八） ○虚栗（蕉前 一九） 春の日（同 八四） ○伊達衣（蕉後 四〇一） ○丈草發句集（元祿 四〇一） ○玉海集（貞門 三九二） ○江戸八百韻（談林 三一八） 誹枕（同 四四五・四六二） 大矢數（同 五四〇） ○蕪村俳句類聚（蕪村 八） 蕪村連句選集（同 四四） ○續一夜松後集（中名 四三二） 春秋稿（同 四九〇・五〇〇） ○落葉考（中話 三〇三） 俳諧寂栞（同 三三三） ○一茶連句集成（一茶 一三三） ○關清水物語（近名 五〇五） 俳諧廻文帖（同 五七四）

對馬（ツシマ） 歌仙そろへ（貞門 五三三） ○誹枕（談林 四四七） 大矢數（同 五三四） ○俳諧新深川（近名 四五四）

津國（ツノクニ） 「攝津（セッツ）」ヲ見ヨ

テ

朝鮮（テウセン） 虚栗（蕉前 一九） ○誹枕（談林 四四八） 白根嶽（同 六六四） ○蕪村連句選集（蕪村 一一五）

ト

土佐（トサ） 弓（蕉前 四五五） ○伊達衣（蕉後 四〇五） ○新撰犬筑波（貞門 五四） 新增犬筑波（同 八〇・二二七） 歌仙そろへ（同 五三一） ○誹枕（談林 四四四） 大矢數（同 五一四） ○花月六百韻（中名 一九） （夜半亭發句帖（同 七二） ○俳諧廻文帖（近名 五七七）○

利根（トネ） 鶴尾冠（蕉續 一七八） 關清水物語（近名 五〇六）

遠江（トホタフミ） 正風彦根躰（蕉後 五九〇） 幾人水主（同 六六九） ○歌仙そろへ（貞門 五三〇） ○誹枕（談林 四二五）

ナ

長門（ナガト）
芭蕉連句集成（芭蕉 二五六）○玉海集（貞門 二四四）歌仙そろへ（同 五三一）○誹枕（談林 四四二）○俳諧深川（蕉續 一六）

ノ

能登（ノト）
芭蕉連句集成（芭蕉 三三〇）○猿蓑（蕉前 三九二）○三册子（蕉話 一七六）○紅梅千句（貞門 一六六）歌仙そろへ（同 五三一）○誹枕（談林 四三八）○蕪村連句選集（蕪村 九四）芭蕉翁付合集（同 三四）○萑亭句集（天明 四八九）

ハ

伯耆（ハウキ）
歌仙そろへ（貞門 五三一）

濱越後（ハマヱチゴ）
「越後」ヲ見ヨ

速見（ハヤミ）
誹枕（談林 四四五）（原本筑後ノ部ニ入ル。或ハ「駛馬」歟。再考スルニ豐後速見郡ナルベシ。姑クコヽニ收ム。）

播磨（ハリマ）
歌仙そろへ（貞門 五三一）○誹枕（談林 四六四）大矢數（同 四八八）○其雪影（中名 二九四）○せき屋でう（近名 一五四）

ヒ

日向（ヒウガ）
歌仙そろへ（貞門 五三一）○誹枕（談林 四五七）大矢數（同 五四四）

東遠江（ヒガシアフミ）
「近江」ヲ見ヨ

東河内（ヒガシカハチ）
「河内」ヲ見ヨ

肥後（ヒゴ）
芭蕉連句集成（芭蕉 三八二）○ひさご（蕉前 三七〇）○續有磯海（蕉後 一四五）○新増犬筑波（貞門 六三）○おくれ雙六（談林 三三三）○續一夜松前集（中名 四〇〇）

肥前（ヒゼン）
陸奥衙（蕉後 三六四）○誹枕（談林 四四五）

飛驒（ヒダ）　飛彈
笈日記（蕉前 二六）○歌仙そろへ（貞門 五三〇）○誹枕（談林 四三五(三)）○美佐古鮓（近名 五二八）

常陸（ヒタチ）
芭蕉連句集成（芭蕉 三三三）○續虚栗（蕉前 五〇）○歌仙そろへ（貞門 五三〇）○誹枕（談林 四三〇・四六七）○花月六百韻（中名 二一）○一茶連句集成（一茶 三八）○俳諧廻文帖（近名 五七二）○ばせをだらひ（蕉續 四三三）

備中（ビッチウ）
玉海集（貞門 三八六）

フ

豐前（ブゼン）
歌仙そろへ（貞門 五三一）○誹枕（談林 四四四）

豐後（ブンゴ）
獨吟千句（貞門 二九）○蟻つか（中名 二〇四）

マ

ム

向近江（ムカヒアフミ）　「近江」ヲ見ヨ

武藏（ムサシ）
勸進牒（蕉前 三一〇）弓（同 四五二）○新撰犬筑波（貞門 四六）新增犬筑波（同 七四・二四）歌仙そろへ（同 五三〇）○江戸八百韻（談林 三三八）誹枕（同 四六二・四六七）○蕪村俳句類聚（蕪村 三三）○新撰武藏曲（中名 八三・八四・八八）○白雄句集（天名 二九七）○我春集（一茶 二三）○なのゝえ草稿（近話 三五九）嵐亭誹話（同 五三六）○綾錦（系譜 五九）

席田（ムシロダ）　莚田

陸奥（ムツ）　「陸奥（ミチノク）」ヲ見ヨ
誹枕（談林 四三五・四六四・四六七）

モ

最上（モガミ）
陸奥衖（蕉後 三八七）○古太白堂句選（元祿 三六・三三五（三））○紅梅千句（貞門 一四八）○誹枕（談林 四六五）○骨書（中名 四五五）○一茶連句集成（一茶 一四四）

ヤ

山城（ヤマシロ）
芭蕉俳句類聚（芭蕉 七四）○虚栗（蕉前 三三〇）○幾人水主（蕉後 六七四）○初心もと柏（元祿 一三）○鷹筑波（貞門 二六二）玉海集（同 二八三・三八一）歌仙そろへ（同 五三〇）○談林十百韵（談林 四九）七百五十韵（同 四二五）續の原（同 二九四）おくれ雙六（同 三二三）誹枕（同 四一九）○瓢簞集（天明 八〇）、井華集（同 二〇二）春泥發句集（同 一五七・一六八）萑亭句集（同 四六二）○一茶連句集成（一茶 一一五）○花見二郎（近名 四一六）

大和（ヤマト）
續猿蓑（蕉前 五九七）○麥林集（元祿 四九一）○鷹筑波（貞門 一七七）歌仙そろへ（同 五三〇）○談林十百韵（談林 七〇）七百五十韵（同 二六一）おくれ雙六（同 三二三）誹枕（同 四六六）大矢數（同 四九九・五三八）○花鳥篇（蕪村 一三）○花月六百韵（中名 二八）續明烏（同 二四七）續一夜松後集（同 四四二）○落葉考（中話 三三五）○蘇明山莊發句藻（天明 三三）蓼太句集（同 三三六）萑亭句集（同 四六二）○一茶連句集成（一茶 八三）我春集（同 三〇）○寂砂子集（近名 三四八）俳諧新深川（同 四六六）

リ

琉球（リウキウ）
正風彦根躰（蕉後 五八八）○類柑子（元祿 五七八）○新增犬筑波（貞門 三〇（三））紅梅千句（同 一六四）○誹枕（談林 四四七）○蕪村連句選集（蕪村 一七）○七柏集（中名 五七五）

ワ

二　市町村

ア

(同 二四〇) いつな昔(同 三七) 枯尾花(同 六〇五) ○となみ山(蕉後 一三六) 小文庫(同 二七四) 陸奥衛(同 三一六・三八九) 杜撰集(同 四九九) 錢龍賦(同 五〇八) ○三冊子(蕉話 一六五) 去來文(同 二八四(二)) 青根が峯(同 四八〇) ○五元集(元祿 一九六) 類柑子(同 三三五) ○誹諧富世男(談林 九六・一〇一) 東日記(同 二〇八) 大矢數(同 五三六) ○蕪村書翰集(蕪村 八八) ○五色墨(中名 四三) 續一夜松前集(同 三八九) 續一夜松後集(同 四三八) ○靱隨筆(中話 二五・三〇・五七) はいかい袋(同 二七三) ○蘇明山荘發句藻(天明 二四) 瓢簞集(同 八六) 曉臺句集(同 四一九) ○一茶俳句選抄(一茶 三五) ○淺草はうご(近名 一一九) 物見塚記(同 二六七) 世美家(同 三一六) ○成美家集(近話 四三八・四五七・四六〇) 鳳朗發句集(同 六一三) ○鵲尾冠(蕉續 一八三) 桃紙集(同 三六九)

朝倉(アサクラ)(但馬)

鷹筑波(貞門 二七一) ○誹枕(談林 四五八) ○新撰武藏曲(中名 九七) ○女百人一句(近名 四七七) ○綾錦(系譜 二一)

朝倉(アサクラ)(伊豫)

俳懺悔(中話 一四八)

朝野(アサノ)〔淺野〕(淡路)

誹枕(談林 四六三)

淺野(アサノ)(信濃)

一茶書翰抄(一茶 一九)

麻布(アザフ)

芭蕉連句集成(芭蕉 一九〇) ○勸進牒(蕉前 三〇四)

足洗(アシアラヒ)

續猿蓑(蕉前 六〇一) ○蓮二吟集(元祿 二七二)

足利(アシカガ)

秋の日(中名 五二三)

安食(アジキ)

幣ふくろ(中名 五三三)

蘆峅(アシクラ)　蘆倉

北の山(蕉前 四一九)

蘆野(アシノ)

奧の細道(芭蕉 五八九) ○陸奧衛(蕉後 三六〇・三八八) ○古太白堂句選(元祿 三三五)

葦浦(アシノウラ)

玉海集(貞門 三七一)

蘆屋(アシヤ)

誹諧初學抄(貞門 五〇〇)

飛鳥(アスカ)

大矢數(談林 五一六) ○新みなし栗(中名 二六一) ○みはしら(近名 三三一)

あたご町(マチ)

株番(一茶 五〇)

熱海(アタミ)

五元集(元祿 二〇三・二〇七) ○うづら衣(中話 五七四(三)・六七二)

阿知(アチ)

野坡吟艸(蕉續 四六二)

熱田(アツタ)

芭蕉俳句類聚(芭蕉 八八) 芭蕉連句集成(同 二一七・四三三) ○冬の日(蕉前 八三) 千鳥掛(同 三八) 曠野後集(同 二一六)

梟日記（蕉後 七七） ○蓮二吟集（元祿 二七六） ○西國曲（蕉續 二〇五）

岩倉（イハクラ） 岩藏・石藏

冬の日（蕉前 七八） 七百五十韵（談林 二六六・二七三） ○蕪村俳句類聚（蕪村 六三） 蕪村發句解（同 二三三(二)） 蕪村連句選集（同 九一） ○五車反古（中名 三七三） 骨書（同 四五二） ○俳諧寂栞（中話 三五一） ○太祇句選（天明 一〇四） ○鴫風呂（近名 一〇九） ○屠龍之技（近話 四二八）

岩崎（イハサキ）

笈日記（蕉後 五六）

岩沼（イハヌマ）

奥の細道（芭蕉 五九一） ○陸奥衛（蕉後 三七九(二)） ○誹枕（談林 四五三）

祝町（イハヒマチ）

新撰武藏曲（中名 一〇五）

岩淵（イハブチ）

勸進牒（蕉前 二八五） ○南北新話（中話 九四） うづら衣（同 六六一）

茨木（イバラキ）

俳諧御傘（蕉續 六六）

飯貝（イヒカヒ）

芭蕉俳句類聚（芭蕉 一五） ○本朝文選（蕉話 五〇五） ○新雜談集（中話 四一六）

飯塚（イヒヅカ）（飯坂カ）

奥の細道（芭蕉 五九〇(二)） ○陸奥衛（蕉後 三七九）

今庄（イマシヤウ）

草苅笛（蕉後 一九〇） 庭竈集（同 六六一） ○おひくさび（蕉話 三九七） ○うづら衣（中話 六六三）

今津（イマヅ）

七車（元祿 六八）

今戸（イマド）

うづら衣（中話 五五五・五五六） ○物見塚記（近名 二六四） ○梅室家集（近話 五六二）

今治（イマバリ・イマハル）

俳懺悔（中話 一四八）

今町（イママチ）（直江津）

寂砂子集（近名 三二九） ○北國曲（蕉續 三三七）

今宮（イマミヤ）

いまみや艸（元祿 一三〇・一三三(三)） ○七百五十韵（談林 二七三） はいかい袋（中話 二八二）

伊萬里（イマリ）

誹枕（談林 四四六）

一口（イモアラヒ）

新かはづ合（近名 四四四）

芋川（イモカハ）

虎溪の橋（談林 七九）

伊良古（イラコ） 伊良古崎

芭蕉俳句類聚（芭蕉 八三・八八(二)） 芭蕉俳句不審抄（同 三三(三)） 笈の小文（同 五七三・五七四・五七五） 庚午紀行（同 五八〇(三)） ○千鳥掛（蕉前 一〇四） 曠野後集（同 二一八・二一九） 華摘（同 三四三(三)） ○笈日記（蕉後 三九(二)） 皮籠摺（同 四四二） 杜撰集（同 四八六・四八七） ○玄峰集（元祿 二四八） ○續の原（談林 三〇〇） ○曉臺句集（天明 四三八） ○鵲尾冠（蕉續 一三四・一八六）

井華集(同 二〇八) 葎亭句集(同 四六二・四九六) ○一茶連句集成(一茶 二八) ○さきつる(近名 四三) 閑清水物語(同 五〇九) ○梅室家集(近話 五七四) 蒼虬翁句集(同 六四四・六四八) ○増補はなひ草(蕉續 一七五)

上関(カミノセキ) 紅梅千句(貞門 一六九)

上牧(カミマキ) 玉海集(貞門 三三七)

神谷(カミヤ) 續明烏(中名 三三二)

神崎(カンザキ) 本朝文選(蕉話 五五七) ○誹枕(談林 四六七) ○寫經社集(中名 三六三) ○一茶連句集成(一茶 三一) ○そこの花(蕉續 四九九)

神田(カンダ) 常盤屋の句合(芭蕉 五三五) ○江戸八百韻(談林 二三七) ○靭随筆(中話 七三)

金成(カンナリ)

陸奥衛(蕉後 三八四)

上林(カンバヤシ) 江戸八百韻(談林 二三九)

蒲原(カンバラ) 渡鳥集(蕉後 二四二) 陸奥衛(同 三一七) ○鬼貫句選(元祿 四六六)

亀谷(カメガヤツ) 弓(蕉前 四五二) ○紅梅千句(貞門 一五一)

亀山(カメヤマ)(伊勢) 猿舞師(蕉後 三〇五) 幾人水主(同 六八〇)

亀山(カメヤマ)(上總) 猿舞師(蕉後 三〇一)

亀戸(カメヰド・カメド) 續一夜松前集(中名 四一三) ○靭随筆(中話 二八・四五)

鴨方(カモカタ) 二葉集(蕉後 六〇五)

加悦(カヤ・カエ)(丹後) 蕪村俳句類聚(蕪村 四四)

萱津(カヤツ) 曠野(蕉前 一七六) ○一幅半(蕉後 四七三)

○不猫蛇(蕉話 三四三)

茅場町(カヤバチヤウ) 類柑子(元祿 五一三)

がら 猿舞師(蕉後 二九六(三))

烏山(カラスヤマ) 鴉山 五元集(元祿 二一三) ○誹枕(談林 四三七)

唐津(カラツ) 誹枕(談林 四六八) ○北國曲(蕉續 三一八・三二一)

唐泊(カラトマリ) 梟日記(蕉後 九九) 庭竈集(同 六三三)

唐湊(カラノミナト) 誹枕(談林 四四七)

苅田(カリタ)(隱岐) 誹枕(談林 四四〇)

輕井澤(カルヰサハ) 續一夜松前集(中名 四〇八) 七柏集(同 五八六) ○春泥發句集(天明 一七三) ○一茶俳句選抄(一茶 一〇三) ○寂砂子集(近名 三一八)

（逸話 六六） 花見車（同 一〇八） ○卯辰集（蕉續 四三）

熊谷（クマガイ） 草苅笛（蕉後 一九七） ○玉海集（貞門 三〇一(二)） ○誹諧當世男（談林 一二三） 誹枕（同 四二三） ○俳諧御傘（蕉續 七）

熊坂（クマサカ） 俳諧御傘（同 七）

熊本（クマモト） 隈本

ひさご（蕉前 三七〇） ○梟日記（蕉後 六八・八九） ○類柑子（元祿 五五九）

郡内（グンナイ） 芭蕉俳句不審抄（芭蕉 三四） ○小文庫（蕉後 二七七） ○五老井發句集（元祿 三〇三） ○新撰武藏曲（中名 一〇九） ○蘇明山莊發句藻（天明 三三）

倉賀野（クラガノ）

倉澤（クラサハ） うづら衣（中話 六七〇）

倉敷（クラシキ） 庭芝（近名 三八六）

梟日記（蕉後 七三(三)・七四） ○蓮二吟集（元祿 二八三）

藏前（クラマヘ） はいかい袋（中話 二七四）

倉吉（クラヨシ） 芭蕉俳句不審抄（芭蕉 一三三）

栗田（クリタ） 北國曲（蕉續 三四八）

栗橋（クリハシ） 芭蕉連句集成（芭蕉 三五四） ○一茶連句集成（一茶 三〇）

栗原（クリハラ） 陸奥鵆（蕉後 三八四） ○誹枕（談林 四六五）

車返（クルマガヘシ）（駿河） 誹枕（談林 四六六）

車坂（クルマザカ） 芭蕉俳句不審抄（芭蕉 一三二） ○靱隨筆（中話 二四） ○女百人一句（近名 四七八） 玉池雜藻（近話 六〇）

久留米（クルメ） 其便（蕉前 五〇二） ○梟日記（蕉後 九八(二)） ○蓮二吟集（元祿 二八八） ○誹枕（談林 四四五）

黑崎（クロサキ） 芭蕉連句集成（芭蕉 三二六） ○梟日記（蕉後 八一・一〇〇・一〇一(三)・一〇二・一〇五(二)） 猿舞師（同 二九四） ○花實集（蕉話 二一三） ○蓮二吟集（元祿 二八九） 去來發句集（同 三八六）

黑津（クロツ） 芭蕉文集（芭蕉 六一四・六一六・六一七） ○猿蓑（蕉前 三九六） 己が光（同 四三一） ○笈日記（蕉後 三二） ○本朝文選（蕉話 三三五） ○去來發句集（元祿 三八四）

黑野（クロノ） 梟日記（蕉後 六九）

黑羽（クロバネ） 芭蕉俳句類聚（芭蕉 四五） 奧の細道（同 五八(二)） ○陸奥鵆（蕉後 三五三・三七六(三)・三七七） ○古太白堂句選（元祿 三三一）

コ

紀行（一茶 一〇） ○貞德永代記（逸話 一八九）

堺町（サカヒチヤウ） 境町（東京）
芭蕉俳句類聚（芭蕉 七三） ○不猫蛇（蕉話 三三） 本朝文選（同 五〇六） ○誹諧當世男（談林 九三） ○笈のわか葉（蕉續 三九〇）

坂本（サカモト）（近江）
杜撰集（蕉後 四八七） 正風彦根躰（同 五八二） 二葉集（同 六〇八） ○玄峰集（元祿 二五〇） ○新増犬筑波（貞門 六五） ○誹枕（談林 四三五） 大矢數（同 五四一） ○靭隨筆（中話 六〇）

坂本（サカモト）（武藏）
西歌仙（近名 二五八）

佐倉（サクラ）
七柏集（中名 五九〇）

櫻澤（サクラサハ）
北國曲（蕉續 三四〇） 笈のわか葉（同 三八五）

櫻町（サクラマチ）
虎溪の橋（談林 七五）

櫻井（サクラヰ）
梟日記（蕉後 七〇） 猿舞師（同 二九二） ○南北新話（中話 七七） ○俳諧何袋（近名 二一五）

笹森（ササモリ）
陸奥衛（蕉後 三八四）

佐敷（サシキ）
梟日記（蕉後 九〇（三））

佐田（サタ）
鬼貫句選（元祿 四一） ○蕪村俳句類聚（蕪村 一三九）

幸手（サツテ）
芭蕉連句集成（芭蕉 三五四）

佐野（サノ）（上野）
芭蕉連句集成（芭蕉 一五二） ○華摘（蕉前 三四〇） 炭俵（同 五〇九） ○五元集（元祿 二一七） 類柑子（同 五七七） ○獨吟千句（貞門 一四） 新撰犬筑波（同 四六） 新増犬筑波（同 七五・一一五） ○談林十百韻（談林 五三・五五） 誹枕（同 四三六（三）） ○蕪村俳句類聚（蕪村 一三） ○靭隨筆（中話 七〇） 俳懺悔（同 一四八） ○古蘿發句集（天明 三五二） ○一茶連句集成（一茶 八六）

鯖江（サバエ）
芭蕉連句集成（芭蕉 四一四）

澤田（サハダ）
から檜葉（蕪村 一三）

鯖野（サバノ）
奥の細道（芭蕉 五九〇）（鯖野ハ誤） ○たのゝえ草稿（近話 三五八）

澤邊（サハベ）（陸前）
陸奥衛（蕉後 三八四）

佐原（サハラ）
靭隨筆（中話 七三）

雜司谷（ザウシガヤ） 曹司谷
五元集（元祿 二〇六） 類柑子（同 五四四） ○蘇明山莊發句藻（天明 二・三三（三）） ○おらが春（一茶 二一四）

二九九）○其雪影（中名 二九七）○落葉考（中話 三〇七）

隅田（スミダ・スダ）　芭蕉連句集成（芭蕉 四九五）○哲阿彌句藻（天明 五九）○一茶俳句選抄（一茶 二五）一茶連句集成（同 一六九）

住吉町（スミヨシチヤウ）　一茶連句集成（一茶 一〇八）

駿河町（スルガチヤウ）　炭俵（蕉前 五〇六）○はいかい袋（中話 二六六）○素丸發句集（天明 五八七）○鷹風呂（近名 一一〇）○俳諧茶話（近話 三〇六）○鵲尾冠（蕉續 一三四）

吹田（スキダ）　新撰犬筑波（貞門 四三(三)）○蕪村俳句類聚（蕪村 一五三）

セ

せい高嶋（タカシマ）　東日記（談林 一九三）誹枕（同 四四九）

關（セキ）（伊勢）　芭蕉連句集成（芭蕉 三九五・三九六・四三六）○其袋（蕉前 二五九）○渡鳥集（蕉後 二五四）○本朝文選（蕉話 五五六）○鬼貫句選（元祿 四三）○玉海集（貞門 三二四）○誹枕（談林 四六六）○幣ふくろ（中名 五一八・五二四）○葎亭句集（天明 四五〇）○江鮭子（蕉續 三）

關（セキ）（美濃）　曠野（蕉前 一六八・一七六(三)）藤の實（同 四七三）○梟日記（蕉後 六九）○本朝文選（蕉話 五〇一(三)）○惟然坊句集（元祿 三七四・三七六）○談林十百韵（談林 四七）○誹諧根源集（近話 四二）

關原（セキガハラ）　芭蕉連句集成（芭蕉 三三三）○庭竈集（蕉後 六五一(三)）○江戸八百韻（談林 三三三）○七柏集（中名 五五四）

關屋（セキヤ）　蓼太句集（天明 二三二）白雄句集（同 二九五）○徳萬歳（近名 一五〇）○鳳朗發句集（近話 五八四）

關宿（セキヤド）　蕪村書翰集（蕪村 五七）○寂砂子集（近名 三四三）

膳所（ゼゼ）　芭蕉俳句類聚（芭蕉 三・八五）嵯峨日記（同 六〇七）芭蕉文集（同六一七・六二〇）○千鳥掛（蕉前 一三）其袋（同 二三七）勸進牒（同 二八八）いつを昔（同 三三三）華摘（同 三三五・三四六）猿蓑（同 三八一）己が光（同 四三五）市の庵（同 五一九）其便（同 五六九）枯尾花（同 六〇六・六〇七・六〇九・六三、六三一）（笈日記（蕉後 三）梟日記（同 六九）渡鳥集（同 二五七）錢龍賦（同 五〇七）○旅寝論（蕉話 三三〇）去來抄（同 二五二）不猫蛇（同 三五四）青根が峯（同 四五九・四七八）○鬼貫句選（元祿 四三）類柑子（同 六〇三）○五色墨（中名 三六・三七）續一夜松前集（同 三九五）○一茶連句集成（一茶 三二六）○西歌仙

ソ

白雄句集（同 二八〇）

曾根（ソネ）　陸奥衛（蕉後 三七九）　杜撰集（同 四九九）　○古太白堂句選（元祿 三三三）　○みはしら（近名 三六一）　俳諧廻文帖（同 五六七）　○その濱ゆふ（蕉續 四〇〇）

曾根崎（ソネザキ）　素丸發句集（天明 五五四）

園部（ソノベ）　はりまあんご（近名 八〇）　○江鮭子（蕉續 七）

曾原（ソハラ）　東日記（談林 二〇七）

染井（ソメヰ）　類柑子（元祿 五四五）　○春秋稿（中名 四七八）　○蘇明山莊發句藻（天明 一四・三五六(三)・三六六(三)）　葛幣（同 五四三）

タ

醍醐（ダイゴ）　二葉集（蕉後 五九七）　○初心もと柏（元祿 一三）　○玉海集（貞門 二九六・三一九・三五四(三)）　○蕪村連句選集（蕪村 四）　○新雜談集（中話 四二九）　○春泥發句集（天明 一五〇）　葎亭句集（同 四六六）　○一茶連句集成（一茶 六）　世美冢（近名 三一〇）　麻刈集（同 三七八）

當麻（タイマ）　蕪村連句選集（蕪村 九三）　○附合てびき蔓（中話 四三二(三)）

大聖寺（ダイシャウジ）　奥の細道（芭蕉 五九九）　○本朝文選（蕉話 四九四）

手向（タウゲ）　陸奥衛（蕉後 三八六(二)）

道後（ダウゴ）　誹枕（談林 四四四）

堂嶋（ダウジマ）　鬼貫句選（元祿 三二）　○一茶連句集成（一茶 三五）

道頓堀（ダウトンボリ）　勸進牒（蕉前 二九〇）　○猿黐（貞門 六五四）　○江戸蛇之鮓（談林 一七九）　誹枕（同 四四九）　大矢數（同 五三七）　○はいかい袋（中話 二三七）

高久（タカク）　芭蕉俳句類聚（芭蕉 二九）　芭蕉連句集成（同 四七二）

高崎（タカサキ）　夜半亭發句帖（中名 六七）

高砂（タカサゴ）　笈日記（蕉後 五三三）　草苅笛（同 二〇三）　二葉集（同 五九七）　○七車（元祿 五三三）　いまみや艸（同 三四）　○獨吟千句（貞門 三三）　玉海集（同 三八八）　○大坂獨吟集（談林 一五）　誹枕（同 四四一・四五七）　大矢數（同 四八九）　○蕪村俳句類聚（蕪村 九四）　○新撰武藏曲（中名 八八）　○一茶連句集成（一茶 一七）　○みはしら（近名 三六一）　○鳳朗發句集（近話 五八六）　○俳諧御傘（蕉續 一三〇）

高島（タカシマ）（近江）

(元祿 二七九・二九三)

樫柄（タシカラ）
北國曲(蕉續 三四四)

多田（タダ）
誹諧根源集(近話 三七)

立賣町（タチウリマチ）
續明烏(中名 三三三)

橘町（タチバナチャウ）
芭蕉文集(芭蕉 六三八) ○勸進牒(蕉前 二八三) ○小文庫(蕉後 二七二) ○蓼太句集(天明 二五七) ○何袋(近名 一九九)

龍野（タツノ）
五元集(元祿 三三四) ○西國曲(蕉續 一九七)

辰市（タツノイチ）
芭蕉連句集成(芭蕉 三六三)

田中（タナカ）(山城)
蕪村俳句類聚(蕪村 四九) 蕪村連句選集(同 九四)

田中（タナカ）(近江)
類柑子(元祿 四四一)

田中（タナカ）(美濃)
芭蕉俳句類聚(芭蕉 五七) ○笈日記(蕉後 三一・三九)

田中（タナカ）(信濃)
一茶書翰抄(一茶 二六) ○蒼虬翁句集(近話 六三八)

田中（タナカ）(肥前)
續一夜松後集(中名 四四一)

田中（タナカ）(?)
冬の日(蕉前 七五) ○一茶俳句選抄(一茶 一〇三)

田上（タナカミ・タノカミ）
市の庵(蕉前 五三四) ○笈日記(蕉後 二五) 韻塞(同 五三八) ○葎亭句集(天明 四六六) ○俳諧御傘(蕉續 四五)

棚橋（タナヘシ）
華摘(蕉前 三五四)

谷汲（タニグミ）
芭蕉連句集成(芭蕉 二六五) 奥の細道(同 五九八) ○續虚栗(蕉前 六六) ○錢龍賦(蕉後 五〇九) ○誹枕(談林 四三五) ○七柏集(中名 五六八) ○一茶連句集成(一茶 七三)

田原（タハラ）
蕪村文集(蕪村 二九) から檜葉(同 三)

平（タヒラ）
陸奥衛(蕉後 三七七) ○誹仙そろへ(貞門 五三三)

平安京（タヒラノキヤウ）
誹枕(談林 四三一)

田町（タマチ）
其袋(蕉前 二七六)

玉造（タマツクリ）
其袋(蕉前 二七四) ○玉海集(貞門 三四八) ○はいかい袋(中話 三三七)

淡輪（タンノワ）
枯尾花(蕉前 六〇八)

丹波市（タンバイチ）
續明烏(中名 三三六)

丹波口（タンバグチ） はいかい袋（中話 三一一）

垂井（タルヰ） 曠野（蕉前 一八七） ○庭竈集（蕉後 六五一） ○談林十百韵（談林 六八） ○卯辰集（蕉續 四六）

田井畑（タヰノハタ） 笈の小文（芭蕉 五七八）

チ

茅崎（チガサキ） 春秋稿（中名 四八六(三)）

知内（ナナイ） 斧の柄（近名 四〇一）

千葉（チバ） 誹枕（談林 四三一・四三三・四六一）

茅原（チハラ） 江戸八百韻（談林 二三〇）

長南（チャウナン）〔廳南〕 誹枕（談林 四三二）

池鯉鮒（チリフ） 其袋（蕉前 二五三） ○陸奥鵆（蕉後 三三五） 皮籠摺（同 四五五） ○猪の早太（蕉話 三七二） 本朝文選（同 五〇五） ○芭蕉翁付合集（蕪村 四五） ○綾錦（系譜 五二） ○俳諧深川（蕉續 一四） ばせをだらひ（同 四二七）

ツ

津（ツ） 藤の實（蕉前 四八五） ○靱随筆（中話 四二） はいかい袋（同 二二四・二七五） ○俳諧新深川（近名 四五三）

築館（ツキダテ） 陸奥鵆（蕉後 三八四） ○誹枕（談林 四五三）

筑摩（ツクマ） 續虚栗（蕉前 六六） ○本朝文選（蕉話 五五七） ○類柑子（元祿 五一六） ○鷹筑波（貞門 二〇〇） ○はいかい袋（中話 三三六）

厨子小路（ツシコウヂ） 本朝文選（蕉話 五四〇）

津島（ツシマ） 蓮二吟集（元祿 二八六） ○玉海集（貞門 三三一） 山之井（同 四三一）

土浦（ツチウラ） 陸奥鵆（蕉後 三七五） ○古太白堂句選（元祿 三三〇）

土山（ツチヤマ） 本朝文選（蕉話 五五六） ○鬼貫句選（元祿 四三一） ○華亭句集（天明 四四九） ○關清水物語（近名 五〇五）

角田（ツノダ） 美佐古鮓（近名 五二八）

椿新田（ツバキシンデン） 小文庫（蕉後 二六八）

都麻（ツマ） 誹枕（談林 四六八）

爪田（ツマダ） 己が光（蕉前 四二五）

津山（ツヤマ）

テ

ト

ナ

ニ

二合半（ニガフハン）　草苅笛（蕉後 一八七）

西陣（ニシヂン）　正風彦根躰（蕉後 五八七）○類柑子（元祿 五三三）○玉海集（貞門 三九二）○大坂獨吟集（談林 三〇）○春泥發句集（天明 一五三）

西之京（ニシノキヤウ）　蕪村俳句類聚（蕪村 一四・一二三・一四八）花鳥篇（同 一六）○五車反古（中名 三七〇）○葎亭句集（天明 五三二）○新華摘（近名 六三・七四）鬪淸水物語（同 五〇四）○俳諧御傘（蕉續 一三〇）

西洞院（ニシノトウヰン）　才麿發句拔萃（元祿 一八六）○俳諧御傘（蕉續 八一）

西宮（ニシノミヤ）　梟日記（蕉後 七〇）一幅半（同 四七三）○才麿發句拔萃（元祿 一八二）蓮二吟集（同 二八〇）○蟻つか（中名 一八五）○野坡吟艸（蕉續 四四八）

二町町（ニチヤウマチ）　新撰武藏曲（中名 八八）

日坂（ニツサカ）　芭蕉連句集成（芭蕉 一五〇）○鬼貫句選（元祿 四四）

新田（ニツタ）（上野）　松のそなた（近名 一六）

新田（ニツタ）（陸前）　陸奥衛（蕉後 三八三）

新堀（ニツポリ）　日暮里　芭蕉文集（芭蕉 六五四）○物見塚記（近名 二七六）

二條（ニデウ）　芭蕉連句集成（芭蕉 二九九）○玉海集（貞門 三〇八）誹諧初學抄（同 四九七）○續明烏（中名 三三二）○靭隨筆（中話 六二）

二戸（ニノヘ）　續一夜松前集（中名 三九三）

新潟（ニヒガタ）　奥の細道（芭蕉 五九七）○蕪村連句選集（蕪村 一八）○續一夜松後集（中名 四四五）○鬪淸水物語（近名 四九六）

二本松（ニホンマツ）　奥の細道（芭蕉 五九〇）○俳懺悔（中話 一四八・一五七）○晳阿彌句藻（天明 三三）

如法寺（ニヨホウジ）　寂砂子集（近名 三三二）

ヌ

沼田（ヌマタ）　物見塚記（近名 二六四）

沼津（ヌマヅ）　其便（蕉前 五五四）○類柑子（元祿 五八八）○誹枕（談林 四二八）○續一夜松前集（中名 四〇八）

ネ

ヒ

へ

ホ

ム

ヤ

ユ

ヨ

り

ロ

三 名所 雜

筑波（貞門 二四(三)）玉海集（同 二九九）○誹枕（談林 四三九）○北國曲（蕉續 三三七）○

阿漕浦（アコギガウラ） 阿濃浦

芭蕉連句集成（芭蕉 四九一）○一幅半（蕉後 四七二）○誹枕（談林 四二三）大矢數（同 四九六）○半化坊發句集（天明 三七八）

阿古耶松（アコヤノマツ）

陸奥衞（蕉後 三八七）

阿胡海（アコノウミ）

誹枕（談林 四四三）

淺香（アサカ）

俳諧雜巾（談林 一三〇）○蕪村連句選集（蕪村 八一）○たのゝえ草稿（近話 三六五）

淺香山（アサカヤマ）

芭蕉俳句不審抄（芭蕉 一三一）芭蕉連句集成（同 四七三(二)）奧の細道（同 五九〇）○陸奥衞（蕉後 三五一・三七八(三)）伊達衣（同 三九七）○古太白堂句選（元祿 三三一・三三二）○おくれ雙六（談林 三〇六）○俳懺悔（中話 一四六）○瓢簞集（天明 八三）○犬古今（近名 三三五・三三六）美佐古鮓（同 五一七）はたけせり（同 五四七）

淺香沼（アサカノヌマ）

芭蕉連句集成（芭蕉 四七三(二)）○冬の日（蕉前 七六）○陸奥衞（蕉後 三七八）伊達衣（同 四〇一）○瓢簞集（天明 八五）○寂砂子集（近名 三三八）○屠龍之技（近話 四一六）○誹諧京羽二重（逸話 一三三）

淺草川（アサクサガハ）

華摘（蕉前 三三四）其便（同 五六八）○青根が峯（蕉詰 四八〇）○五元集（元祿 二〇五・二一三）類柑子（同 五四四）○東日記（談林 一九四）○新撰武藏曲（中名 八三）○靭隨筆（中話 二〇）○蘇明山莊發句藻（天明 二五）○成美家集（近話 四三七）

淺草橋（アサクサバシ）

大坂獨吟集（談林 八）

朝倉山（アサクラヤマ）

おくれ雙六（談林 三一九）

朝明川（アサケガハ）

幣ふくろ（中名 五一八）○うづら衣（中話 五七二(二)）

朝明橋（アサケノハシ）

幾人水主（蕉後 六七九）

淺澤小野（アサザハヲノ）

山之井（貞門 四二九）○誹枕（談林 四六五）

淺茅原（アサヂガハラ）（東京）

其便（蕉前 五六一）○五元集（元祿 一九八・三三五(二)）○蟻つか（中名 一六四）○白雄句集（天明 二九五）○一茶連句集成（一茶 一七二）○西歌仙（近名 三五八）

淺茅原（アサヂガハラ）（？）

花月六百韻（中名 一八）

淺茅原（アサヒガハラ）（？）

續明烏（中名 三三四）

淺茅山（アサヂヤマ）

誹枕（談林 四四七）○延享廿歌仙（中名 九七）

朝妻（アサヅマ） 淺妻

本朝文選（蕉詰 五五七）○誹枕（談林 四三四）○七柏集（中名 五四七・五六六）○雜話抄（中話 八(二)・一〇）

淺野川（アサノガハ）

半化坊發句集（天明 三六三）○松のそなた（近名 二六）○誹諧世說（逸話 四三）

淺羽野（アサハノ）
素檗句集（近話 五三二）

朝日山（アサヒヤマ）
正風彥根躰（蕉後 五六八）○鬼貫句選（元祿 三七）五元集（同 一九五）○大矢數（談林 五四三）○蕪村俳句類聚（蕪村 三三）○五色墨（中名 四一）七柏集（同 五七三）○葛箒（天明 五三三）○犬古今（近名 三三七）○俳諧御傘（蕉續 一〇一）

淺間山（アサマヤマ）
芭蕉俳句類聚（芭蕉 五〇）芭蕉俳句異同考（同 一〇九）芭蕉連句集成（同 一五三・一六三）更科紀行（同 五八四）○桃の實（蕉前 四六一）○韻塞（蕉後 五六〇）正風彥根躰（同 五六七）○本朝文選（蕉話 五九六）○素堂句集（元祿 一七二）○獨吟千句（貞門 一八）新增犬筑波（同 七六・八二・九四）○誹枕（談林 四六二）大矢數（同 五四四）白根嶽（同 六一六）○蕪村俳句類聚（蕪村 六九）蕪村連句選集（同 六九）○俳懺悔（中話 一八三・一九一・一九三）うづら衣（同 六七〇（二））○大祇句選（天明 一〇五）白雄句集（同 二七四（二）・三〇〇）半化坊發句集（同 三七五）葎亭句集（同 四八四）葛箒（同 五三七）○一茶俳句選抄（一茶 七〇・七六・九二・一四六）株番（同 五九）○水薦苅（近名 一八〇・一八二・一八三（三）・一八九・一九〇・一九一（三）・一九二（二））寂砂子集（同 三八）○素檗句集（近話 五三三）○北國曲（蕉續 二九三）笈のわか葉（同 三八五）俳諧御傘（同 一〇一）

朝熊山（アサマヤマ・アサクマヤマ）
春の日（蕉前 八四）藤の實（同 四八六）續猿蓑（同 五八六）○笈日記（蕉後 四四）渡鳥集（同 二四一）皮籠摺（同 四五一）杜撰集（同 四九二）○五元集（元祿 三三七）蓮二吟集（同 二七六）去來發句集（同 三八三）蓼林集（同 四六一・四八五）○玉海集（貞門 三四八）○談林十百韻（談林 六〇）誹枕（同 四六四）○葎亭句集（天明 四五一）○俳諧御傘（蕉續 七七）

淺間溫泉（アサマヲンセン）
笈のわか葉（蕉續 三八五）

淺水橋（アトムヅノハシ） 朝水・朝六橋
芭蕉俳句類聚（芭蕉 六〇（二））奥の細道（同 六〇〇）○其袋（蕉前 二五五（三））○誹枕（談林 四三八）○北國曲（蕉續 三三八）

海鹿潟（アジカガタ） 安鹿潟
虛栗（蕉前 一八）○梟日記（蕉後 七五）

足柄山（アシガラヤマ）
庚午紀行（芭蕉 五八〇）○杜撰集（蕉後 四八五）○中庸姿（貞門 五四四）○誹枕（談林 四六八・四五〇・四六三）大矢數（同 五五二）○蕪村連句選集（蕪村 八八）○新みなし栗（中名 二七六）○不白翁句集（近話 三二）曾波可理（同 四七三）

足高山（アシタカヤマ）
其袋（蕉前 二六四）○鬼貫句選（元祿 三三）類柑子（同 五八八）○大坂獨吟集（談林 二〇）○樗良發句集（天明 三二六）○蒼虬翁句集（近話 六五一）○鶚尾冠（蕉續

一四三）

葦田原（アシタノハラ） 朝原

錢龍賦（蕉後 五〇七）○中庸姿（貞門 三三九）○おくれ雙六（談林 三一九）○蟻つか（中名 一五五）○はいかい袋（中話 二一四・二七一）○花見の記（一茶 一六）○俳諧御傘（蕉續 七三）增補はなひ草（同 一六三）

蘆湯（アシノユ）

陸奥衛（蕉後 三五六） 杜撰集（同 四九一）錢龍賦（同 五一三）○夜半亭發句帖（中名 六七） 延享廿歌仙（同 一〇七）○蓼太句集（天明 三四一）

葦穗山（アシホヤマ）

誹枕（談林 四三三）

蘆屋浦（アシヤノウラ）

玉海集（貞門 三七八）

飛鳥川（アスカガハ）

虛栗（蕉前 二三五）○有磯海（蕉後 一三一）庭竈集（同 六五七） 幾人水主（同 六八〇）○本朝文選（蕉話 五四〇）○獨吟千句（貞門 八）○談林十百韵（談林 四一） 誹諧雜巾（同 一四〇） 江戸蛇之鮓（同 一八四） 江戸八百韻（同 三五一） 鹿揃（同 三四〇） 大矢數（同 四八五・五三〇・五六二）○延享廿歌仙（中名 一三・一三五） 蟻つか（同 一八三）○俳懺悔（中話 一六七） はいかい袋（同 二六・二八一）○一茶連句集成（一茶 一八二）○庵の記（蕉續 一〇六） 野坡吟艸（同 四六三）

飛鳥野（アスカノ）

德萬歲（近名 一四七）

飛鳥山（アスカヤマ）

靱隨筆（中話 六九・七三） うづら衣（同 六五〇）○半化坊發句集（天明 三八一） 葛箒（同 五四一）

阿曾沼（アソヌマ）

はいかい袋（中話 二一四）

阿蘇御池（アソノミイケ）

西國曲（蕉續 二一三）

阿蘇山（アソノヤマ）

梟日記（蕉後 八九）○新增犬筑波（貞門 七九）○誹枕（談林 四四六）○一茶俳句選抄（一茶 一八七）○西國曲（蕉續 二一三）

遊岡（アソビノヲカ）

誹枕（談林 四五八・四六五）

安宅關（アタカノヒキ）

芭蕉連句集成（芭蕉 一六三）○庭竈集（蕉後 六二七(二)）○五元集（元祿 三三四）○玉海集（貞門 三三七）○大坂獨吟集（談林 三一）○樗良發句集（天明 三三一(二)）葛箒（同 五三八）○卯辰集（蕉續 二七）

愛宕山（アタゴヤマ）（山城）

芭蕉連句集成（芭蕉 三九三）○續虛栗（蕉前 五八） いつを昔（同 三三二）○渡鳥集（蕉後 二三五・二三六） 伊達衣（同 四〇三） 杜撰集（同 四九三） 正風彥根躰（同 五七九・五八一）庭竈集（同 六二九）○本朝文選（蕉話 五三〇・五九九）○初心もと柏（元祿 九(三)・一三）五元集（同 一九五） 去來發句集（同 三九二）浪化上人發句集（同 四三三）○大矢數（談林 五三九）○蕪村俳句類聚（蕪村 五） 蕪村句集（同 一八四）○反古衾（中名 二一〇）平安二十歌仙（同 二五一） ○萑亭句集（天明 四八〇） 素丸發句集（同 六二一）○

嵐山（アラシヤマ・アラシノヤマ） 芭蕉俳句類聚（芭蕉 三・二七・三七） 芭蕉連句集成（同 四八七） 嵯峨日記（同 六五五・六〇八） ○猿蓑（蕉前 三八六） ○笈日記（蕉後 一七(二)） 有磯海（同 一二六） 草苅笛（同 二二四） 猿舞師（同 二九二） 陸奥衛（同 三一八） 錢龍賦（同 五一五(二)） ○三册子（蕉話 一六八(二)・一七四） 去來抄（同 二五五・二八六） 本朝文選（同 五九九） ○初心もと柏（元祿 一三） 去來發句集（同 三八九） ○山之井（貞門 四四六） ○東日記（談林 二〇二） 誹枕（同 四六七） 白根嶽（同 六三） ○蕪村句集（蕪村 一八八(二)） 蕪村連句選集（同 五六） 蕪村文集（同 一六・二五・二六） 芭蕉翁付合集（同 五四） ○續明烏（中名 三五(二)） 寫經社集（同 三九九） 五車反古（同 三七二・三七四） 骨書（同 四五七） 幣ふくろ（同 五二一） ○雜話抄（中話 三） 俳仙窟（同 一一四） 俳懺悔（同 一五六(二)） はいかい袋（同 二六八） 新雜談集（同 四〇九） ○瓢簞集（天明 七五・七六） 太祇句選後編（同 一一九） 樗良發句集（同 三一六・三三三） 青蘿發句集（同 三五〇・三五三(三)） 半化坊發句集（同 三六八） 曉臺句集（同 四〇四(二)・四〇九） 雁亭句集（同 五〇四） ○松のそなた（近名 三三） 新華摘（同 七三） 落柿舍日記（同 八九） 俳諧何袋（同 二〇六） 犬古今（同 三三一・三三四・三三七） 花見二郎（同 四三〇・四三三） ○不白翁句集（近話 三一九） 萍窓集（同 三九一） 曾波可理（同 四七二） 枇杷園句集（同 四九〇） 梅室家集（同 五六二） 鳳朗發句集（同 五八五・五八八） 蒼虬翁句集（同 六二九） ○鵲尾冠（蕉續 四一・一五二） ばせをだらひ（同 四〇四）

有乳山（アラチヤマ） 新乳山・荒乳山

東日記（談林 一九四） 誹枕（同 四三八） ○北國曲（蕉續 三二六） 笈のわか葉（同 三八九）

荒陵山（アラハカヤマ）

俳懺悔（中話 一七〇）

阿良禮松原（アラレマツバラ）

幣ふくろ（中名 五三三）

荒井坂（アラキザカ）

おらが春（一茶 八五）

有明浦（アリアケノウラ） 有明濱

菊の香（蕉後 三三〇） ○はりまおんご（近名 八〇） ○蒼虬翁句集（近話 六四九）

有栖川（アリスガハ）

太祇句選（天明 九七）

有磯（アリソ） 有礒

有磯海（蕉後 一〇九・一一〇） 續有磯海（同 一六七） 猿舞師（同 三〇四(二)） ○杉風句集（元祿 三五六） 浪化上人發句集（同 四一九・四三二） 麥林集（同 四八〇） ○北國曲（蕉續 三〇二・三三二・三三三）

有磯海（アリソウミ）

芭蕉俳句類聚（芭蕉 六七） 芭蕉連句集成（同 一四八） 奧の細道（同 五九八） ○いつを昔（蕉前 三一六） ○有磯海（蕉後 一一〇・一三七） となみ山（同 一三一） 陸奧衛（同 三一八・三七三） ○三册子（蕉話 一六六） ○浪化上人發句集（元祿 四三三） 類柑子（同 五一〇） ○蟻つか（中名 一八二） ○樗良發句集（天明 三三三） ○鳳朗發句集

伊豆島（イヅノシマ） 類柑子（元祿 五七〇） ○鞁隨筆（中話 五五） 俳懺悔（中話 一五七） ○一茶連句集成（一茶 三五）

伊豆御崎（イヅノミサキ） 伊豆岬 正風彦根躰（蕉後 五九一） ○俳懺悔（中話 一九六） ○一茶俳句選抄（一茶 三三一）

一本松（イツポンマツ） 笈のわか葉（蕉續 三八四）

泉川（イヅミガハ） 芭蕉文集（芭蕉 六三〇） ○伊達衣（蕉後 三九七） ○鷹筑波（貞門 三三三） ○誹諧七百五十韵（談林 二七三） おくれ雙六（同 三三一） 誹枕（同 四四九） ○葎亭句集（天明 四七六）

和泉灘（イヅミナダ） 大坂獨吟集（談林 一六〇）

出雲（イヅモ）（大和） 花月六百韻（中名 二八）

出流原（イヅルガハラ） 東日記（談林 二一〇）

糸鹿山（イトカヤマ） 草苅笛（蕉後 二〇七） ○誹枕（談林 四六七） ○春秋稿（中名 四九四）

稲佐（イナサ） 伊奈佐（肥前） 當流籠抜（談林 一六六） 誹枕（同 四四六）

稲佐山（イナサヤマ） 渡鳥集（蕉後 二三三）

引佐細江（イナサホソエ） つの文字（近名 七）

伊奈須（イナス） 玉海集（貞門 三一八(三)）

印南野（イナノ） 二葉集（蕉後 六三三） ○才麿發句抜萃（元祿 一八三） ○誹枕（談林 四六三）

稲葉山（イナバヤマ） 芭蕉俳句類聚（芭蕉 四三） 芭蕉連句集成（同 四二四） 芭蕉文集（同 六一八） ○笈日記（蕉後 三〇・三一(三)・三三） 韻塞（同 三三六） ○五元集（元祿 一九七） ○中庸姿（貞門 五四七） ○新みなし栗（中名 二八四）

稲荷山（イナリヤマ） 芭蕉連句集成（芭蕉 四五四） ○有磯海（蕉後 一二六） ○口狀（蕉話 三八九） ○七車（元祿 五七） 五元集（同 一九七・一九八） ○玉海集（貞門 三九七） 山之井（同 四三一・四三三） ○東日記（談林 一九四） 七百五十韵（同 二七三） 誹枕（同 四二〇・四三六・四四八） 大矢數（同 四八九） ○鞁隨筆（中話 六一） ○綾錦（系譜 四三五） ○野坡吟艸（蕉續 四六四）

犬飼湯（イヌカヒノユ） 誹枕（談林 四六七）

犬上山（イヌカミヤマ） おくれ雙六（談林 三一五）

犬戻（イヌモドリ） 奥の細道（芭蕉 五九七）

岩城山（イハキヤマ） 續虚栗（蕉前 五〇） ○陸奥衛（蕉後 三一四・三七八） ○古太白堂句選（元祿 三三三・三三一） ○一字幽蘭集（談林 三六七） ○一茶連句集成（一茶 二九） ○なのゝえ草稿（近話 三六九）

岩倉山（イハクラヤマ） 石藏山

○江鮭子（蕉續 九）

內野（ウチノ）

菊の香（蕉後 三二四） ○去來發句集（元祿 三八三） ○新撰犬筑波（貞門 四六） 玉海集（同 二九三）

宇治川島（ウヂノカハシマ）

俳諧御傘（蕉續 六七(二)）

宇治橋（ウヂハシ）（山城）

桃の實（蕉前 四六六） ○錢龍賦（蕉後 五二三） 韻塞（同 五五五） ○青根が峯（蕉話 四六九） ○中庸姿（貞門 五四〇） ○當流籠抜（談林 一五七） ○物見塚記（近名 二六八）

宇治橋（ウヂハシ）（伊勢）

千鳥掛（蕉前 一〇三） ○誹枕（談林 四六三） ○夜半亭發句帖（中名 六一） ○萑亭句集（天明 四五四）

宇知山（ウチヤマ）（內山）

芭蕉俳句類聚（芭蕉 一九(三)）

宇治山（ウヂヤマ）

千鳥掛（蕉前 一一五） ○笈日記（蕉後 六四） ○本朝文選（蕉話 五三四・五七一） ○蓮二吟集（元祿 二八八） ○玉海集（貞門 三三〇） 山之井（同 四七二） ○誹枕（談林 四三〇） ○蕪村文集（蕪村 二九） 蕪村書翰集（同 一〇四） ○曉臺句集（天明 三九六） ○一茶俳句選抄（一茶 三六） 一茶連句集成（同 一五二・一六六・一七三） ○俳諧新深川（近名 四六〇） ○北國曲（蕉續 二八九）

內津山（ウツツヤマ）

うづら衣（中話 六一五・六七七）

宇津谷（ウツノヤ）

其袋（蕉前 二五四） ○誹枕（談林 四二五）

宇津山（ウツノヤマ） 宇都山

嵯峨日記（芭蕉 六〇七） ○其袋（蕉前 二五三） いつな昔（同 三一七） 續猿蓑（同 六〇〇） ○笈日記（蕉後 四六） 有磯海（同 一三四） 續有磯海（蕉後 一六〇・一六三） 皮籠摺（同 四四三・四五〇(三)） 杜撰集（同 四九七(二)） 韻塞（同 五四一・五六三） ○篇突（蕉話 一一九） 三冊子（同 一六六） 青根が峯（同 四三六・四三七） 本朝文選（同 五三五・五九二） ○五元集（元祿 二三八・二三九） 五老井發句集（同 三〇〇・三〇四(三)） 麥林集（同 四九一） ○獨吟千句（貞門 二五） 鷹筑波（同 二〇〇・二七〇） 玉海集（同 三一七） ○大坂獨吟集（談林 七） 東日記（同 二〇八） 續の原（同 二九四） 誹枕（同 四三五(二)） 大矢數（同 五三三） ○新みなし栗（中名 二六〇） 續明烏（同 三四七） ○氷餅集（同 六〇八） ○俳仙窟（中話 一三〇） 俳懺悔（同 一四六・一七七） はいかい袋（同 二六二） 俳諧寂栞（同 三三四） ○太祇句選後編（天明 三一・三八） 春泥發句集（同 一五八・一七三） 曉臺句集（同 四〇五(二)） 葛箒（同 五三七） ○一茶俳句選抄（一茶 一四四・一四五） ○はりまあんご（近名 八一） 麻刈集（同 三七五） 萑芝（同 三八六(三)） はたけせり（同 五五六） ○曾波可理（近話 四七三） ○綾錦（系譜 七四） ○歷代滑稽傳（逸話 七） ○北國曲（蕉續 二七六） 笈のわか葉（同 三八六） 野坡吟艸（同 四六八）

鶉濱（ウヅラハマ）

誹枕（談林 四四七）

宇土長濱（ウドノナガハマ）

芭蕉俳句類聚（芭蕉 二九） 奥の細道（同 五八） ○ばせをだらひ（蕉續 四三〇）

漆川（ウルシガハ） （「染川」ニ同ジ、參照）
誹枕（談林 四四五）

エ

永代島（エイタイジマ）
五元集（元祿 二〇二・二一四・二三三） 類柑子（同 五一〇）

永代橋（エイタイバシ）
皮籠摺（蕉後 四四五・四五三） ○一茶書簡抄（一茶 三〇）

愛智川（エチガハ）
草苅笛（蕉後 二一四）

江津川（エツガハ）
梟日記（蕉後 八九）

江戸浦（エドウラ）
誹枕（談林 四六一）

江戸川（エドガハ）
伊達衣（蕉後 三九八） ○新撰武藏曲（中名 八三） 延享廿歌仙（同 九五） ○素丸發句集（天明 五五八・五六六） ○一茶俳句選抄（一茶 一四九） 一茶書翰抄（同 一九）

江戸橋（エドバシ）
誹諧當世男（談林 一〇九） 東日記（同 一九九） 誹枕（同 四三〇・四三三（二）） ○七柏集（中名 五八六） 俳懺悔（中話 一四九） 美佐古鮓（近名 五三七）

胞衣嶽（エナガタケ）
北國曲（蕉續 三四二）

江島（エノシマ）
陸奥衛（蕉後 三六三） 皮籠摺（同 四五二） ○芝峰集（元祿 三六〇） ○春秋稿（中名 四八七） 七柏集（同 五六〇） ○靱隨筆（中話 二四） うづら衣（同 五九九） ○寂砂子集（近名 三四四） ○曾波可理（近話 四七八） ○素丸發句集（天明 六〇〇）

衣紋坂（エモンザカ）
西歌仙（近名 二五八）

ヱ

繪島（エジマ）
誹枕（談林 四四三） ○俳懺悔（中話 一九四）

繪野（エノ）
○靑蘿發句集（天明 三五三）

烏帽子山（エボシヤマ）
うづら衣（中話 五七三（二））
蟻つか（中名 一七九）

オ

老曾森（オイソノモリ）
正風彥根躰（蕉後 五七一） ○七車（元祿 六〇三） ○玉海集（貞門 三一四・三七八） ○江戸蛇之鮓（談林 一八四） 誹武八（同 四六六） ○俳諧廻文帖（近名 五六八）

老坂（オイノサカ）
蓮二吟集（元祿 三九四） 蓼林集（同 四六〇） ○玉海集（貞門 三八〇） ○たまも集（蕪村 一九） ○蟻つか（中名 一六九） ○新雜談集（中話 四四〇） ○太祇句選（天明 九七） 春泥發句集（同 一六六（三）） ○鳳朗發句集

ヲ

たのゝえ草稿（近話　三七八）

小倉山（ヲグラヤマ）　芭蕉俳句不審抄（芭蕉　三五）　○笈日記（蕉後　一七）　有磯海（同　一三）　一幅半（同　四八〇）　○五元集（元祿　三七）　○鷹筑波（貞門　一九五・二〇二）　玉海集（同　三〇〇・三六五）　○大坂獨吟集（談林　一八）　七百五十韵（同　二六七）　○反古瓢（蕪村　九一）　○幣ふくろ（中名　五二一）　○葛箒（天明　五三九）　○一茶連句集成（一茶　一一三）　○屠龍之技（近話　四二六）　○綾錦（系譜　七三）　○誹諧家譜（同　一一三）

小黒崎（ヲグロザキ）　奥の細道（芭蕉　五九四）　○陸奥衛（蕉後　三八四）

小澤山（ヲザヽヤマ）　一茶連句集成（一茶　一七〇）

小鹽山（ヲシホヤマ）　曠野（蕉前　一八九）　○獨吟千句（貞門　一七）　○鷹筑波（同　二〇一）　○也哉鈔（中話　三八六）　○一茶連句集成（一茶　二〇・二三）　○晉波可理　近話　四七二）　○俳諧御傘（蕉續　三六）

雄島（ヲジマ）　小島　奥の細道（芭蕉　五九二・五九三）　芭蕉文集（同　六六〇）　○陸奥衛（蕉後　三八一（二）・三八二）　伊達衣（同　三九八）　○五元集（元祿　二〇〇）　○誹枕（談林　四三七）　○晉波可理（近話　四八一）　○誹諧家譜（系譜　一一四）

緒絶橋（ヲタエノハシ）　奥の細道（芭蕉　五九三）　○陸奥衛（蕉後　三四八・三七七・三八〇・三八一・三八四）　○古太白堂句選（元祿　三三一）　○誹枕（談林　四一九・四五四（四）・四五六）　○哲阿彌句藻（天明　五三）　○關清水物語（近名　五〇四）

遠（ヲチ）　芭蕉連句集成（芭蕉　一七二）

男山（ヲトコヤマ）　千鳥掛（蕉前　三三六）　いつを昔（同　三三六）　○梟日記（蕉後　九三）　○五元集（元祿　二一七）　麥林集（同　四八七）　○獨吟千句（貞門　三〇）　玉海集（同　三三八・三三九・三五五・三六四）　○大坂獨吟集（談林　四・一一）　虎溪の橋（同　七八）　七百五十韵（同　二六二）　誹枕（同　四二〇・四五七）　大矢數（同四八七・五八二）　○蕪村俳句類聚（蕪村　六）　○花月六百韻（中名　二五）　續五色墨（同　四八）　新撰武藏曲（同　九〇）　幣ふくろ（同　五三三）　○井華集（天明　一九四）　曉臺句集（同　四三五）　素丸發句集（同　五六五）　○一茶俳句選抄（一茶　一八三）　我春集（同　二四）　○鳳朗發句集（近話　五九九）

小野古江（ヲノノフルエ）　皮籠摺（蕉後　四三八）

小野峯（ヲノノミネ）　猿舞師（蕉後　二九五）　○篇突（蕉話　一〇四）

尾上松（ヲノヘノマツ）　○去來發句集（元祿　三九一）　梟日記（蕉後　七〇（二））　○蓮二吟集（元祿　二七六）　○靑蘿發句集（天明　三五三）

小野山（ヲノヤマ）　玉海集（貞門　三五四）　○俳諧新深川（近名　四六五）

姨捨山（ヲバステヤマ）　芭蕉連句集成（芭蕉　二五六）　初懷紙評註

（同 五四四）　更科紀行（同 五八三・五八四）　芭蕉文集（同 六二四）　○虚栗（蕉前 三七）　續猿蓑（同 五九一）　○笈日記（蕉後 五三）　小文庫（同 二八三）　陸奥衛（同 三五八）　○本朝文選（蕉話 五〇六）　○山之井（貞門 四四三）　中庸姿（同 五三九）　○誹枕（談林 四三六）　○新撰武藏曲（中名 八六(二)）　延享廿歌仙（同 一〇三）　明がらす（同 二一九）　春秋稿（同 四七六）　○落葉考（中話 三〇〇）　俳諧寂栞（同 三三四・三四五）　○蓼太句集（天明 二四七）　白雄句集（同 二九三・二九四）　樗良發句集（同 三二一）　靑蘿發句集（同 三五〇）　半化坊發句集（同 三六三）　○一茶俳句選抄（一茶 一五六）　一茶書翰抄（同 一五・三三）　○水薦苅（近名 一九〇(一)）　寂砂子集（同 三三九）　○枇杷園句集（近話 五〇〇）　○北國曲（蕉續 三三九）　笈のわか葉（同 三八四(二)）　俳諧御傘（同 三三・三五三）

參考——水薦苅、姨捨山（近名 一八六——一八八）

小初瀨（ヲハツセ）　（「初瀨」參照）

尾花川（ヲバナガハ）　芭蕉文集（芭蕉 六三一）

麻生（ヲフ）　苧生・生・麻生浦

續虚栗（蕉前 四三五）　○いつな昔（同 三一六）　○獨吟千句（貞門 二六）　○一字幽蘭集（談林 一七四）　○半化坊發句集（天明 三八〇）　○誹諧根源集（近話 三三）　○その濱ゆふ（蕉續 三九六）

尾部山（ヲベヤマ）　たまも集（蕪村 七）

小良濱（ヲラガハマ）　誹枕（談林 四三七）

遠里小野（ヲリヲノ）　「遠里小野（トホザトヲノ）」ヲ見ヨ

カ

高野山（カウヤサン・タカノノヤマ）　芭蕉俳句類聚（芭蕉 一四）　芭蕉連句集成（同 三三二）　笈の小文（同 五七六）　庚午紀行（同 五八一）　芭蕉文集（同 六三七）　○虚栗（蕉前 二一）　曠野（同 一七八(二)・一八一）　○枯尾花（蕉前 六〇六）　○正風彦根躰（蕉後 五六八）　○本朝文選（蕉話 五二七）　○初心もと柏（元祿 一四）　鬼貫句選（同 三八）　去來發句集（同 三八五）　○鷹筑波（貞門 三三五・二七一）　玉海集（同 三一六・三八九）　山之井（同 四三四）　○誹枕（談林 四四三）　○其雪影（中名 二九四）　○俳懺悔（中話 一八五）　俳諧寂栞（同 三三四）　○華亭句集（天明 四七七）　○そこの花（蕉續 五六）

高良山（カウラサン）　芭蕉文集（芭蕉 六一四・六一六・六一八）　○ばせをだらひ（蕉續 四一〇）

鏡山（カガミヤマ・カガミノヤマ）　芭蕉連句集成（芭蕉 一四九）　芭蕉文集（同 六一九・六二〇・六三三(二)）　○勸進牒（蕉前 三〇七）　枯尾花（同 六一四）　○笈日記（蕉後 五九）　小文庫（同 二八三(二)）　一幅半（同 四七三）　○本朝文選（蕉話 五三五）　○五元集（元祿 二〇八）　涙化上人發句集（同 四二一）　麥林集（同 四九六）　○新増犬筑波（貞門 七七・二一七）　○誹諧當世男（談林 一二一）　誹枕

（同 四三四・四三五(二)） ○反古衾（中名 二一三） ○はいかい袋（中話 二八五） 也哉鈔（同 四〇三） ○能靜草（近話 三三六） 蒼虬翁句集（同 六三〇） ○そこの花（蕉續 五八） 西國曲（同 一九五）

香久山（カクヤマ）

芭蕉連句集成（芭蕉 一五九） ○其袋（蕉前 二五四） ○伊達衣（蕉後 四一六） ○麥林集（元祿 四七三） ○紅梅千句（貞門 一六九） ○俳諧雜巾（談林 一四四） 當流籠拔（同 一六二） 江戸蛇之鮓（同 一八〇） 江戸八百韻（同 二三三） 大矢數（同 三三〇） ○たまも集（蕪村 九） ○俳懺悔（中話 一六一） ○一茶連句集成（一茶 三六・六七・一九三） ○淺草はうご（近名 一三三） ○玉池雜藻（近話 七三） ○綾錦（系譜 三三）

天香久山（アマノカクヤマ）

芭蕉連句集成（芭蕉 一九八） ○靑根が峯（蕉話 四七五(二)） 本朝文選（同 五七一） ○鷹筑波（貞門 二四七） ○大矢數（談林 五七一） ○七柏集（中名 五五八）

神樂岡（カグラガヲカ）

陸奥鵆（蕉後 三六一） ○山之井（貞門 四一七） ○大矢數（談林 五七三） ○井華集（天明 一九五） ○誹諧家譜（系譜 一一四）

神樂坂（カグラザカ）

蘇明山莊發句藻（天明 一四）

影沼（カゲヌマ）

奥の細道（芭蕉 五八九） ○陸奥鵆（蕉後 三七七） 伊達衣（同 三九七(二)） 杜撰集（同 四九二）

蜻蛉小野（カゲロフノヲノ）

誹枕（談林 四五八） ○新みなし栗（中名 二五八） ○はいかい袋（中話 二六九） ○俳諧御傘（蕉續 三五(三)）

籠渡（カゴノワタリ）

涙化上人發句集（元祿 四二六） ○誹枕（談林 四三八(二)・四六九）

笠置（カサギ）

笠置山

笈日記（蕉後 五） 麻窩集（同 六三六） ○玉海集（貞門 三一七・三四四） ○誹枕（談林 四六六） ○そこの花（蕉續 五二） 西國曲（同 二一九）

笠置川（カサギガハ）

枯尾花（蕉前 六一九） ○北國曲（蕉續 三四六）

笠城森（カサギノモリ）

蕪村俳句類聚（蕪村 六四）

笠取山（カサトリヤマ）

芭蕉文集（芭蕉 六一六・六一七） ○猿蓑（蕉前 三九六） 己が光（同 四三〇） 續猿蓑（同 五八三） ○正風彥根躰（蕉後 五六九） ○玉海集（貞門 三一九） ○葛箒（天明 五二八） ○玉池雜藻（近話 九五） ○北國曲（蕉續 三五七）

笠縫（カサヌヒ）

勸進牒（蕉前 二八〇） ○梟日記（蕉後 七四） ○運二吟集（元祿 二七九） ○誹枕（談林 四三五・四五七） ○蕪村俳句類聚（蕪村 二一） ○續一夜松後集（中名 四一九） ○俳諧深川（蕉續 一九）

笠縫島（カサヌヒノシマ）

俳懺悔（中話 一八六）

笠縫山（カサヌヒノヤマ）

一茶連句集成（一茶 一〇七）

山之井（同 四二五）

賀茂山（カモノヤマ）（播磨）　芭蕉連句集成（芭蕉 四八九）

唐崎（カラサキ）　辛崎
芭蕉文集（芭蕉 六四・六一九）　○續虛栗（蕉前 七一）　曠野（同 一七六）　勸進牒（同 二八二）　華摘（同 三五六）　炭俵（同 五一一）　○草苅笛（蕉後 二一四）　皮籠摺（同 四四八）　杜撰集（同 四八八・四九七）　○本朝文選（蕉話 五九九）　○支峰集（元祿 二六二）　北枝發句集（同 三一六）　○鷹筑波（貞門 一九五・二七〇）　○談林十百韵（談林 五四）　七百五十韵（同 二六九）　誹枕（同 四五九）　○蕪村俳句類聚（蕪村 三）　俳諧三十六歌僊（同 五四）　芭蕉翁付合集（同 四六六）　○新撰武藏曲（中名 八七）　千代尼句集（同 一三四・一三八）　平安二十歌仙（同 二五四）　○靱隨筆（中話 六七）　也哉鈔（同 三八五（二））　葛箒（同 五二〇）　○一茶連句集成（一茶 一六一）　我春集（同 二七）　三韓人（同 七三）　○俳諧鼠道行（近名 一三三）　犬古今（同 三三九）　蓬芝（同 三九〇）　はたけせり（同 五四六）　○萍窓集（近話 三八九・三九七）　梅室家集（同 五五一）　蒼虬翁句集（同 六三六）　○誹諧家譜（系譜 一三（三））　○花見車（逸話 一一三）　○卯辰集（蕉續 四五）　鵲尾冠（同 一四七）

唐崎松（カラサキノマツ）　辛崎松
芭蕉俳句類聚（芭蕉 二〇）　芭蕉俳句異同考（同 一〇一（三））　芭蕉連句集成（同 四六三）　甲子吟行（同 五二二・五六六）　芭蕉文集（同 六三一）　○曠野（蕉前 一七六）　○續有磯海（蕉後 一五九）　草苅笛（同 二〇七）　陸奧衛（同 三一六・三七九）　皮籠摺（同 四三七）　正風彥根躰（同 五八二）　○葛の松原（蕉話 七）　二十五箇條（同 四五（三）・四六）　去來抄（同 二四三）　去來文（同 二八一（三））　本朝文選（同 五三五）　○古太白堂句選（元祿 三三三）　○新增犬筑波（貞門 八四）　○談林十百韵（談林 五二）　○蟻つか（中名 一七九）　續明烏（同 三四八）　寫經社集（同 三五九）　○はいかい袋（中話 二七四）　也哉鈔（同 三九九）　俳諧寂栞（同 三四三）　○井華集（天明 一八二・二〇二）　曉臺句集（同 四二七）　○西歌仙（近名 二五五）　寂砂子集（同 三四一）　○成美家集（近話 四六一）　○綾錦（系譜 三五）　○鵲尾冠（蕉續 一一三）

辛洲（カラス）（烏洲）　香良洲
續猿蓑（蕉前 五七六）　○雀亭句集（天明 四五六）　○枇杷園句集（近話 四九一）

烏崎（カラスザキ）
梟日記（蕉後 七〇）　渡鳥集（同 二三三）　○蓮二吟集（元祿 二七七）

苅萱關（カルカヤノセキ）
續有磯海（蕉後 一六一）　○山之井（貞門 四四一）　○誹枕（談林 四五八）　○新みなし栗（中名 二七八）　○西國曲（蕉續 二〇八）

キ

木賀（キガ）　木香
續虛栗（蕉前 六一）　華摘（同 三四四）　○陸奧衛（蕉後 三五六）　杜撰集（同 四九一）　○

ク

久我縄手（クガナハテ）
　渡鳥集（蕉後 二四五）
岫崎（クキガサキ）
　誹枕（談林 四二六）
櫛田川（クシダガハ）
　麥林集（元祿 四九〇）○玉海集（貞門 二九二）
　○誹枕（談林 四二三）○俳仙窟（中話 三五）
葛關（クズノセキ）
　はいかい袋（中話 三二三）
葛松原（クズノマツバラ）
　俳懺悔（中話 一四八）
櫛のり坂（クシノリザカ）
　芭蕉連句集成（芭蕉 二〇八）
九世戸（クセト）
　菊の香（蕉後 二三二）　韻塞（同 五三二）○
　本朝文選（蕉話 五三五）
久能山（クノウサン）
　七柏集（中名 五四一）
熊谷堤（クマガイヅツミ）

　炭俵（蕉前 五一四）○草苅笛（蕉後 一九七）
　韻塞（同 五三七）○五老井發句集（元祿
　三〇二）○枇杷園句集（近話 四九二）　鳳朗
　發句集（同 六〇六）
熊川（クマガハ）〔球磨川〕
　梟日記（蕉後 九〇）
熊坂坂（クマサカザカ）
　芭蕉俳句類聚（芭蕉 四九）
熊野（クマノ）
　ひさご（蕉前 三六六）　元祿百人一句（同
　四〇六）○皮籠摺（蕉後 四五五）○本朝文選
　（蕉話 五七一）○續いま宮草（元祿 一五三）
　○玉海集（貞門 三一六・三八八）　○遲八刻
　（中話 五一一）○俳諧鼠道行（近名 一三三）
　寂砂子集（同 三三八）　○嵐亭誹話（近話
　二四〇）○俳諧御傘（蕉續 一三三）
三熊野（ミクマノ）
　誹枕（談林 四六三）　○一茶連句集成（一
　茶 一八三）○その濱ゆふ（蕉續 三九六）　俳
　諧御傘（同 七・一三三）　増補はなひ草
　（同 一七六）

熊野浦（クマノウラ）
　正風彦根躰（蕉後 五八五）○蕪村俳句類
　聚（蕪村 九一）
三熊野浦（ミクマノウラ）
　一茶連句集成（一茶 一一七）
熊野川（クマノガハ）
　陸奥衞（蕉後 三一五）　二葉集（同 五九七）
　○古太白堂句選（元祿 三一三）
熊野出湯（クマノノデユ）
　蕪村俳句類聚（蕪村 一五四）
熊野山（クマノヤマ）
　大矢數（談林 五三三・五七五）
久米岩橋（クメノイハハシ）
　大矢數（談林 四八四・五二八）
久米佐良山（クメノサラヤマ）　久米皿山・久米山
　二葉集（蕉後 六〇八・六二一）　○紅梅千句
　（貞門 一四四）　○誹枕（談林 四四一・四六三）
　○俳諧鼠道行（近名 一三二）　○西國曲
　（蕉續 一九八）
久米更川（クメノサラカハ）　久米川
　西國曲（蕉續 一九八・一九九）
雲津川（クモツガハ）

ケ

談林十百韻（談林 六三） ○寉芝（近名 三八七）

琴弾(コトヒキ)
參林集（元祿 四九六）

琴引山(コトヒキヤマ)
誹枕（談林 四四〇）

古奴見濱(コヌミノハマ)（許奴美濱）
七百五十韵（談林 二五八）

木幡川(コハタガハ)
俳諧廻文帖（近名 五七〇）

木幡山(コハタヤマ)
玉海集（貞門 二九四）

小比叡(コヒエ)　「比叡」ヲ見ヨ

戀崎(コヒザキ)
芭蕉連句集成（芭蕉 一八三）

戀山(コヒノヤマ)　（「湯殿山」ニ同ジ、參照）
勸進牒（蕉前 三九八） ○陸奥鵆（蕉後 三八七） ○誹枕（談林 四三・四六四・四六五） 大矢數（同 五一六） ○俳諧御傘（蕉續 九一）

呉服町(ゴフクチヤウ)
蕪村俳句類聚（蕪村 八三）

小袋坂(コブクロザカ)
誹枕（談林 四六五）

小佛關(コボトケノセキ)
續虚栗（蕉前 五五） ○一茶連句集成（一茶 一六〇） ○斧の柄（近名 四〇八）

五本松(ゴホンマツ)（東京）
芭蕉俳句類聚（芭蕉 六四） ○續猿蓑（蕉前 五九一） ○蓼太句集（天明 二五二・二五九）
白雄句集（同 二九四）

駒形(コマカタ)
續虚栗（蕉前 七〇） 華摘（同 三六一） ○五元集（元祿 二一三）

駒嶽(コマガタケ)（伊勢）
參林集（元祿 四八二）

駒嶽(コマガタケ)（信濃）
笈日記（蕉後 六三） ○うづら衣（中話 六四一） ○葛箒（天明 五三六）

駒嶽(コマガタケ)（？）
北國曲（蕉續 二七八） 俳諧御傘（同 六五）

駒返(コマザヘシ)
奥の細道（芭蕉 五九七） ○新みなし栗（中名 二七六）

駒込不二(コマゴメノフジ)
七柏集（中名 五八九）

小松島(コマツシマ)
一茶俳句選抄（一茶 一三一・一五〇） 株番（同 五九）

小松(コマツ)（山城）
續明烏（中名 三三六） ○井華集（天明 一八六）

小松谷(コマツダニ)
井華集（天明 二〇八）

金剛山(コンガウセン)
紅梅千句（貞門 一六一）

金王坂(コンワウザカ)
勸進牒（蕉前 二八六）

昆陽野(コヤノ)
玉海集（貞門 三八八） ○新雜談集（中話 四三〇）

昆陽池(コヤノイケ)
鬼貫句選（元祿 二五・二九） 蓮二吟集（同 二九一） ○大矢數（談林 五八〇） ○俳懺悔（中話 一七九）

地名（名所・雜）　サ

シ

成(同 一六四・二七八・四三六) 芭蕉文集(同 六四七(三)・六四八) ○虛栗(蕉前 三三) 續虛栗(同 六二) 冬の日(同 一七六) 千鳥掛(同 一一五・一二〇・一三四) 曠野(同 一七六) 曠野後集(同 二〇六) ○笈日記(蕉後 四三) 渡鳥集(同 二五三・二五四) 錢龍賦(同 五一三) 二葉集(同 五九七) ○本朝文選(蕉話 五三五) ○初心もと柏(元祿 九(三)) 獨言(同 一二四) 素堂句集(同 一六九) 才麿發句拔萃(同 一八三) 丈草發句集(同 三九七) ○新撰犬筑波(貞門 五六) 紅梅千句(同 一六三) 鷹筑波(同 一九二・二三四・二七〇) 山之井(同 四二一) 中庸姿(同 五四四) ○談林十百韻(談林 三二・五四) 七百五十韻(同 二五五・二六九) 誹枕(同 四三四・四五七・四五九) 大矢數(同 五二八・五三六) ○蕪村俳句類聚(蕪村 八七・一〇八) 蕪村俳句異同考(同 一七三(三)) 俳諧三十六歌僊(同 八五) たまも集(同 一四・一八) ○新みなし栗(中名 二六一・二六二・二七六) 氷餅集(同 六一三) ○瓢簞集(天明 八三) 菁蘿發句集(同 三四七) ○一茶連句集成(一茶 七五) 花見の記(同 一四) 株番(同 四四・四八・五二・五四) おらが春(同 一一三) ○松のそなた(近名 三三) 鬪清水物語(同 四八四) ○蒼虬翁句集(近話 六三三・六四七) ○そこの花(蕉續 六六) 庵の記(同 九七) 西國曲(同 二五九) 俳諧御傘(同 八七(三)・一三一)

志加須賀(シカスガ)(然菅)(「白菅(シラスガ)」ニ同ジ、參照)
誹枕(談林 四六八)

志賀海(シガノウミ)
北國曲(蕉續 二七三)

志賀浦(シガノウラ)
弓(蕉前 四四四) ○去來發句集(元祿 三八二) ○大矢數(談林 五一九)

志賀唐橋(シガノカラハシ) (「勢多橋」ニ同ジ、參照)
誹枕(談林 四六九)

志賀松(シガノマツ)
幾人水主(蕉後 六七二) ○新增犬筑波(貞門 八七) ○蕪村俳句類聚(蕪村 四三)

志賀山(シガノヤマ・シガヤマ)
○鬪清水物語(近名 五〇三) 芭蕉連句集成(芭蕉 一五一・二四二) ○本朝文選(蕉話 五〇七) ○鷹筑波(貞門 一七五) 山之井(同 四三四) ○談林十百韻(談林 六四) 俳諧雜巾(同 一四〇) 大矢數 同 五二九・五七九) ○蕪村連句選集(蕪村 四三) ○新撰武藏曲(中名 九一) ○一茶連句集成(一茶 三三・八五) ○美佐古鮓(近名 五三五) ○梅室家集(近話 五七〇)

鳴立澤(シギタツサハ)
其便(蕉前 五六八) ○梟日記(蕉後 七八) 猿舞師(同 二九三(三)) 陸奥鵆(同 三六三) 皮籠摺(同 四四四) 庭竈集(同 六五二) 幾人水主(同 六七五) ○蓮二吟集(元祿 二八九) ○蟻つか(中名 一九六) ○蘇明山莊發句藻(天明 三三(三)) 白雄句集(同 二七〇・二七九・二九九) ○一茶連句集成(一茶 一九一) ○雀芝(近名 三八七) ○玉池雜藻(近話 八二) ○鵲尾冠(蕉續 一八二)

敷津(シキツ)
玉海集(貞門 二八六)

樒原(シキミガハラ)

（蕪村 五〇）　○新みなし栗（中名 二八二）
○曉臺句集（天明 四〇七）　○はたけせり
（近名 五四九）　○俳諧御傘（蕉續 二一七）

忍岡（シノブノヲカ）（東京）
素堂句集（元祿 一七二）　○俳諧御傘（蕉續 二一七）

芝浦（シバウラ）　芝海
類柑子（元祿 五三五）　○東日記（談林 二〇三）
○白雄句集（天明 三〇二）　○一茶俳句選抄（一茶 二一九）　○的中集（近名 二九一）

澁谷（シブタニ）（山城）
宇陀法師（蕉話 一四八）

澁谷（シブタニ）（越中）
誹枕（談林 四二九）

十二曲坂（ジフニマガリノサカ）
西國曲（蕉續 二〇五）

鹽竈（シホガマ）　鹽竈浦
奥の細道（芭蕉 五九一・五九二）　○續虛栗
（蕉前 五八）　○陸奥衛（蕉後 三八一・三八九）
○新增犬筑波（貞門 七六）　○誹枕（談林 四六三）　大矢數（同 四八六・五一一・五六八）

汐越（シホコシ）（羽後）
芭蕉俳句類聚（芭蕉 三九）　芭蕉俳句異同考（同 一〇六）　奥の細道（同 五九七）
○勸進牒（蕉前 二九三）　○陸奥衛（蕉後 三八五）　○類柑子（元祿 五一〇）　○俳諧寂栞（中話 三七〇）

汐越松（シホコシノマツ）（越前）
奥の細道（芭蕉 五九九）　○北の山（蕉前 四一八）　○陸奥衛（蕉後 三七三）　○北國曲（蕉續 三二九）

鹽見坂（シホミザカ）　汐見坂
續虛栗（蕉前 六八）　句餞別（同 九三）　千鳥掛（同 一三七）　○笈日記（蕉後 四九）　皮籠摺（同 四四二）　○初心もと柏（元祿 一五）
杉風句集（同 三五七）　類柑子（同 五六一）
○虎溪の橋（談林 七五）　誹枕（同 四三四）
○夜半亭發句帖（中名 六〇）　蟻つか（同 一六七）　○葛箒（天明 五四二）

島內（シマノウチ）
七車（元祿 七九）

新大橋（シンオホハシ）

新黑谷（シンクロタニ）
枯尾花（蕉前 六二七）
山之井（貞門 四五九）　貞德永代記（逸話 一八九）

神通川（ジンツウガハ）
葛箒（天明 五二六）

神明（シンメイ）（東京）
其袋（蕉前 二五二）

標茅原（シメヂガハラ）
蘇明山莊發句藻（天明 三〇）

卜野（シメノ）（標野）
葛箒（天明 五二五）

示野原（シメノハラ）（越中）
涙化上人發句集（元祿 四二六）

下河原（シモガハラ）
有磯海（蕉後 一一八）　皮籠摺（同 四二八）
○五元集（元祿 二三二）　○蕪村連句選集（蕪村 三九）　○靑蘿發句集（天明 三五一）
半化坊發句集（同 三八四）　葛箒（同 三三九・五四四）　○鴈風呂（近名 一〇六）　○梅室家集（近話 五四七）　○誹諧家譜（系譜 一三六）

白菅（シラスガ）（「然菅（シラスガ）」ニ同ジ、參照）
類柑子（元祿 五三(二)） ○蟻つか（中名 二〇三）
白根嶽（シラネガタケ） 白根（甲斐）
白根嶽（談林 六三二） ○半化坊發句集（天明 三七四） 曉臺句集（同 四三七） 萑亭句集（同 四六二） 素丸發句集（同 五九九）
白根（シラネ）（加賀）（「白山」ニ同ジ、參照）
芭蕉連句集成（芭蕉 三〇四） 奥の細道（同 五九八・六〇〇） ○猿蓑（蕉前 三六九） ○誹枕（談林 四三八） ○新みなし栗（中名 二六九） ○そこの花（蕉續 五七・五八）
白山（シラヤマ）
芭蕉連句集成（芭蕉 一五九） ○いつな昔（蕉前 三三五） 北の山（同 四一八） 枯尾花（同 六〇九） ○山之井（貞門 四七三） ○虎溪の橋（談林 七七） 誹枕（同 四六四） 大矢數（同 四九〇・五四六・五五五） ○新みなし栗（中名 二六九） ○俳懺悔（中話 一六七） 落葉考（同 三二六） ○萑亭句集（天明 四六五） ○一茶連句集成（一茶 二五） ○誹諧根源集（近話 四三） ○江鮭子（蕉續 九） 俳諧御傘（同 一三(二)）
白根川（シラネガハ）
新みなし栗（中名 二九九・三〇〇）

ス

姿池（スガタノイケ）（菅田池）
誹枕（談林 四六一・四六八） 大矢數（同 四九三） ○反古衾（中名 二二三）
須賀荒野（スガノアラノ）（「菅荒野」）
獨吟千句（貞門 一八） ○誹枕（談林 四三九（原本越中トアレド信濃ナリ、今コヽニ收ム）
菅原（スガハラ）
花月六百韻（中名 一六 原本佐渡トアレド大和ナリ） ○也哉鈔（中話 三八六(二)）
洲崎（スサキ）（東京）
類柑子（元祿 五四四）
須佐入江（スサノイリエ）
談林十百韻（談林 四五） 誹枕（同 四二三） 大矢數（同 五〇五）

鈴鹿川（スズカガハ）「八十瀬川（ヤソセノカハ）」參照
曠野（蕉前 一八四） ○鬼貫句選（元祿 四三(二)） ○歌仙そろへ（貞門 五一九） ○大矢數（談林 五一五）
鈴鹿關（スズカノセキ）
俳諧御傘（蕉續 一四〇） 增補はなひ草（同 一八一）
鈴鹿山（スズカヤマ） 鈴鹿峠・鈴鹿坂
勸進牒（蕉前 三〇三） 猿蓑（同 三九五） 續猿蓑（同 六〇〇） ○續有磯海（蕉後 一五一・一七二） 菊の香（同 二三一） 小文庫（同 二七七） 正皮籠摺（同 四五一） 杜撰集（同 四九七） ○風彥根躰（同 五九一） ○葛の松原（蕉話 三） 花實集（同 二〇四） 旅寢論（同 三三四） 去來抄（同 二七四） 去來文（同 二八二・二八三） 本朝文選（同 五四五・五五六(二)） ○鬼貫句選（元祿 四二一） 麥林集（同 四六一） ○新增犬筑波（貞門 一二三） ○誹枕（談林 四二三・四六三） ○芭蕉翁付合集（蕪村 三三） ○續明烏（中名 三四四） 幣ふくろ（同 五一八） ○俳諧寂栞（中話 三五一） ○曉臺句集（天

隅田堤（スミダヅツミ）
花見の記（一茶 三） 我春集（同 二八）

墨江（スミノエ） 住吉・住江（「住吉（スミヨシ）」ニ同ジ、參照）
去來文（蕉話 二八七） ○五元集（元祿 二一九） ○鷹筑波（貞門 三二一） ○大坂獨吟集（談林 一五（二）） 誹枕（同 四〇〇） ○蕪村俳句類聚（蕪村 四二一） ○幣ぶくろ（中名 五三三） ○也哉鈔（中話 三八七） ○太祇句選後編（天明 一二八） 曉臺句集（同 四三五） ○株番（一茶 五一七） ○鶉尾冠（蕉續 一三八） 増補はなひ草（同 一六九）

墨江岸（スミノエノキシ） （「住吉岸（スミヨシノキシ）」ニ同ジ、參照）
なのゝえ草稿（近話 一七二）

墨江松（スミノエノマツ） 住江松（「住吉松（スミヨシノマツ）」ニ同ジ、參照）
七車（元祿 六〇〇） ○當流籠拔（談林 一六六）

住吉（スミヨシ） （「墨江（スミノエ）」ニ同ジ、參照）
○千代尼句集（中名 一三三） 芭蕉連句集成（芭蕉 二〇一） ○續虚栗（蕉前 五四） 市の庵（同 五三〇） 其便（同 五六八） ○有磯海（蕉後 一一五） 草苅笛（同 二〇二） 陸奥衡（同 三六八） 一幅半（同 四六二） ○本朝文選（蕉話 五三五） ○才麿發句拔萃（元祿 一八〇） 五元集（同 二二四・二二七） 古太白堂句選（同 三二八） 類柑子（同 五三一・六〇四） ○獨吟千句（貞門 三） 紅梅千句（同 一六五） ○江戸八百韻（談林 三三七） 誹枕（同 四七七・四六〇・四六二） 大矢數（同 五六八） ○蕪村俳句類聚（蕪村 一三三） 夜半樂（同 四） ○五色墨（中名 三八（三）） 夜半亭發句帖（同 七二） 其雲影（同 三〇九） 五車反古（同 三七〇） 續一夜松後集（同 四三五） 七柏集（同 五五一） ○俳懺悔（中話 一四九・一五〇・一九〇・一九七） はいかい袋（同 二四六・二六五・二六六（一）・二六七（一）・二九一） 俳諧寂栞（同 五三四） うづら衣（同 五六九） ○俳諧何袋（近名 三二一） 犬古今（同 三二六） ○江鮭子（蕉續 五）

住吉浦（スミヨシノウラ） 住吉濱・住吉海
續有磯海（蕉後 一〇三） ○いまみや艸（元祿 三六・一三〇） ○新撰犬筑波（貞門 五二） 新増犬筑波（同 三四） 玉海集（同 三一三（三）） ○大矢數（談林 五〇九・五二七・五九五） ○續一夜松前集（中名 四〇三） ○新雜談集（中話 四二一） うづら衣（同 六六四） ○はたけせり（近名 五五八）

住吉岸（スミヨシノキシ） （「墨江岸（スミノエノキシ）」ニ同ジ、參照）
新撰犬筑波（貞門 四五） 新増犬筑波（同 一三（三））

住吉松（スミヨシノマツ） （「墨江松（スミノエノマツ）」ニ同ジ、參照）
芭蕉連句集成（芭蕉 一四七） ○勸進牒（蕉前 三〇七） ○大矢數（談林 四九三） ○はいかい袋（中話 二一八・二六六（月はしめ）・二六七） ○株番（一茶 四四） ○德萬歲（近名 一五〇） ○梅室家集（近話 五四七）

磨針峠（スリハリタウゲ）
華摘（蕉前 三三五） ○となみ山（蕉後 一三二） 草苅笛（同 一八九） 韻塞（同 五六二） 幾人水主（同 六七一）

駿河臺（スルガダイ）
哲阿彌句藻（天明 六四） 萑亭句集（同 四七八）

駿河海（スルガノウミ）
俳諧御傘（蕉續 一四一）

セ

風彦根鉢（同　五六九・五七一）　庭竈集（同　六五〇）　○葛の松原（蕉話　五・六）　俳諧十論（同　七六）　篇突（同　一三）　靑根が峯（同　四八一）　本朝文選（同　五五四）　○五元集（元祿　二一三）　北枝發句集（同　三一五）　丈草發句集（同　四〇二）　類柑子（同　六〇一）　○新增犬筑波（貞門　三九（三））　○談林十百韻（談林　六八）　誹枕（同　四三四（夕だちや））　大矢數（同　四七五）　○杉半亭發句帖（中名　六七）　續明烏（同　三四八）　五車反古（同　三七五（飛螢））　幣ふくろ（同　五一九（二））　七柏集（同　五七二）　○俳諧寂栞（中話　三三一・三三四・三三五（我駒の））　○瓢簞集（天明　八七）　井華集（同　二〇二）　蓼太句集（同　三三八）　萑亭句集（同　五一五）　○西歌仙（近名　二四七）　的中集（同　二九三）　○誹諧根源集（近話　四二）　俳諧茶話（同　三〇六）　○鶉尾冠（蕉續　一七九・一八九）　野坡吟艸（同　四五五）

勢田小橋（セタノコバシ）
五元集（元祿　二三三）

錢懸松（ゼニカケマツ）

錢龜橋（ゼニガノハシ）
萑亭句集（天明　四五〇）

瀨見小河（セミノヲガハ）　蟬小川
遲八刻（中話　五〇八）　猿舞師（蕉後　三〇三）　○鷹筑波（貞門　一八六）　玉海集（同　三三六）　○明がらす（中名　三三五）　○新雜談集（中話　四二五）　○蕪村俳句類聚（蕪村　六八）　蕪村連句選集（同　四九）　○葛箒（天明　五三三）　○我春集（一茶　二三）

千貫樋（センガンドヒ）
新撰武藏曲（中名　一一四）

千丈峯（センジヤウガミネ）
芭蕉文集（芭蕉　六一四・六一六・六一七）　○猿蓑（蕉前　三九六）

洗濯島（センタクジマ）
哲阿彌句藻（天明　五七）

千日谷（センニチダニ）
小文庫（蕉後　二六八）

背山（セヤマ）　「妹背山（イモセヤマ）」ヲ見ヨ

芹川（セリカハ）
玉海集（貞門　二〇七）　○犬古今（近名　二三七）

ソ

宗祇戾（ソウギモドシ）
陸奧衡（蕉後　三七七）

僧正谷（ソウジヤウガタニ）
芭蕉連句集成（芭蕉　一六八）　初懷紙評註（同　五四七）　○小文庫（蕉後　二七〇）　○紅梅千句（貞門　一四六）　○東日記（談林　二一〇）　○落葉考（中話　三〇二）

底倉（ソコクラ）
杜撰集（蕉後　四九一・五〇四）　○宇陀法師（蕉話　一四八）　○玄峰集（元祿　二五八）　○俳諧寂栞（中話　三五一）

袖浦（ソデノウラ）（相模）
誹枕（談林　四五九）　○井華集（天明　二〇九）

袖浦（ソデノウラ）（武藏）
誹枕（談林　四五七）　○骨書（中名　四六一）　○葛箒（天明　五四〇）

袖浦（ソデノウラ）（羽前）
陸奧衡（蕉後　三八五（三））　○古太白堂句選（元祿　三三四）　誹枕（談林　四三七・四三八（二）・

○才麿發句拔萃（元祿 一八〇） 五老井發句集（同 三〇六） ○玉海集（貞門 三六〇） ○大坂獨吟集（談林 一九） 誹諧當世男（同 九九） ○一茶俳句選抄（一茶 一七五） ○麻刈集（近名 三七七） 俳諧廻文帖（同 三六四） ○誹諧根源集（近話 四四） 鳳朗發句集（同 五九二） ○綾錦（系譜 六八） ○野坡吟艸（蕉續 四四八）

龍田山（タツタヤマ）

鷹筑波（貞門 一九五・二〇五・二三九・二三〇） 玉海集（同 三一九） ○東日記（談林 二一一） 誹枕（同 四二一・四五九） ○蕪村俳句類聚（蕪村 一〇九） ○靱隨筆（中話 六六） 新雑談集（同 四一九） ○俳諧廻文帖（近名 五七〇）

龍飛（タツビ）

斧の柄（近名 四〇九）

伊達大木戸（ダテノオホキド）

奥の細道（芭蕉 五九一） ○陸奥衛（蕉後 三七九） ○續五論（蕉話 二五） ○大矢數（談林 五三三） ○曉臺句集（天明 四二四）

立山（タテヤマ）

芭蕉連句集成（芭蕉 三七三） ○續有磯海（蕉後 一六七） 渡鳥集（同 二四五） 小文庫（同 二七九） ○虎溪の橋（談林 七七） 鹿櫻（同 三四一） ○芭蕉翁付合集（蕪村 四八） ○俳懺悔（中話 一六五） ○樗良發句集（天明 三五五(三)） 葛箒（同 五三六） ○一茶俳句選抄（一茶 二九） ○蒼虬翁句集（近話 六四三）

田上山（タナカミヤマ）

芭蕉文集（芭蕉 六一四・六一六・六一七） ○猿蓑（蕉前 三九六・三九八） 枯尾花（同 六〇九） ○渡鳥集（蕉後 二四三・二四六） ○七百五十韵（談林 二五九）

田邊中山（タナベノナカヤマ）

北國曲（蕉續 三四八）

田邊屋橋（タナベヤバシ）

錢龍賦（蕉後 五三三）

塔澤（タフノサハ） 東澤

杜撰集（蕉後 四九〇） ○五元集（元祿 二二一） ○誹枕（談林 四二八）

玉江（タマエ）

芭蕉俳句類聚（芭蕉 六一） 奥の細道（同 六〇〇） ○惟然坊句集（元祿 三六六(三)） ○新増犬筑波（貞門 一三一） ○一字幽蘭集（談林 三六三） ○新みなし栗（中名 二六五） ○葛箒（天明 五三八） ○梅室家集（近話 五五〇）

玉川（タマガハ）（汎稱）

芭蕉連句集成（芭蕉 一九三） ○續いま宮草（元祿 一五八） ○芭蕉翁付合集（蕪村 三八）

玉川（タマガハ）（山城）

初心もと柏（元祿 六） ○誹枕（談林 四六六） 大矢數（同 四八七） ○うづら衣（中話 六六四） ○葛箒（天明 五二七） ○新かはづ合（近名 四三九）

玉川（タマガハ）（攝津）

鬼貫句選（元祿 二八） 七車（同 八七） ○獨吟千句（貞門 九） ○蟻つか（中名 一五三）

玉川（タマガハ）（武藏）

芭蕉俳句類聚（芭蕉 六三） 初懐紙評註（同 五四七） ○武蔵曲（蕉前 四） 其袋（同 二四九） ○韻塞（蕉後 五五三） ○五元集（元祿 三二一） 類柑子（同 五四六） ○東日記（談林 二二一） 誹枕（同 四三〇） ○七柏集（中名 五五五） ○靭随筆（中話 三五） 落葉考（同 三〇二） ○白雄句集（天明 四三六五） 暁臺句集（同 四〇六（三）） ○一茶連句集成（一茶 一五三） ○みはしら（近名 三五三）

玉川（タマガハ）（近江） 誹枕（談林 四六二） ○一茶俳句選抄（一茶 一八二）

玉川（タマガハ）（陸前） 華摘（蕉前 三五一） ○伊達衣（蕉後 三九七） ○古太白堂句選（元祿 三五一） ○反古衾（中名 二一〇） ○俳懺悔（中話 一五八）

玉川（タマガハ）（紀伊） 新増犬筑波（貞門 八五） ○蕪村俳句類聚（蕪村 三三）

玉川（タマガハ）（[illegible]・） 芭蕉俳句類聚（芭蕉 五三） ○華摘（蕉前 三五二） 藤の實（同 四八七） 其便（同 五五七） ○陸奥衛（蕉後 三一四・三四八） ○古太白堂句選（元祿 三三） 杉風句集（同 三五四） ○おくれ雙六（談林 三三〇） ○蕪村俳句類聚（蕪村 一四九） ○靭随筆（中話 四七） ○一茶俳句選抄（一茶 三七・四五） 一茶連句集成（同 二四・二八） 我春集（同 三三） ○物見塚記（近名 二六九） ○成美家集（近話 四五三） ○誹諧家譜（系譜 一一三）

手枕小野（タマクラノヲノ・テマクラノヲノ） 誹枕（談林 四六九） ○靭随筆（中話 二〇）

玉島川（タマシマガハ） 誹枕（談林 四四五）

玉田横野（タマダヨコノ） 奥の細道（芭蕉 五九一） ○陸奥衛（蕉後 三八〇） ○蕪村俳句類聚（蕪村 一一三） 蕪村俳句異同考（同 一七四（三））

玉津島（タマツシマ） 芭蕉俳句類聚（芭蕉 七七） ○陸奥衛（蕉後 三二一） ○宇陀法師（蕉話 一三五） 本朝文選（同 五九八） ○素堂句集（元祿 一七二） 五元集（同 三三〇・三三一） ○玉海集（貞門 二八一（三）） ○誹枕（談林 四二七・四六三） ○誹諧糸羽二重（逸話 一五二）

玉手山（タマデヤマ） 寛政紀行（一茶 九（三））

多摩横野（タマノヨコノ） 白雄句集（天明 二九三）

多摩渡（タマノワタシ） 白雄句集（天明 二九三）

玉水（タマミツ） 草苅笛（蕉後 一九七） ○鬼貫句選（元祿 二五） 孝林集（同 四九六） ○氷餅集（中名 六〇八） ○蕪村俳句類聚（蕪村 八七） 芭蕉翁付合集（同 四五） ○蒼虬翁句集（近話 六六） ○俳諧深川（蕉續 一三）

田蓑島（タミノノシマ） 曠野後集（蕉前 三二一） 猿蓑（同 三八八） ○草苅笛（蕉後 一九〇） ○本朝文選（蕉話 五五七） ○東日記（談林 二〇〇） 大矢數（同 五二九・五四〇・五五二） ○一茶連句集成（一茶 一六四） 我春集（同 三三） ○俳諧御傘（蕉續 一三八）

チ

地名（名所・雜）ツ

太白堂句選（同 三二〇(三)） 類柑子（同 五六〇） ○新增犬筑波（同 一〇三） 紅梅千句（同 一五〇・一五九） 俳諧之註（同 五〇八） ○誹枕（談林 四三三(二)） ○蕪村俳句類聚（蕪村 一〇） 蕪村連句選集（同 二七・六九） ○夜半亭發句帖（中名 六四） 新撰武藏曲（同 八八） 延享廿歌仙（同 一〇七） 續明烏（同 三五二） 續一夜松前集（同 四〇二） 春秋稿（同 四七四） 秋の日（同 五〇九） 七柏集（同 五三二・五七七） ○俳懺悔（中話 一六二） ○白雄句集（天明 二七一・二八四） 曉臺句集（同 四一七） 葛箒（同 五四五） ○一茶俳句選抄（一茶 四・八一・二三四） 一茶連句集成（同 三八・七一・三一） 我春集（同 二一） 三韓人（同 七〇・七三） ○犬古今（近名 二三六・二四〇） 物見塚記（同 二六七） 的申集（同 二九六・三〇三） 世美冢（同 三二一・三三〇） 寂砂子集（同 三三四・三四六・三四七） 關清水物語（同 五〇二） 美佐古鮓（同 五二一・五三四） ○芭蕉葉ぶね（近話 一六九） なのゝえ草稿（同 三六〇） 梅室家集（同 五四五） 鳳朗發句集（同 五八六・五九八） 蒼虬翁句集（同 六三三） ○綾錦（系譜 四五・五四） 誹諧家譜（同 一二七） ○俳諧御傘（蕉續 四八）

筑摩江（ツクマエ）
有磯海（蕉後 二八）

津久毛橋（ツクモハシ） 九十九橋
陸奥衛（蕉後 三八四） ○瓢箪集（天明 八六(三)）

作道（ツクリミチ）（山城鳥羽）
玉海集（貞門 三四一） ○大矢數（談林 五六一）

鬪鷄野（ツゲノ）
類柑子（元祿 五七六(三)） ○山之井（貞門 四三五） ○誹枕（談林 四六九）

津島川（ツシマガハ）
幣ふくろ（中名 五一七）

津田細江（ツダノホソエ）
靑蘿發句集（天明 三五六） 葛箒（同 五三九） ○花の雲（蕉續 八三） 俳諧御傘（同 二〇）

蔦細路（ツタノホソミチ） 蔦路・蔦道・蔦下道
續猿蓑（蕉前 六〇〇） ○皮籠摺（蕉後 四四三） ○五元集（元祿 三三七） ○獨吟千句（貞門 三五） ○誹枕（談林 四三五） ○靱随筆（中話 四二） うづら衣（同 六七七） ○綾錦（系譜 三五）

都築原（ツヅキノハラ）
誹枕（談林 四三一）

榴岡（ツツジガヲカ） 躑躅岡
奥の細道（芭蕉 五九一） ○陸奥衛（蕉後 三八〇） ○俳懺悔（中話 一五八）

皷嶽（ツヅミガタケ）（伊勢）
麥林集（元祿 四五六） ○誹諧當世男（談林 一一四・四六五）

鼓山（ツヅミヤマ）（丹波）
誹枕（談林 四三九）

九折坂（ツヅラザカ）
春秋稿（中名 四八五）

角松原（ツヌノマツバラ）
大矢數（談林 四九九）

津守（ツモリ）
蕪村俳句類聚（蕪村 二四）

鶴岡（ツルガヲカ）（相摸）

○韻塞(蕉後　五六二)　○五老井發句集(元祿　三〇二(三))

ト

東叡山（トウエイザン）
芭蕉連句集成(芭蕉　一六二)　○其袋(蕉前　二五一・二五二)　華摘(同　三三九)　猿蓑(同　三八九)　○有磯海(蕉後　一三)　陸奥鵆(同　三一五・三一七・三三三)　韻塞(同　三三五)　○靱隨筆(中話　二四)　○一茶連句集成(一茶　一七一)　株番(同　四六)　○玉池雜藻(近話　六一)

戸隱山（トガクシヤマ）
芭蕉連句集成(芭蕉　一八八)　○誹枕(談林　四三九)　大矢數(同　五一〇)　○水薦苅(近名　一八二)　○笈のわか葉(蕉續　三八四)

栂尾（トガノヲ）
本朝文選(蕉話　五七一)　○新撰犬筑波(貞門　三八)　○誹枕(談林　四六七)

常盤橋（トキハバシ）「常磐橋」(東京)
誹枕(談林　四三二)

常盤山（トキハヤマ）
芭蕉連句集成(芭蕉　三一)

渡月橋（トゲツキヤウ）
猿舞師(蕉後　二九二)　○北枝發句集(元祿　三一五)　○延享廿歌仙(中名　二四)

床海（トコノウミ）(鳥籠海)　床浦
東日記(談林　二一三)　○俳諧御傘(蕉續　二一)

床山（トコノヤマ）　鳥籠山
芭蕉俳句類聚(芭蕉　四二)　芭蕉連句集成(同　一九九)　○韻塞(蕉後　五三八・五七四)　正風彥根躰(同　五六八)　○丈草發句集(元祿　四〇二)　○中庸姿(貞門　五四二)　玉海集(同　二九四)　○談林十百韻(談林　五〇)　俳諧雜巾(同　一四四)　當流籠抜(同　一五九)　江戸八百韻(同　二四六)　誹枕(同　四三三・四三四・四三五(四)・四六八)　大矢數(同　五〇二)　○雜話抄(中話　八)　也哉鈔(同　三八六)　○芭蕉翁頭陀物語(逸話　二四)　○俳諧御傘(蕉續　二一)

戸田川（トダガハ）
寂砂子集(近名　二四一)

戸田渡（トダノワタリ）
綾錦(系譜　三三)

十津川（トツガハ）
紅梅千句(貞門　一六二)　○春泥發句集(天明　一五二・一五七)

十綱橋（トツナノハシ）
瓢簞集(天明　八二)

堤八町（ドテハツチヤウ）(東京)
類柑子(元祿　六〇三)　○西歌仙(近名　二五八)　○能靜草(近話　三三七)　○綾錦(系譜　七三)

砥取山（トトリヤマ）
草苅笛(蕉後　一七五)　錢龍賦(同　五一六)　○續いま宮草(元祿　一五五)　○誹諧初學抄(貞門　四八三)　○大坂獨吟集(談林　三一)　誹枕(同　四六五)

戸難瀨（トナセ）　戸無瀨
嵯峨日記(芭蕉　六〇八)　○虎溪の橋(談林　八一)　當流籠抜(同　一五三)　○瓢簞集

(天明 七六)

刀奈美山（トナミヤマ） 礪波山・砥並山
となみ山(蕉後 三一・一三九) 續有磯海(同 一〇三) 菊の香(同 三五) ○蓮二吟集(元祿 二八八) 浪化上人發句集(同 四四五) ○蕪村文集(蕪村 八)

利根川（トネガハ） 刀禰川
鹿島詣(芭蕉 五七〇) ○曠野(蕉前 一八五) ○小文庫(蕉後 二七八) ○蕪村連句選集(蕪村 一〇五) ○續明烏(中名 三四〇) 續一夜松前集(同 四〇三) 春秋稿(同 四七九) ○誓阿彌句藻(天明 六三) 白雄句集(同 三〇二) ○一茶連句集成(一茶 一五) 我春集(同 二五) ○世美冢(近名 三一九) ○梅室家集(近話 五五五)

鳥羽浦（トバウラ） 止波浦
華摘(蕉前 二四一) ○渡鳥集(蕉後 二四一) 皮籠摺(同 四四二) ○落柿舍日記(近名 九八)

鳥羽繩手（トバナハテ）
蟲貫句選(元祿 二八) ○明がらす(中名 三三) ○半化坊發句集(天明 三八二) ○不白翁句集(近話 三一七)

飛火野（トブヒノ）
野坂吟艸(蕉續 四五八) ○俳諧御傘(蕉續 七二)

遠里小野（トホザトヲノ・ヲリヲノ）
五元集(元祿 三三四) 類柑子(同 五三四) ○大矢數(談林 四七九・五五七) ○俳懺悔(中話 一六三) ○春泥發句集(天明 一六三) ○綾錦(系譜 四五・五三) ○俳諧御傘(蕉續 一三)

遠江灘（トホタウミナダ）
杜撰集(蕉後 四八六)

泊山（トマリヤマ）
芭蕉連句集成(芭蕉 二四七)

豐浦（トヨウラ）
武藏曲(蕉前 七)

豐國（トヨクニ）
猿蓑(蕉前 三八〇) 百人一句(同 四〇四)

豐國野（トヨクノ） 豐受野
五元集(元祿 三三二) ○一字幽蘭集(談林 三六〇) ○華亭句集(天明 四五〇)

鳥部野（トリベノ） 鳥邊野
千鳥掛(蕉前 一一七) 曠野(同 一八〇) ○梟日記(蕉後 一〇四) 草刈笛(同 一九七) ○本朝文選(蕉話 六一〇) ○五元集(元祿 三一七) 蓮二吟集(同 二八八) ○山之井(貞門 四六六) 誹諧破邪顯正返答(同 五六八) 猿蓑(同 六五二) ○大坂獨吟集(談林 三六) 江戸八百韻(同 二五一) ○蕪村連句選集(蕪村 四四) ○新みなし栗(中名 二六九) ○うづら衣(中話 五六八) 俳諧御傘(蕉續 七二)

鳥部山（トリベヤマ） 鳥邊山
芭蕉俳句不審抄(芭蕉 一三〇) ○華摘(蕉前 二四八) ○正風彥根躰(蕉後 五七〇) ○本朝文選(蕉話 六八二) ○玉海集(貞門 五九一) ○大坂獨吟集(談林 九) 大矢數(同 五四二) 白根嶽(同 六一九) ○延享廿歌仙(中名 一一〇) ○俳懺悔(中話 一五〇) 新雜談集(同 四三〇) ○鳳朗發句集(近話 五八三・五八四) ○誹諧家譜(系譜 一一〇)

鳴瀧山（ナルタキヤマ）
大坂獨吟集（談林 三一）

鳴門（ナルト） 鳴戸
芭蕉連句集成（芭蕉 一九七・四三六） 芭蕉文集（同 五六三） ○其袋（蕉前 二六四） 猿蓑（同 二八五） ○正風彦根躰（蕉後 五八五） 庭竈集（同 六三九） ○續いさ宮草（元祿 一四七） 素堂句集（同 一七五） ○誹枕（談林 四四三） ○續五色墨（中名 五二） 骨書同 四五二） ○はいかい袋（中話 二五八） ○葎亭句集（天明 四八九） 葛箒（同 五四四） 素丸發句集（同 六一三） ○俳諧御傘（蕉續 三六）

鳴海潟（ナルミガタ）
芭蕉俳句類聚（芭蕉 一六） 芭蕉俳句異同考（同 一〇八） 笈の小文（同 五七三） ○千鳥掛（蕉前 一〇一・一一三・一一三・一三三・一三六） いつか昔（同 三一五） ○幾人水主（蕉後 六七〇） ○五元集（元祿 三一六） ○はいかい袋（中話 二八二） ○一茶連句集成（一茶 一一三） ○卯辰集（蕉續 三四）

ニ

二州橋（ニシウバシ）
蓼太句集（天明 二四二）

西河瀧（ニシカウノタキ）
笈の小文（芭蕉 五七六） ○續猿蓑（蕉前 五八三） ○五元集（元祿 二三一（三））

西原（ニシザハフ）
誓阿彌句藻（天明 四六）

錦浦（ニシキノウラ）（志摩）
大矢數（談林 五二四）

錦浦（ニシキノウラ）（出雲）
誹枕（談林 四四〇）

錦島（ニシキノシマ）
誹枕（談林 四四三）

錦濱（ニシキノハマ）
玉海集（貞門 三五七（三））

西谷（ニシダニ）
芭蕉連句集成（芭蕉 三三一）

西洞院川（ニシノトウヰンガハ）
俳諧御傘（蕉續 八一）

西窪（ニシノクボ）
物見塚記（近名 二八四）

西岡（ニシノヲカ）
元祿百人一句（蕉前 四〇五） ○韻塞（蕉後 五四〇） ○新増犬筑波（貞門 一三七） ○江戸八百韻（談林 二三四）

西山（ニシヤマ）
正風彦根躰（蕉後 五六八） 庭竈集（同 六三五） ○大坂獨吟集（談林 一〇） ○蕪村書翰集（蕪村 九七） ○續一夜松前集（中名 四〇六） ○井華集（天明 一八四） 半化坊發句集（同 五八三） ○一茶俳句選抄（一茶 三三・九四） 一茶連句集成（同 九三） 一茶書翰抄（同 四） ○世美冢（近名 三三三） 關清水物語（同 四九一）

日光山（ニックワウザン） 二荒山
芭蕉俳句類聚（芭蕉 二六） 芭蕉連句集成（同 三七四） 奥の細道（同 五八七（三）） ○小文庫（蕉後 二七九） 陸奥衛（同 三三五・三七六（五）） ○古太堂句選（元祿 三三五） ○玉海集（貞門 三八一） ○一字幽蘭集（談

芭蕉俳句類聚(芭蕉 五) 芭蕉俳句異同考(同 九八(三)) ○華摘(蕉前 三三八) 猿蓑(同 三八二) ○初心もと柏(元祿 一三) ○誹枕(談林 四六二) ○蕪村連句選集(蕪村 八八) 蕪村文集(同 一六) ○寫經社集(中名 三九) 五車反古(同 三七一) ○落葉考(中話 三〇九) ○樗良發句集(天明 三一七) ○一茶連句集成(一茶 八四) ○古學截斷字論(近話 二八八) 蒼虬翁句集(同 六三四)

小比叡(コヒエ) 小日枝

誹枕(談林 四六二) ○蒼虬翁句集(近話 六三四)

日枝坂(ヒエザカ)

萑亭句集(天明 四九四)

日笠山(ヒカサヤマ)

蒼虬翁句集(近話 六三九)

東山(ヒガシヤマ)

芭蕉俳句類聚(芭蕉 六四) 芭蕉俳句不審抄(同 一三一) 芭蕉連句集成(同 二八八) ○弓(蕉前 四四三) ○菊の香(蕉後 三三三) 小文庫(同 二八四・二八五) 猿舞師(同 二九九) 伊達衣(同 四〇八) 皮籠摺(同 四四五(二)) 一幅半(同 四六六) 錢龍賦(同 五三三) 庭竈集(同 六三九) ○宇陀法師(蕉話 一四九) 青根が峯(同 四二七) ○初心もと柏(元祿 八(三)) 支峰集(同 二六五) 麥林集(同 四六八) ○鷹筑波(貞門 二六五・二七三) 玉海集(同 三〇七・三三二・三四九・三六六・三七〇) 山之井(同 四四九・四五一・四六四) ○大坂獨吟集(談林 九) 大矢數(同 五五九) ○蕪村俳句類聚(蕪村 四二・一四一・一四四) 蕪村發句解(同 二一五(一)) 蕪村連句選集(同 二四・八五) 蕪村書翰集(同 五一) 俳諧三十六歌僊(同 五二) ○平安二十歌仙(中名 二四七) 續一夜松前集(同 四〇六) 幣ふくろ(同 五三〇) ○俳仙窟(中話 一二四) 俳懺悔(同 一六三・一六八) 新雜談集(同 四〇七・四〇八・四三七) ○井華集(天明 一八四) 曉臺句集(同 三六四・三六五) 半化坊發句集(同 三六四・三六五) 曉臺句集(同 四〇三) 萑亭句集(同 四六九) ○一茶俳句選抄(一茶 一四・九四) ○俳諧何袋(近名 二〇三) 的申集(同 二九五) 寂砂子集(同 三五二) 麻刈集(同 三六九) ○居龍之技(近話 四一三) 鳳朗發句集(同 五八二・六〇八) 蒼虬翁句集(同 六三三・六三八・六四五) ○誹諧家譜(系譜 一三五) 誹諧家譜拾遺集(同 一四六・一四七) 歷代滑稽傳(逸話 六六) 誹諧京羽二重(同 一四二) 貞德永代記(同 一八九) ○鵲尾冠(蕉續 一三三・一八八)

比企野(ヒキノ)

白雄句集(天明 三〇九)

引馬野(ヒクマノ)

玉海集(貞門 三三九)

日暮小野(ヒグラシノヲノ) 日暮野

誹枕(談林 四五九・四六八)

彦山(ヒコノヤマ)(ヒコサン)

惟然坊句集(元祿 三七五) ○誹枕(談林 四四二(二)) ○たまも集(蕪村 一六) ○芭蕉翁頭陀物語(逸話 三〇) ○野坡吟艸(蕉續 四五四)

毘沙門坂(ビシヤモンザカ)(攝津天王寺)

俳懺悔(中話 一八七)

日高川(ヒダカガハ)

芭蕉連句集成(芭蕉 三二七) ○玉海集

一四五・一四八・一九九） うづら衣（同 六四八） ○哲阿彌句藻（天明 六〇） 蓼太句集（同 二五九） 白雄句集（同 二九三） 半化坊發句集（同 三六四） ○一茶俳句選抄（一茶 三六・一〇七・一三二） 一茶連句集成（同 七九） おらが春（同 八八） ○世美冢（近名 三一六） みはしら（同 三六一） 美佐古鮓（同 五三三） ○古學截斷字論（近話 二八九） 能静草（同 二四二） なのゝえ草稿（同 三五七・三八〇） 成美家集（同 四三七・四五八） 曾波可理（同 四七九） 鳳朗發句集（同 六一七） ○花見車（逸話 二一） ○俳諧御傘（蕉續 八四）

參考——芭蕉文集、松島の賦（芭蕉 六九九—六六〇） 本朝文選、松島賦（蕉話 五三三—五一三）

松浦島（マツガウラシマ）

奥の細道（芭蕉 五九三） ○陸奥衞（蕉後 三八一） ○俳懺悔（中話 一四三） ○一茶連句集成（一茶 二〇〇）

千松島（チマツシマ）

蓼太句集（天明 二四九） ○曉臺句集（天明 四一五）

待乳川（マツチガハ）

哲阿彌句藻（天明 六四）

眞土山（マツチヤマ） 眞乳山・亦打山

芭蕉連句集成（芭蕉 四九五） ○虚栗（蕉前 一七） 續虚栗（同 五二） 其袋（同 二四六） ○陸奥衞（蕉後 三一五） ○五元集（元祿 二〇六）、玄峰集（同 二四八） 古太白堂句選（同 三三） 類柑子（同 五三八 ○東日記（談林 一九九） ○新撰武藏曲（中名 八三） 延享廿歌仙（中名 一三） ○哲阿彌句藻（天明 六三） 蓼太句集（同 二三五） 萑亭句集（同 四七七） ○花見の記（一茶 三） ○西歌仙（近名 二四八） ○玉池雜藻（近話 二八） 能静草（同 三三六） 成美家集（同 四四七）

松帆浦（マツホノウラ）

おくれ雙六（談林 三一四） 誹枕（同 四四三） ○靑蘿發句集（天明 三五二・三五五）

松本山（マツモトヤマ）（近江）

本朝文選（蕉話 五七七）

松浦潟（マツラガタ） 松浦海

陸奥衞（蕉後 三六五） ○七百五十韵（談林 二七一） ○花見車（逸話 九七） 貞德永代記（同 一七二）

松浦川（マツラガハ）

其他（蕉前 五六一） ○萑亭句集（天明 四七〇）

松浦山（マツラヤマ）

玉海集（貞門 三一八） ○俳諧御傘（蕉續 八四）

眞野入江（マノイリエ） 眞野浦・眞野入海

蓮二吟集（元祿 二八九） ○山之井（貞門 四四六） ○俳諧雜巾（談林 一四五）

眞野萱原（マノカヤハラ）

奥の細道（芭蕉 五九三） ○陸奥衞（蕉後 三八二）

舞子濱（マヒコノハマ）

靑蘿發句集（天明 三五三）

前田川（マヘタガハ）

芭蕉俳句不猫抄（芭蕉 一四〇（三）） ○陸奥衞（蕉後 三七六） ○古太白堂句選（元祿 三三三）

うづら衣（中話 六七一・六七二）

三上山（ミカミヤマ）
芭蕉俳句類聚（芭蕉 八三）　芭蕉文集（同 六一四・六一六・六一七）　○其袋（蕉前 二三七）　猿蓑（同 三九六）　○本朝文選（蕉話 五五四）　○俳諧雜巾（談林 一三一）　誹枕（同 四三五）　大矢數（同 五三一）　○蕪村俳句類聚（蕪村 八四）　○幣ふくろ（中名 五一八）　○蘇明山莊發句藻（天明 九）　○一茶連句集成（一茶 八二）　○闕清水物語（近名 四九二）　○梅室家集（近話 五六五）　蒼虬翁句集（同 六四三）　○北國曲（蕉續 三〇九）

三國峠（ミクニタウゲ）
鞁隨筆（中話 六四）

三熊野（ミクマノ）
「熊野」（クマノ）ヲ見ヨ

見苦野（ミグルシノ）
初心もと柏（元祿 一三（三））　○山之井（貞門 四四〇）

御坂（ミサカ）（甲斐）
春秋稿（中名 四九四）

御射山（ミサヤマ）　御謝山
半化坊發句集（天明 三八〇）　○一茶俳句選抄（一茶 一五九（三））

三島江（ミシマエ）
紅梅千句（貞門 一四六）　○はいかい袋（中話 二一六）　○誹諧根源集（近話 四二）　○增補はなひ草（蕉續 一六九）

彌山（ミセン）（安藝嚴島）
梟日記（蕉後 七（三））　○蓮二吟集（元祿 二七八（三））　○西國曲（蕉續 二〇五）

御泥池（ミゾロガイケ・ミトロガイケ）
猿舞師（蕉後 二九八）　○井華集（天明 一七九）

御嶽（ミタケ）
芭蕉連句集成（芭蕉 三三五）　○犬古今（近名 二四〇）　○俳諧御傘（蕉續 三一四）

水莖岡（ミヅクキノヲカ）
芭蕉文集（芭蕉 六三二（三））　○草苅笛（蕉後 一八一）　小文庫（同 二八三）　○本朝文選（蕉話 五三五）　○中庸姿（貞門 四四五）　○大坂獨吟集（談林 一三）　誹枕（同 四三四・四六〇・四六一）　大矢數（同 五一三・五八二）　○葛箒（天明 五四四）

三子山（ミツゴヤマ）
葎亭句集（天明 四四九）

美豆（ミヅ）　御豆
誹枕（談林 四六二）　○蕪村俳句類聚（蕪村 四五）　蕪村俳句異同考（同 一六五（三））

美豆野（ミヅノ）　水野
其袋（蕉前 二六七）　○鷹筑波（貞門 二六二）　○大坂獨吟集（談林 一三）　續の原（同 二九一）　○俳諧寂栞（中話 三四四）

水浦（ミヅノウラ）
渡鳥集（蕉後 二三三）　○誹枕（談林 四四六）

水江浦（ミヅノエノウラ）
蕪村文集（蕪村 三四）

美豆小島（ミヅノコジマ）
奥の細道（芭蕉 五九四）　○陸奥鵆（蕉後 三八四）

御津濱（ミツノハマ）　御津浦・三津濱・浦
續いま宮草（元祿 一四一）　蓮二吟集（同 二八七）　○玉海集（貞門 三四三）　○大坂獨吟集（談林 一七）　誹枕（同 四三三）　大矢數（同 五五八）　○氷餅集（中名 六一〇）

芭蕉連句集成（芭蕉 四九三）　○五元集（元祿 三三六）　○誹枕（談林 四四九）

三穗松原　三穗松

芭蕉俳句不審抄（芭蕉 一五五(二)）　○有磯海（蕉後 一二六）　草苅笛（同 一九〇）　皮籠摺（同 四四五）　○鬼貫句選（元祿 三五五）　素堂句集（同 一七五）　五老井發句集（同 三〇三）　○鷹筑波（貞門 二四九）　○大坂獨吟集（談林 三〇）　○蟻つか（中名 一七六）　○萍亭句集（天明 四六二）

美作池（大和）

花月六百韻（中名 二八）

耳敏川

誹枕（談林 四二九）

耳無山（耳成山）

續いま宮草（元祿 一五五）　○東日記（談林 二〇二）　誹枕（同 四四九）　白根嶽（同 六一五）　○一茶連句集成（一茶 九八）　○居龍之技（近話 四〇八）

三室山

談林十百韻（談林 四九）　當流籠抜（同 一六五）　○俳諧御傘（蕉續 六六）

御裳濯川

本朝文選（蕉話 五五七）　○鵲尾冠（蕉續 一六〇）

宮川

其袋（蕉前 二五四）　華摘（同 三五八）　○一幅半（蕉後 四六三）　錢龍賦（同 五二〇）　○本朝文選（蕉話 五五七）　○俳諧寂栞（中話 三五一）　○萍亭句集（天明 四五一）　○芭蕉葉ぶね（近話 一六六）　○その濱ゆふ（蕉續 三九五）

宮城野（相摸）

誹枕（談林 四二八）

宮城野（陸前）

奥の細道（芭蕉 五九一）　芭蕉文集（同 六三〇・六三一・六五九）　○武藏曲（蕉前 四）　虚栗（同 四二）　○炭俵（蕉前 五〇七）　○陸奥衞（蕉後 三八〇・三八九）　○初心もと柏（元祿 一三）　古太白堂句選（同 三三五）　○山之井（貞門 四四〇・四四一）　○誹枕（談林 四五〇・四五一(四)・四五二(三)・四五五・四五六(六)・四五八）　大矢數（同 五一九）　○蕪村俳句類聚（蕪村 一一七）　新華摘（同 三〇）　○新撰武藏曲（中名 九九）　五車反古（同 三七九）　○續萬歳（近名 一四七）　水薦苅（同 一九一）　鬪清水物語（同 四九二）　○西國曲（蕉續 二三・三三七）　俳諧御傘（同 一三）　增補はなひ草（同 一四七）

都松

うづら衣（中話 六七三）

宮島　「嚴島」ヲ見ヨ

宮戸川

新撰武藏曲（中名 九〇）　七柏集（同 五七八）

宮下

杜撰集（蕉後 四九一）

三吉野　「吉野」ヲ見ヨ

三芳野のたのむ（武藏）

獺柑子（元祿 五八四(三)）

みるめの浦

誹枕（談林 四四七）

三輪

皮籠摺（蕉後 四四九）○類柑子（元祿 五六五）
○誹枕（談林 四三四）○骨書（中名 四五九）

八瀬山（ヤセヤマ）
玉海集（貞門 二八・二九三）

八十島（ヤソシマ）（攝津）
靑蘿發句集（天明 三三八）　素丸發句集
（同 五六五）

八十島（ヤソシマ）（陸前）
陸奥衞（蕉後 三八四）○類柑子（元祿 五六二）
○俳懺悔（中話 一八三）　はいかい袋（同
三三〇）

八十瀬川（ヤソセノカハ）（伊勢、鈴鹿川）
庵櫻（談林 三四七）○蕪村連句選集（蕪
村 一二）○蟻つか（中名 一八六）　七柏集
（同 五五七）

矢田野（ヤダノ）
猿蓑（蕉前 三七七）　○誹枕（談林 四三八）

八橋（ヤツハシ）
千鳥掛（蕉前 一三〇）　勸進牒（同 二九六（二））
藤の實（同 四七七）○錢龍賦（蕉後 五〇七（三））
正風彦根躰（同 五九〇）　○獨吟千句（貞
門 一八）　玉海集（同 三一五（三））　山之井
（同 四二九）○誹枕（談林 四三四）○蕪村
俳句類聚（蕪村 九・五八）　○反古衾（中
名 二二三）○素丸發句集（天明 六〇二）○
水薦苅（近名 一九六）　○誹諧根源集（近
話 三八）　玉池雜藻（同 七六）　屠龍之技
（同 四〇九）○貞德永代記（逸話 二四六）

八山（ヤツヤマ）（東京）
哲阿彌句藻（天明 五七）

柳浦（ヤナギガウラ）
鷹筑波（貞門 二四三）　玉海集（同 三三四）
○大矢數（談林 四八九）　○俳諧御傘（蕉
續三・八一）

柳橋（ヤナギハシ）
梅室家集（近話 五五四）

矢作川（ヤハギガハ）
秋の日（中名 五二一）

矢矧堤（ヤハギヅツミ）
本朝文選（蕉話 五〇五）

矢矧橋（ヤハギノハシ）　矢作・矢剝橋
冬の日（蕉前 七七）　○五老井發句集（元
祿 三〇四）　○蕪村連句選集（蕪村 三三・
九六）　○俳諧寂栞（中話 三五二）　○曉臺
句集（天明 四二九）○みはしら（近名 三六一）
○鵲尾冠（蕉續 一四四）

八幡山（ヤハタヤマ）
新增犬筑波（貞門 八一・九三・九八・三一）　鷹
筑波（同 二五九）○新雜談集（中話 四〇八）
○靑蘿發句集（天明 三五二）　○綾錦（系
譜 三六）

彌彦山（ヤヒコヤマ）
草苅笛（蕉後 二二四）　○蕪村發句解（蕪
村 二二）　○斧の柄（近名 四〇四）　○た
のゝえ草稿（近話 三六九・三八四）　蒼虬翁
句集（同 六四七）

八重山（ヤヘヤマ）
江戸蛇之鮓（談林 一八一）　東日記（同 一九三）

山七里（ヤマクレ）（伊豆）
本朝文選（蕉話 五九六）　○大矢數（談林
五三一）

大和川（ヤマトガハ）
炭俵（蕉前 五〇四）　別座鋪（同 五三六）　○

ユ

ヨ

續有磯海（蕉後 一四三）

リ

兩國（リヤウゴク）
俳懺悔（中話 一五一）○蘇明山莊發句藻（天明 二七） 哲阿彌句藻（同 六四） 半化坊發句集（同 二七三） ○一茶俳句選抄（一茶 二九・一三七） ○物見塚記（近名 二七五） ○玉池雜藻（近話 一一四）

兩國橋（リヤウゴクバシ）
芭蕉俳句不審抄（芭蕉 一三三） ○虚栗（蕉前 二九） 其便（同 五四五・五五六） ○猿舞師（蕉後 三〇一） 皮籠摺（同 四四九） 錢龍賦（同 五一四） ○類柑子（元祿 五四七） ○續一夜松後集（中名 四三〇） ○靭随筆（中話 四五・七三） 俳仙窟（同 一一七） ○哲阿彌句藻（天明 四八） ○玉池雜藻（近話 一一三） ○北國曲（蕉續 三〇八）

龍門瀧（リユウモンノタキ）
芭蕉俳句類聚（芭蕉 三一） 笈の小文（同 五七六（三）） ○誹諧家譜拾遺集（系譜 一四七）

レ

靈岸島（レイガンジマ）
談林十百韻（談林 六三）

蓮臺野（レンダイノ）
芭蕉俳句類聚（芭蕉 四三） ○笈日記（蕉後 一六） ○鷹筑波（貞門 一九九） 玉海集（同 三〇八） 山之井（同 四一七） ○俳諧御傘（蕉續 一六）

ロ

六間堀（ロクケンボリ）（東京）
誹諧世説（逸話 七三）

六道（ロクダウ） 六道辻（京都）
庭竈集（蕉後 六四五） ○玄峰集（元祿 二五九） ○大坂獨吟集（談林 九・二〇） ○一茶俳句選抄（一茶 二三五）

鹿野園（ロクヤヲン）（鹿野苑）（大和）
山之井（貞門 四四二・四六九）

ワ

黃檗（ワウバク）
韻塞（蕉後 五五四） ○青根が峯（蕉話 四八〇） ○鬼貫句選（元祿 二五） 五元集（同 二二二） ○たびしうゐ（一茶 一五）

和歌浦（ワカノウラ） 若浦
芭蕉俳句類聚（芭蕉 三・二四） 芭蕉俳句不審抄（同 一三〇） 笈の小文（同 五七六（二）） 庚午紀行（同 五八一（三）） ○いつを昔（蕉前 三八） 元祿百人一句（同 四〇七） 枯尾花（同 六〇八） ○笈日記（蕉後 六二） ○五元集（元祿 三一〇） 麥林集（同 四九三） ○鷹筑波（貞門 三一） 玉海集（同 三六七） 中庸姿（同 五三六） 誹諧破邪顯正（同 五七二） ふたつ盃（同 六三〇） ○誹枕（談林 四四六（二）・四五七・四五九・四六三） 大矢數（同 五三三） ○から檜葉（蕪村 一三） ○俳懺悔（中話 一五六） ○麥太句集（天明 二四一） 樗良發

〔完〕

芭蕉
蕪村
一茶

俳諧全句索引

芭蕉・蕪村・一茶の各一代集を主として本大系全卷に涉り、各其の俳句を抄出して是に連句の起句を加へ五十音順に排列したり。但しワ行のヰ・ヱ・ヲはア行のイ・エ・オに收む。

芭蕉俳諧全句索引

ア

イザヨ（笈日）いざよひのいづれか今朝に殘る菊…（蕉後　三四）
（笈日）いざよひのいづれか今朝に殘る菊…（蕉後　五一）
（陸奥）いざよひのいづれか今朝に殘る菊…（蕉後三五七）
（千鳥）十六夜の月と見はやせ殘る菊………（蕉前一三六）
（韻塞）十六夜はとり分闇のはじめ哉………（蕉後五四二）
（集成）「いざよひはとり分闇の」の連句……（芭蕉三五六）
（類聚）十六夜はわづかに闇の初かな………（芭蕉　六二）
（續猿）十六夜はわづかに闇の初哉…………（蕉前九一）
（類聚）いざよひもまださらしなの郡哉……（芭蕉　六一）
（更科）いざよひもまださらしなの郡哉……（芭蕉五八四）
（文集）いざよひもまた更科の郡かな………（芭蕉六二四）
（曠野）いざよひもまたさらしなの郡哉……（蕉前一七六）
（いつ）いざよひもまだ更科の郡哉…………（蕉前三〇）
（小文）いざよひもまださらしなの郡哉……（蕉後二八二）
（水鶯）十六宵もまだ更科の郡かな…………（近名一八六）
（類聚）十六夜や海老煮る程の宵の闇………（芭蕉　六一）
（笈日）十六夜や海老煎る程の宵の闇………（蕉後　二〇）
（合楔）十六夜や海老煎ほどの宵の闇………（蕉話四〇六）
（類柑）十六夜や海老煎程の宵の闇…………（元祿五三一）
イザユ（類聚）いざ行む雪見にころぶ處まで…（芭蕉　八四）
（笈小）いざ行む雪見にころぶ所まで………（芭蕉五七四）
（曠野）いざゆかむ雪見にころぶ所まで……（蕉前一五七）
イザラ（類聚）いざ落花眼裏のほこりはらはせん…（芭蕉　二一）
イサリ（類聚）いさり火にかじかや浪の下むせび…（芭蕉　六七）
（卯辰）いさり火のかじかや波の下むせび…（蕉續　三八）
イシカ（類聚）石かれて水しぼめるや冬もなし…（芭蕉　九二）
（東日）石枯て水しぼめるや冬もなし………（談林二一五）
イシノ（類聚）石の香や夏草赤く露暑し……（芭蕉　四五）
（陸奥）石の香や夏艸赤く露暑し…………（蕉後三一八）
（伊達）石の香や夏草赤く露暑し…………（蕉後三九七）
イシヤ（類聚）石山の石にたばしるあられ哉…（芭蕉　八五）
（類聚）石山のいしより白し秋の風………（芭蕉　五一）
（奥細）石山の石より白し秋の風…………（芭蕉五九九）
（集成）「衣裝して梅改むる」の連句………（芭蕉三一六）
イセガ（類聚）伊勢が賣家にも來たり千代の春…（芭蕉　四）
イタタ（類聚）いたゞいておち穗拾む關の前…（芭蕉　六七）
イチナ（集成）「市中は物ゝにほひや」の連句…（芭蕉二九九）
（猿蓑）「市中は物のにほひや」の連句……（蕉前三九二）
イチビ（類聚）市人にいで是うらん雪の笠…（芭蕉　八二）
（笈日）市人にいで是うらん笠の雪…………（蕉後　三七）

ウ

ウカウ（陸奥）魚鳥のこゝろはしらずとしの暮……（蕉後三二〇）
（類聚）うか〳〵と年よる人やふる暦……（芭蕉　九〇）
ウカレ（類聚）うかれけり人やはつ瀬の山ざくら……（芭蕉　一七）
ウキヒ（類聚）うき人の旅にも習へ木曾の蠅……（芭蕉　三一）
（文集）うき人の旅にも習へ木曾の蠅……（芭蕉六三四）
（韻塞）うき人の旅にも習へ木曾の蠅……（蕉後五五九）
（水薦）うき人の旅にもならへ木曾の蠅……（近名一八四）
ウキフ（類聚）うきふしや竹の子となる人の果……（芭蕉　二八）
（嵯峨）うきふしや竹の子となる人の果……（芭蕉六〇五）
ウキワ（類聚）うき我をさびしがらせよかんこ鳥……（芭蕉　三〇）
（嵯峨）うき我をさびしがらせよかんこ鳥……（芭蕉六〇六）
（猿蓑）うき我をさびしからせよかんこ鳥……（蕉前三七九）
（篇突）うき吾を淋しがらせよかんこ鳥……（蕉話一一六）
（青根）うき我を淋しがらせよ閑古鳥……（蕉話四六一）
（南北）うき我をさびしからせよ諫皷鳥……（中話　七八）
（寂栞）うき我を淋しがらせよ陽鳩……（中話三三〇）
（寂栞）憂我を淋しがらせよ陽鳩……（中話三五六）
ウグヒ（類聚）うぐひすを魂にねむるか嬌柳……（芭蕉　一〇）
（虚栗）うぐひすを魂にねむるか嬌柳……（蕉前　一七）
（類聚）鶯に感ある竹のはやし哉……（芭蕉　一三）
（集成）「鶯に朝日さす也」の連句……（芭蕉三七九）
（となみ）「鶯に朝日さす也」の連句……（蕉後一三四）
（類聚）鶯の笠おとしたる椿かな……（芭蕉　一一）
（猿蓑）うぐひすの笠おとしたる椿哉……（蕉前三八九）
（青根）鶯の笠おとしたる椿かな……（蕉話四四七）
（南北）うぐひすの笠おとしたる椿かな……（中話　八〇）
（集成）「鶯の笠落したる」の連句……（芭蕉二八七）
（何袋）「鶯の笠落したる」の連句……（近名二〇一）
ウグヒ（類聚）鶯や雀よけ行枝うつり……（芭蕉　一三）
（書翰）鶯や雀よけ行枝うつり……（芭蕉七一七）
（文集）鶯や雀よけ行枝うつり……（蕪村　八）
（平安）鶯や雀よけ行枝うつり……（中名三三五）
（類聚）鶯や竹の子籔に老を鳴……（芭蕉　三〇）
（炭俵）うぐひすや竹の子籔に老を鳴……（蕉前五〇三）
（別座）鶯や竹の子藪に老を鳴……（蕉前五三六）
（枯尾）鶯や筍藪に老を鳴……（蕉前六〇六）
（陸奥）鶯や筍藪に老を啼……（蕉後三一七）
（玉池）うぐひすや竹の子藪に老を啼……（近話一〇五）
（類聚）鶯や茶袋かゝる庵の垣……（芭蕉　一三）
（類聚）鶯や餅に糞する椽の先……（芭蕉　一三）

エ・ヱ

オ・ヲ

(類聚)おもしろうてやがしかなしき鵜舟哉……(芭蕉 三〇)
(曠野)おもしろうてやがてかなしき鵜舟哉(蕉前一六五)
(笈日)面白てやがてかなきし鵜ぶね哉……(蕉後 三〇)
(菊香)面白うてやがてかなしきう船かな…(蕉後三三七)
(菊香)面白うてやがてながるゝ鵜船かな…(蕉後三三七)
(青根)おもしろふてやがてかなしき鵜舟哉(蕉話四四八)

オモヒ(類聚)思ひ出す木曾や四月の櫻がり……(芭蕉 二五)
(集成)「おもひ立木曾や四月の」の連句……(芭蕉四一八)

オメコ(類聚)御命講や油のやうな酒五升………(芭蕉 七八)
(小文)御命講や油のやうな酒五升…………(蕉後二六四)
(青根)御命講や油のやうな酒五升…………(蕉話四六五)

オラン(類聚)阿蘭陀も花に來にけり馬に鞍………(芭蕉 二〇)
(書翰)阿蘭陀も花に來にけり馬に鞍………(芭蕉六六五)
(江戸)阿蘭陀も花に來にけり馬に鞍………(談林一七三)

ヲリヲ(類聚)折々に伊吹を見てや冬籠…………(芭蕉 七七)
(笈日)折〱に伊吹を見てや冬籠…………(蕉前 二七)
(集成)「折〱や雨戸にさはる」の連句……(芭蕉四八六)
(枇杷)「折〱や雨戸にさはる」の連句……(近話一三一)

ヲリフ(類聚)折ふしは酢になる菊のさかな哉……(芭蕉 七〇)

オルス(類聚)お留守居に頼みおくべし玉津島……(芭蕉 七七)

オンヘ(類聚)御廟千とせしのぶは何を忍草……(芭蕉 五五)
(甲子)御廟年經て忍は何をしのぶ草……(芭蕉五六五)

カ

カヲサ(類聚)香を探る梅に家見る軒端哉……(芭蕉 八九)
(笈小)香を探る梅に藏見る軒端哉……(芭蕉五七四)
(笈日)香を採る梅に家見る軒端哉……(蕉後 三八)

カキツ(類聚)杜若語るも旅のひとつかな……(芭蕉 二五)
(笈小)杜若語るも旅のひとつ哉……(芭蕉五七七)
(書翰)「杜若語るも旅の」の連句……(芭蕉七二七)
(類聚)かきつばたにたりやにたり水の影…(芭蕉 二五)
(類聚)杜若われに發句のおもひあり……(芭蕉 二五)
(集成)「燕子花われに發句の」の連句……(芭蕉四二八)
(千鳥)「杜若われに發句の」の連句……(蕉前一一七)

カキヨ(類聚)蠣よりは海苔をば老の賣もせで……(芭蕉 七)
(續虚)蠣よりは海苔をば老の賣もせで……(蕉前 四七)
(花實)石花よりは海苔をば老の賣もせで…(蕉話二〇六)
(去來)かきよりは海苔をば老の賣もせで…(蕉話二六六)

カサモ（類聚）笠もなき我を時雨るゝか何と〳〵……（芭蕉　七四）
カシノ（類聚）樫の木の花にかまはぬすがたかな……（芭蕉　二〇）
（甲子）樫の木の花にかまはぬ姿かな………（芭蕉五六六）
（曠野）樫の木の花にかまはぬすがた哉……（蕉前一五四）
（旅寝）樫の木の花にかまはぬ姿かな………（蕉話三三七）
（古學）樫の木の花にかまはぬ姿かな………（近話二七三）
（集成）「樫の木の花に構はぬ」の連句………（芭蕉四六二）
カズナ（類聚）數ならぬ身となおもひそ玉祭り……（芭蕉　四九）
（有磯）數ならぬ身とたおもひそ玉祭り……（蕉後一二一）
（古學）數ならぬ身となおもひそ玉祭り……（近話二七〇）
カゼイ（類聚）風色やしどろに植ゑ庭の萩…………（芭蕉　五四）
（三册）風色やしどろに植し庭の秋…………（蕉話一六八）
カゼカ（類聚）風かほる羽織は襟もつくろはず……（芭蕉　三八）
（小文）風かほる羽織は襟もつくろはず…「」（蕉後二七七）
（集成）「風の香も南にちかし」の連句………（芭蕉四七四）
カゼヒ（類聚）風鬚ヲ吹て暮秋歎ズルハ誰ガ子ゾ………（芭蕉　七一）
（虚栗）風鬚ヲ吹て暮秋歎ズルハ誰ガ子ゾ………（蕉前　三五）
カゼフ（類聚）風吹ば尾細うなるや犬櫻……………（芭蕉　一八）
カゾヘ（類聚）かぞへ來ぬ屋鋪々々のうめ柳………（芭蕉　一一）
（韻塞）かぞへ來ぬ屋敷〳〵の梅柳…………（蕉後五三三）
（一字）かぞへ來ぬ屋敷〳〵の梅やなぎ……（談林三七六）
（寂栞）かぞへ來ぬ屋敷〳〵の梅柳………（中話三七一）
カタツ（類聚）かたつぶり角ふりわけよ須磨明石…（芭蕉　三一）
（猿蓑）かたつぶり角ふりわけよ須磨明石：（蕉前六八〇）
（陸奥）蝸牛角ふりわけよ須磨あかし………（蕉後三一八）
（廿五）蝸牛角ふり分よ須磨明石……………（蕉話　四七）
（三册）かたつむり角ふりわけよ須磨明石：（蕉話一六五）
（類柑）かたつぶり角ふり分よ須磨明石……（元祿五一〇）
（一夜）蝸牛角ふり分ヶよ須磨あかし………（中話一三八）
（寂栞）蝸牛角ふり分よ須磨明石……………（中話三三三）
（梅室）蝸牛角ふり分よ須磨明石　…………（近話五五三）
カタヒ（集成）「帷子は日々にすさまし」の連句……（芭蕉三三三）
（小文）「帷子は日々にすさまじ」の連句……（蕉後二八五）
カタラ（類聚）語られぬ湯殿にぬらす袂かな………（芭蕉　九三）
（奧細）語られぬ湯殿にぬらす袂かな………（芭蕉五九六）
（華摘）語られぬゆどのにぬるゝ袂哉………（蕉前三三七）
カチス（類聚）勝角力いつも上手に米の飯…………（芭蕉　四九）
カチナ（類聚）かちならば杖つき坂を落馬哉　……（芭蕉　九二）
（笈小）歩行ならば杖つき坂を落馬哉………（芭蕉五七四）
（笈日）かちならば杖つき坂を落馬哉………（蕉後　四）

キ

ケ

(文集)此あたり目に見ゆるものは皆涼し：(芭蕉六一九)
(曉後)此あたり目に見ゆる物はみな涼し：(蕉前二〇九)
(笈日)此あたり目に見ゆるものは皆涼し：(蕉後　三一)
(本朝)此あたり目に見ゆるもの皆涼し……(蕉話五五二)

コノウ(類聚)此海に草鞋すてん笠しぐれ……(芭蕉　七四)
(笈日)此海に草鞋を捨ん笠時雨……(蕉後　五九)
(集成)「此海に草鞋捨ん」の連句……(芭蕉四五七)
(類聚)此梅に牛も初音と鳴つべし……(芭蕉　七)
(集成)「此梅に牛も初音と」の連句……(芭蕉一四七)

コノコ(類聚)此こゝろ推せよ花に五器一具……(芭蕉　三)
(葛松)此こゝろ推せよ花に五器一具……(蕉話　一四)
(青根)此心すいせよ花に五器一具……(蕉話四七七)
(蓼太)此こゝろ推せよ花に五器一具……(天明二四八)

コノサ(集成)「此里は山を四面や」の連句……(芭蕉三二七)

コノタ(書簡)此たねとおもひこなさじとうがらし(芭蕉六九四)

コノツ(類聚)此槌のむかし椿か梅の木か……(芭蕉　二四)
(文集)此槌のむかし椿か梅の木か……(芭蕉六四六)

コノテ(類聚)此寺は庭一盃のばせを哉……(芭蕉　五三)

コノホ(類聚)此ほたる田ごとの月にくらべみん……(芭蕉　三一)
(類聚)此ほどを花に禮いふわかれかな……(芭蕉　二一)

コノマ(類聚)この松のみばへせし代や神の秋……(芭蕉　七二)
(鹿嶋)この松のみばへせし代や神の秋……(芭蕉五七〇)

コノミ(類聚)此道や行人なしに秋の暮……(芭蕉　五八)
(枯尾)此道を行人なしに秋の昏……(蕉前六〇七)
(笈日)此道や行人なしに穐の暮……(蕉後　一〇)
(篇突)此道や行人なしに秋の暮……(蕉話一〇七)
(三册)此道や行人なしに秌の暮……(蕉話一七一)
(俳仙)此道ヲ行人ナシニ秋ノ暮……(中話一一三)
(枇杷)この道を行人なしに秋の暮……(近話一三一)
(翁反)「此道や行人なしに」の連句……(逸話二五一)
(集成)「此道や行人なしに」の連句……(芭蕉四四八)
(其便)「此道や行人なしに」の連句……(蕉前五六九)

コノモ(類聚)木の下に汁も鱠も櫻かな……(芭蕉　一七)
(華摘)木下に汁も鱠も櫻かな……(蕉前三三九)
(陸奥)木の下は汁も鱠もさくら哉……(蕉後三一六)
(三册)木のもとは汁も鱠もさくら哉……(蕉話一六八)
(集成)「木のもとに汁も鱠も」の連句……(芭蕉二九〇)
(集成)「木のもとに汁も鱠も」の連句……(芭蕉二九二)
(集成)「木のもとに汁も鱠も」の連句……(芭蕉二九四)
(瓢　)「木のもとに汁も鱠も」の連句……(蕉前三六五)

サ

(東日)五月雨に鶴の足みじかくなれり……(談林一九九)
(類聚)五月雨に鳰の浮巣を見に行む……(芭蕉 三二)
(笈日)五月雨に鳰の浮巣を見に行む……(蕉後 三三)
(類聚)五月雨のふり殘してや光堂……(芭蕉 三二)
(奥細)五月雨の降のこしてや光堂……(芭蕉五九四)
(書翰)さみだれにふり殘してやひかり堂……(芭蕉六八五)
(類聚)五月雨は瀧降うづむみかさ哉……(芭蕉 三三)
(類聚)五月雨も瀬ぶみ尋ねぬ見馴河……(芭蕉 三二)
(類聚)五月雨や桶の輪切る夜の聲……(芭蕉 三二)
(一字)五月雨や桶の輪切る夜の聲……(談林三七八)
(類聚)さみだれや蠶煩ふ桑の畑……(芭蕉 三二)
(續猿)さみだれや蠶煩ふ桑の畑……(蕉前五八九)
(小文)五月雨や蠶わづらふ桑のはた……(蕉後三一七)
(陸奥)五月雨や蠶煩ふ桑の畑……(蕉後三一七)
(誹塞)五月雨や蠶わづらふ桑ばたけ……(蕉後五三八)
(類聚)さみだれや色紙へぎたる壁の跡……(芭蕉 三三)
(笈日)五月雨や色紙まくれし壁の跡……(蕉後 一六)
(落柿)五月雨や色紙へぎたる壁の跡……(近名 九一)
(奥細)五月雨や年〴〵降て五百たび……(芭蕉五九四)
(類聚)五月雨や龍燈あぐる番太郎……(芭蕉 三二)

サムカ(類聚)寒からぬ露やぼたんの花の蜜……(芭蕉 二五)
(別座)寒からぬ露や牡丹の花の蜜……(蕉前五三四)
(陸奥)寒からぬ露や牡丹の花の蜜……(蕉後三一七)
サムケ(類聚)寒けれど二人旅寢ぞたのもしき……(芭蕉 八五)
(笈小)寒けれど二人寐る夜ぞ頼もしき……(芭蕉五七三)
(曠野)寒けれど二人旅ねぞたのもしき……(蕉前一七八)
(笈日)寒けれど二人旅ねぞおもしろき……(蕉後 三九)
サラデ(類聚)さらでさへ秋よ野寺の一ッ鐘……(芭蕉 七二)
サラハ(類聚)皿鉢もほのかに闇の宵凉み……(芭蕉 四〇)
(其便)皿鉢もほのかに闇の宵凉み……(蕉前五七〇)
サルヲ(類聚)猿を聞人捨子に秋の風いかに……(芭蕉 五〇)
(甲子)猿を聞人捨子に秋の風いかに……(芭蕉五六三)
(一字)猿をきく世すて子に秋の風いかに……(談林三六八)
サルヒ(類聚)猿引は猿の小袖をきぬた哉……(芭蕉 六五)
(續有)猿引は猿の小袖をきぬた哉……(蕉後一五六)
(猿舞)猿引は猿の小袖をきぬた哉……(蕉後二九一)
サルミ(集成)「猿蓑にもれたる霜の」の連句……(芭蕉三九八)
(續猿)「猿蓑にもれたる霜の」の連句……(蕉前五七八)
サレバ(類聚)さればこそあれたきまゝの霜の宿……(芭蕉 八一)
(曠野)さればこそあれたきまゝの霜の宿……(蕉前一七八)

シ

（寂栞）霜寒き旅寐に蚊屋を」の連句……（中話三四六）
シモツ（集成）「霜月や鸛のイ〳〵」の連句……（芭蕉二一六）
（冬日）「霜月や鸛のイ〳〵」の連句……（蕉前　七九）
シモニ（集成）「霜に今行や北斗の」の連句……（芭蕉二八六）
シモノ（類聚）霜の後撫子さける火桶かな……（芭蕉　八六）
（勸進）霜の後撫子さける火桶哉……（蕉前二八〇）
（小文）霜の後なでしこ咲る火桶かな……（蕉後二六四）
（隨齋）霜の後なでしこ咲る火桶かな……（近話一九七）
（はた）霜の後なでし子咲る火桶かな……（近名五五七）
シヤウ（類聚）正月も美濃と近江や閏月……（芭蕉　三）
（類聚）鎖あけて月さし入よ浮み堂……（芭蕉　六四）
（文集）鎖あけて月さし入ようき御堂……（芭蕉六三三）
（笈日）鎖あけて月さし入よ浮み堂……（蕉後　二〇）
（小文）鎖明けて月さし入れよ浮御堂……（蕉後二八三）
シヨウ（類聚）少將の尼のはたしや志賀の雪……（芭蕉　八三）
（文集）少將の尼のはなしや志賀の雪……（芭蕉六四八）
シラウ（類聚）白魚に價あるこそ恨なれ……（芭蕉　一一）
（類聚）白魚や黒き目を明ク法の網……（芭蕉　一三）
（宇陀）白魚や黒き目を明く法の網……（蕉話一三三）
（韻塞）白魚や黒き目を明ク法の網……（蕉後五三二）

シラガ（類聚）白髮ぬく枕の下やきり〴〵す……（芭蕉　五六）
（集成）「白髮ぬく枕の下や」の連句……（芭蕉四三七）
（江鮭）「白髮ぬく枕の下や」の連句……（蕉續　三）
シラギ（集成）「しら菊に高き鷄頭」の連句……（芭蕉四二九）
（類聚）白菊の目にたてゝ見る塵もなし……（芭蕉　七〇）
（笈日）白菊の目にたてゝ見る塵もなし……（蕉後　一一）
（旅寐）白菊の目に立て見る塵もなし……（蕉話三三七）
（去來）しら菊の目に立て見る塵もなし……（蕉話二四五）
（寄根）白菊や目にたてゝ見る塵もたし……（蕉話四七二）
（俳袋）しらぎくの目にたてゝ見るちりもたし（中話二七四）
（翁反）白菊の目にたてゝ見る塵もたし……（逸話二五五）
（集成）「白菊の目に立て見る」の連句……芭蕉四〇四）
（翁反）「白菊の目にたてゝ見る」の連句……（逸話二五二）
シラケ（類聚）白芥子や時雨の花の咲つらん……（芭蕉　二六）
（はた）白けしやしぐれの花の咲つらん……（近名五五六）
（類聚）白けしに羽もぐ蝶のかた見哉……（芭蕉　二六）
（甲子）白けしにはねもぐ蝶の形見哉……（芭蕉五六七）
（曠栗）白けしに羽もぐ蝶のかた見哉……（蕉前一四九）
シラズ（類聚）白炭や彼うら島が老のはて……（芭蕉　八六）
シラツ（類聚）白露のさびしき味をわするゝな……（芭蕉　五〇）

(世說)白露のさびしき味を忘るゝな……(逸話 四三)
(類聚)白露もこぼさぬ萩のうねりかな……(芭蕉 五四)
(書翰)しら露もこぼさぬ萩のうねり哉……(芭蕉六七八)
(書翰)白露もこぼさぬ萩のうねり哉……(芭蕉六九八)
(小文)しら露もこぼさぬ萩のうねり哉……(蕉後二八二)
(杉風)白露もこぼれぬ萩のうねり哉……(元祿三五三)
(類柑)白露もこぼさぬ萩のうねり哉……(元祿五一六)
(寂栞)白露もこぼさぬ萩のうねりかな……(中話三三九)

シルベ(集成)「しるべして見せばやみのの」の連句(芭蕉四六九)
(笈日)「しるべして見せばや美濃の」の連句(蕉後 三〇)
(寂栞)「しるべしてみせばや美濃の」の連句(中話三四七)

シロア(類聚)城あとや古井の淸水先問む……(芭蕉 四一)
(笈日)城あとや古井の淸水先問む……(蕉後 三三)

シロガ(集成)「しろがねに蛤をめせ」の連句……(芭蕉四三二)
(句餞)「しろがねに蛤をめせ」の連句……(蕉前 九六)

シンム(集成)「新麥はわざとすゝめぬ」の連句……(芭蕉三七三)
(小文)「新麥はわざとすゝめぬ」の連句……(蕉後二七九)

シンワ(類聚)新藁の出そめて早き時雨かな……(芭蕉 七五)

ス

スキガ(類聚)水學も乘物かさん天の川……(芭蕉 四八)

スキセ(集成)「水仙は見るまを春に」の連句……(芭蕉三一四)
(類聚)水仙や白き障子のとも移り……(芭蕉 八〇)
(笈日)水仙や白き障子のとも移り……(蕉後 三七)
(集成)「水仙やしろき障子の」の連句……(芭蕉四三九)

スクミ(類聚)すくみ行や馬上に氷る影法師……(芭蕉 八四)
(笈日)すくみ行や馬上に氷る影法師……(蕉後 三九)

スズシ(類聚)すゞしさを繪にうつし晁嵯峨の竹……(芭蕉 四〇)
(世美)涼しさを繪にうつしけり嵯峨の竹……(近名三一四)
(書翰)涼しさを飛彈の工がさしづかな……(芭蕉七一〇)
(陸奥)涼しさを飛彈のたくみが指圖哉……(蕉後三一八)
(類聚)すゞしさを我宿にしてねまる也……(芭蕉 三九)
(奥細)涼しさを我宿にしてねまる也……(芭蕉五九五)
(菊香)すゞしさを我宿にしてねまるなり……(蕉後三三七)
(類柑)涼しさを我宿にしてねまる也……(元祿五一一)
(嵐亭)涼しさを我宿にしてねまる也……(近話二四四)
(集成)「すゞしさを我やどにして」の連句……(芭蕉二七〇)

セ

ソ

タ

チ

ツ

(集成)「月しろや膝に手を置」の連句……(芭蕉四七八)
ツキス(類聚)月澄や狐こはがる兒の供……(芭蕉六五)
(其便)月澄や狐こはがる兒の供……(蕉 五七〇)
ツキゾ(類聚)月ぞしるべこなたへいらせ月の宿……(芭蕉六一)
ツキニ(類聚)月に名を包みかねてやいもの神……(芭蕉六三)
ツキノ(類聚)月の鏡小春にみるや目正月……(芭蕉七三)
(類聚)月のみか雨に相撲もなかりけり……(芭蕉六三)
ツキハ(笈小)月はあれど留守のやう也須磨の夏……(芭蕉五七七)
(集成)「月花を雨の袂の」の連句……(芭蕉四七二)
(いつ)「月花を雨の袂の」の連句……(蕉前三一九)
(類聚)月花の愚に針たてん寒の人……(芭蕉八八)
(小文)月花の愚に針立む寒の入……(蕉後二六五)
(韻塞)月花の愚に針たてむ寒の入……(蕉後五四六)
(類聚)月花の是やまことの主達……(芭蕉九三)
(文集)月花のこれや實のあるじ達……(芭蕉六四九)
(笈日)月花の是やまことの主達……(蕉後三八)
(枇杷)月花のこれや實のあるじ達……(近話一三一)
(類聚)月花もなくて酒のむひとり哉……(芭蕉三三)
(曠野)月花もなくて酒のむひとり哉……(蕉前一五四)
(嵐亭)月花もなくて酒のむひとりかな……(近話三三四)

(類聚)月はやし梢は雨を持ながら……(芭蕉六二)
(鹿嶋)月はやしこずゑはあめを持ながら……(芭蕉五七〇)
(本朝)月はやし梢は雨を持ながら……(蕉話五五六)
(連選)月はやし梢は雨をもちながら……(一茶一四)
ツキマ(類聚)月まちや梅かたげ行小山伏……(芭蕉九)
ツキミ(類聚)月見する座にうつくしき顏もなし……(芭蕉六一)
(書翰)月見する坐に美しき顔もなし……(芭蕉六九六)
(卯辰)月見する座にうつくしき顔もなし……(蕉續三六)
(集成)「月見する座にうつくしき」の連句……(芭蕉三〇四)
(類聚)月見せよ玉江の芦を刈ぬ先……(芭蕉六一)
ツキユ(類聚)月雪とのさばりけらしとしの昏……(芭蕉九一)
(續虚)月雪とのさばりけらしとしの昏……(蕉前七三)
(燕突)月雪とのさばりけらし年の暮……(蕉話一〇一)
ツキヤ(類聚)月やその鉢の木の日のした面……(芭蕉六四)
(集成)「月やその鉢の木の日の」の連句……(芭蕉四八三)
ツクカ(類聚)撞鐘もひゞくやうなり蟬の聲……(芭蕉四三)
(笈日)撞鐘もひゞくやうなり蟬の聲……(蕉後三一)
ツクツ(集成)「つくづくと榎の花の」の連句……(芭續二三一)
ツクリ(類聚)つくり木の庭をいさめる時雨かな……(芭續七五)
ツタウ(類聚)蔦植て竹四五本のあらし哉……(芭蕉五五)

テ

(笈日)蝶の飛ばかり野中の日かげ哉……(蕉後 三九)
(類聚)てふの羽の幾度越る塀のやね……(芭蕉 一五)
テフモ(類聚)蝶も來て酢を吸ふ菊のすあへ哉……(芭蕉 六九)
(篇突)蝶も來て酢を吸ふ菊のすあへ哉……(蕉話一〇五)
テラニ(類聚)寺にねて誠がほなる月見哉……(芭蕉 六〇)
(鹿嶋)てらにねてまこと顏なる月見哉……(芭蕉五七〇)
(續虛)寺にねて誠がほなる月見哉……(蕉前 六三)
テンビ(類聚)天秤や京江戸かけて千代の春……(芭蕉 四)
(當世)天秤や京江戸かけて千代の春……(談林 八八)

ト

トウガ(類聚)冬瓜やたがひにかはる顏の形……(芭蕉 五六)
トギナ(類聚)磨直す鏡も淸し雪の花……(芭蕉 八二)
(笈小)磨なをす鏡も淸し雪の花……(芭蕉五七四)
(笈日)とぎ直す鏡も淸し雪の花……(蕉後 三八)
(三册)とぎ直す鏡も淸し雪の花……(蕉話一六七)
(集成)「磨直す鏡も淸し」の連句……(芭蕉二三六)
トキハ(集成)「時は秋吉野をこめし」の連句……(芭蕉二三〇)
(句餞)「時は今吉野をこめし」の連句……(蕉前 九五)
トコニ(類聚)床に來て鼾に入やきりぎりす……(芭蕉 五六)
(梟日)床に來て鼾に入るやきりぎりす……(蕉後 八六)
(寂栞)床に來て鼾に入るやきりぎりす……(中話三四三)
ドコマ(集成)「どこまでも武藏野の月」の連句……(芭蕉四七〇)
トシク(集成)年くれぬ笠着て草鞋はきながら……(芭蕉 九一)
(甲子)年暮ぬ笠きて草鞋はきながら……(芭蕉五六六)
(蕨刈)年くれぬ笠着て草鞋はきながら……(近名三七五)
(寂栞)年の暮笠着て草鞋はきながら……(中話三三七)
トシタ(集成)「年たつや家中の禮は」の連句……(芭蕉四八四)
トシド(類聚)年々やさくらを肥す花の塵……(芭蕉 一七)
(類聚)年々や猿に着たる猿の面……(芭蕉 三)
(書翰)年々や猿に着せたる猿の面……(芭蕉七〇三)
(小文)年々や猿にきせたる猿の面……(蕉後二六九)
(猿舞)年々や猿に着せたる猿の面……(蕉後二九七)
(陸奥)年々や猿にきせたる猿の面……(蕉後三一六)
(廿五)年々や猿にきせたる猿の面……(蕉話 四七)
(三册)としどしや猿にきせたる猿の面……(蕉話一六九)
(花實)年々や猿に着せたる猿の面……(蕉話二〇〇)
(旅寐)としどしや猿に着せたる猿の面……(蕉話三三一)

ナ

ナタネ（集成）「菜種ほすむしろの端や」の連句……（芭蕉四八五）
（笈日）「菜種ほすむしろの端や」の連句……（蕉後　二一）
ナツカ（類聚）夏かけて名月あつきすゞみ哉……（芭蕉　五九）
（小文）夏かけて名月あつきすゞみ哉……（蕉後二八二）
（陸奥）夏かけて名月暑きすゞみ哉……（蕉後三一八）
ナツキ（類聚）なつ來てもたゞ一つ葉の一つ哉……（芭蕉　四二）
（曠野）なつ來てもたゞひとつ葉の一つ哉……（蕉前一六三）
（笈日）夏來てもたゞひとつ葉の一葉哉……（蕉後　三〇）
ナツク（類聚）夏草や兵どもが夢のあと……（芭蕉　四五）
（奥細）夏草や兵どもが夏の跡……（芭蕉五九四）
（文集）夏草や兵共が夢の跡……（芭蕉六五三）
（猿蓑）夏草や兵共がゆめの跡……（蕉前三八〇）
（本朝）夏草や兵どもがゆめのあと……（蕉話五八三）
（集成）「夏草よあづまぢまとへ」の連句……（芭蕉四六三）
（千鳥）「夏草よあづま路まとへ」の連句……（蕉前一一七）
ナツゴ（類聚）なつ衣いまだ虱を取つくさず……（芭蕉　四六）
（甲子）夏衣いまだ虱をとりつくさず……（芭蕉五六七）
（小文）なつ衣いまだ虱を取つくさず……（蕉後二七六）
（錢龍）夏衣いまだ虱をとりつくさず……（蕉後五一九）
（落葉）夏ごろもいまだ虱を取つくさず……（中話三〇九）

ナツチ（類聚）夏ちかしその口たばへ花の風……（芭蕉　二〇）
ナツト（類聚）納豆きる音しばしまて鉢扣……（芭蕉　八七）
（韻塞）納豆きる音しばしまて鉢扣……（蕉後五三一）
ナツノ（類聚）夏の月御油より出て赤坂や……（芭蕉　四四）
（類聚）夏の夜や崩て明し冷し物……（芭蕉　四四）
（笈日）夏の夜や崩て明しひやし物……（蕉後　二〇）
（集成）「夏の夜や崩て明し」の連句……（蕉後三八八）
（續猿）「夏の夜や崩て明し」の連句……（蕉前五八〇）
（嵯峨）夏の夜や木魂に明る下駄の音……（芭蕉六〇六）
ナツハ（類聚）夏はあれど留守のやう也須磨の月……（芭蕉　四四）
（文集）夏はあれど留守のやう也須磨の月……（芭蕉六四六）
ナツヤ（類聚）夏山に足駄を拜む首途哉……（芭蕉　四四）
（奥細）夏山に足駄を拜む首途哉……（芭蕉五八八）
（類聚）なつ山や紙すく里は飯時分……（芭蕉　四五）
（類聚）夏山や杉に夕日の一里鐘……（芭蕉　四五）
ナデシ（類聚）なでしこにかゝるなみだや楠の露……（芭蕉　三五）
（小文）なでしこにかゝるなみだや楠の露……（蕉後二七六）
ナナカ（類聚）七株の萩の手本や星の秋……（芭蕉　四八）
（韻塞）七株の萩の手本や星の栜……（芭蕉五四〇）
ナニク（類聚）なに喰て小家は秋の柳陰……（芭蕉　七三）

ニ

ヌ

ネ

ノ

ヒ

(陸奥)一露もこぼさぬ菊の氷哉……………(蕉後三一九)

ヒトト(類聚)一とせに一度つまるゝなづな哉……(芭蕉　六)

(三冊)一とせに一度つまるゝ若菜哉………(蕉話一七〇)

(集成)「一泊り見かはる萩の」の連句………(芭蕉二八三)

ヒトニ(類聚)人に家をかはせて我は年忘…………(芭蕉　九〇)

(書翰)人に家をかはせて我はとし忘れ……(芭蕉六九一)

(勸進)人に家をかはせて我はとし忘れ……(蕉前二八八)

(猿蓑)人に家をかはせて我は年忘…………(蕉前三七八)

(寂栞)人に家を買せて我は年忘れ…………(中話三七二)

(古學)人に家を買せて我はとし忘…………(近話二五九)

ヒトノ(書翰)人の氣や花に乘行さくら川…………(芭蕉六八〇)

ヒトビ(類聚)人々をしぐれよ宿は寒くとも………(芭蕉　七五)

ヒトモ(類聚)人も見ぬ春や鏡のうらの梅…………(芭蕉　一〇)

(己光)人も見ぬ春や鏡のうらの梅…………(蕉前四二九)

(續猿)人もみぬ春や鏡のうらの梅…………(蕉前五八六)

(陸奥)人も見ぬ春や鏡のうらの梅…………(蕉後三一六)

(俳袋)人もみぬはるや鏡のうらのむめ……(中話二一〇)

ヒトリ(類聚)ひとり尼わら家すげなし白つゝじ…(芭蕉　二三)

ヒノキ(集成)「檜笠雪を命の」の連句……………(芭蕉四五八)

ヒナナ(集成)「雛ならで名乘をなのる」の連句……(芭蕉四八四)

ヒノハ(集成)「日の春をさすがに鶴の」の連句……(芭蕉一九一)

(初懐)「日の春をさすがに鶴の」の連句……(芭蕉五四〇)

(落葉)「日の春をさすがに鶴の」の連句……(中話二九八)

ヒノミ(類聚)日の道や葵傾くさ月あめ……………(芭蕉　三三)

(猿蓑)日の道や葵傾くさ月あめ……………(蕉前三八一)

ビハカ(類聚)琵琶行の夜や三味線の音霰…………(芭蕉　八五)

ヒハハ(笈小)日は花に暮てさびしやあすならふ…(芭蕉五七六)

ヒバリ(類聚)ひばり鳴く中の拍子や雉子の聲……(芭蕉　一四)

(猿蓑)ひばりなく中の拍子や雉子の聲……(蕉前三八九)

(陸奥)雲雀鳴中の拍子や雉子の聲…………(蕉後三一六)

(三冊)雲雀鳴中の拍子や雉子の聲…………(蕉話一六八)

(類聚)雲雀より上にやすらふ峠かな………(芭蕉　一三)

(笈小)雲雀より空にやすらふ峠哉…………(蕉前五七六)

(曠野)雲雀より上にやすらふ峠かな………(蕉前一七六)

(小文)雲雀より上にやすらふ峠かな………(蕉後二七一)

(卯辰)雲雀より上に休らふ峠かな…………(蕉續　二五)

ビヤウ(笈日)淵〳〵と尻ならべたる田植哉………(蕉後　二〇)

ヒヤク(類聚)百景や杉の木の間のいろみ草………(芭蕉　七〇)

(集成)「百景や杉の木間の」の連句…………(芭蕉四八五)

(類聚)百里來たりほどは雲井の下凉み……(芭蕉　三八)

ヘ

ホ

マ

ミ

モ

ヤ

ユ

ヨ

ラ

リ

蕪村俳諧全句索引

ア

蕪村　イ

ウ

ウグヒ

(續明)憂我にきぬたうて今は又止ミネ……(中名三四九)
(類聚)鶯を雀歟と見しそれも春…………(蕪村 一九)
(書翰)うぐひすを雀かと見し夫も春………(蕪村 三三)
(類聚)鶯に終日遠し畑の人………………(蕪村 二〇)
(類聚)鶯のあちこちとするや小家がち……(蕪村 二〇)
(續明)鶯のあちこちとするや小家がち……(中名三三一)
(類聚)鶯の逢ふて戻るや冬の梅…………(蕪村一五四)
(類聚)うぐひすの枝ふみはづす初音哉…(蕪村 一九)
(類聚)鶯の聲遠き日も暮にけり…………(蕪村 二〇)
(類聚)うぐひすの枝末を摑む力哉………(蕪村 二〇)
(書翰)うぐひすの枝末を摑む力哉………(蕪村 一五)
(類聚)鶯の麁相がましき初音かな………(蕪村 一九)
(類聚)鶯の竹に來そめてしぐれかな……(蕪村一三九)
(類聚)鶯の適〳〵啼や花の山……………(蕪村 三五)
(類聚)うぐひすの啼やあち向こちら向……(蕪村 二一)
(類聚)うぐひすの鳴やうどのゝ河柳……(蕪村 二〇)
(類聚)うぐひすの啼や師走の羅生門……(蕪村一三三)
(文集)うぐひすの啼や師走の羅生門：|…(蕪村 三三)
(句解)黄鳥の啼や師走の羅生門…………(蕪村二一八)
(類聚)うぐひすの鳴やちいさき口明て……(蕪村 二〇)
(類聚)鶯の日枝をうしろに高音哉………(蕪村 一九)
(書翰)鶯や比叡をうしろに高音哉………(蕪村 一四)
(類聚)鶯の二聲はたく枯木かな…………(蕪村 一九)
(類聚)うぐひすの二聲耳のほとり哉……(蕪村 二〇)
(類聚)うぐひずのわするゝばかり引音哉…(蕪村 二一)
(書翰)うぐひすのわするゝばかり引音哉…(蕪村 六七)
(類聚)うぐひすはやよ宗任が初音哉……(蕪村 二一)
(類聚)うぐひすや茨くゞりて高う飛……(蕪村 二〇)
(書翰)うぐひすや茨くゞりて高う飛……(蕪村 六七)
(連選)「うぐひすや茨くゞりて」の連句……(蕪村 九二)
(類聚)鶯や梅ふみこぼすのり盥…………(蕪村 二一)
(連選)「うぐひすや笠に脚件の」の連句……(蕪村 一六)
(類聚)うぐひすや笠縫の里の里はづれ……(蕪村 二一)
(類聚)鶯やかしこ過たる軒のむめ………(蕪村 一九)
(類聚)うぐひすや柏峠をはなれかね……(蕪村 二一)
(類聚)うぐひすや家内揃ふて飯時分……(蕪村 二〇)
(類聚)鶯や堤を下りて竹の中…………(蕪村 二一)
(類聚)うぐひすや何ごそつかす藪の霜……(蕪村一四七)
(類聚)鶯や野中の墓の竹百竿……………(蕪村 二一)

ウゴク(類聚)動く葉もなくておそろし夏木立……(蕪村 七三)

蕪村 ウ

エ・ヱ

オ・ヲ

カ

(類聚)諫子鳥櫻の枝も踏んでゐる………(蕪村　六四)
(類聚)閑古鳥寺見ゆ麥林寺とやいふ………(蕪村　六五)
(類聚)かんこ鳥は賢にして賤し寒苦鳥……(蕪村一四六)
(句解)閑古鳥は賢にしていやし寒苦鳥……(蕪村二一八)
(類聚)閑こ鳥招けども來ず柊には………(蕪村　六五)

カンザ(類聚)寒山に木を伐て乾鮭を烹る………(蕪村一五一)
(書翰)寒山に木を伐て乾鮭を烹る………(蕪村　七〇)

カンタ(類聚)邯鄲の市に鰒見る雪の朝………(蕪村一三三)

カンナ(類聚)巫女に狐戀する夜さむ哉………(蕪村　八三)

カンバ(類聚)寒梅を手折ひゞきや老が肘………(蕪村一五四)
(類聚)寒梅やうめの花とは見つれども……(蕪村一五四)
(類聚)寒梅や熊野の温泉の長がもと………(蕪村一五四)
(類聚)寒梅や火の迸る鐵より………(蕪村一五四)

カンピ(類聚)看病の耳に更行躍かな………(蕪村　九八)

キ

キウノ(類聚)灸のない背中流すや夏はらひ………(蕪村　四九)

ギヲン(類聚)ぎをん會や僧の訪よる梶が許………(蕪村　四九)
(句解)祇園會や僧の訪寄る梶が許………(蕪村二一四)
(書翰)祇園會や木瓜花咲く處まで………(蕪村　二八)
(類聚)祇園會や眞葛原の風かをる………(蕪村　四九)

キキヘ(類聚)聽へらすむかしながらの千鳥哉……(蕪村一四八)

キクケ(類聚)きく川に公家衆泊らけり天の河……(蕪村　九五)

キグス(類聚 木藥の偖流るゝ御祓川………(蕪村　四九)

キクツ(類聚)菊作り汝は菊の奴かな………(蕪村一一三)
(書翰)菊つくり汝は菊の奴哉………(蕪村　三三)

キクノ(類聚)菊の露受て硯の命哉………(蕪村一一三)

キクハ(類聚)菊は黄に雨疎かに落葉かな………(蕪村一五三)

キジウ(類聚)雉打て歸る家路の日は高し………(蕪村　三三)
(五車)雉打て歸る家路の日は高し………(中名三七一)

キジナ(類聚)きじ鳴や草の武藏の八平氏………(蕪村　三三)
(類聚)雉鳴やこゝいなのめの朝日山………(蕪村　三三)
(類聚)きじ啼や御里御坊の苣畠………(蕪村　三三)
(類聚)きじ鳴や坂を下りの驛舍………(蕪村　三三)
(書翰)雉子啼や坂をくだりのたびやどり…(蕪村　一五)

キシネ(類聚)岸根行帆はおそろしきわかば哉……(蕪村　七〇)

キソヂ(類聚)木曾路行ていざとしよらん秋ひとり(蕪村　八七)
(五車)木曾路行ていざとしよらん秋ひとり(中名三八一)

キミミ（類聚）君見よや拾遺の茸の露五本……（蕪村二一八）
（文集）君見よや拾遺の茸の露五本……（蕪村二九）
キミユ（類聚）君ゆくや柳みどりに道長し……（蕪村二九）
キヤウ（類聚）卿君の[illegible]起や暮のあめ……（蕪村八〇）
（類聚）狂居士の首にかけたか鞨鼓鳥……（蕪村六四）
（寫經）狂居士の首にかけたか鞨鼓鳥……（中名三六二）
（類聚）兄弟のさつお中よきほぐしかな……（蕪村六二）
（新花）兄弟のさつお中よきほぐしかな……（蕪村三二）
ギヤカ（類聚）祇や鑑や花に香炷ん草むしろ……（蕪村三三）
（類聚）祇や鑑や髭に落花を捻りけり……（蕪村三二）
（五車）祇也鑑や髭に落花を捻けり……（中名三七三）
ギヤク（類聚）客僧の狸寢入やくすり喰……（蕪村一四二）
（類聚）客僧の二階下り來る野分哉……（蕪村九六）
キヤマ（類聚）木屋町の旅人とはん雪の朝……（蕪村一三三）
キヤラ（類聚）伽羅臭き人のかり寐や朧月……（蕪村一三）
キヨウ（類聚）興盡た雪にもこりず月の友……（蕪村九一）
ギヨカ（類聚）漁家寒し酒に頭の雪を燒……（蕪村一三三）
ギヨキ（類聚）御忌のかね時なき京のうねり哉……（蕪村一六）
（類聚）御忌の鐘ひゞくや谷の氷迄……（蕪村一六）
（連選）「御忌の鐘ひゞくや谷の」の連句……（蕪村七〇）

キヨク（連選）「曲水や江家の作者」の連句……（蕪村一〇八）
（五車）「曲水や江家の作者」の連句……（中名三六七）
キヨス（類聚）淸輔は花にも俗を烏帽子哉……（蕪村三四）
キヨネ（類聚）去年より又淋しひぞ秋のくれ……（蕪村八四）
（書翰）去年より又寂しひぞ秋のくれ……（蕪村六）
（五車）去年より又淋しひぞ秋のくれ……（中名三八〇）
キヨラ（類聚）去來去り移竹うつりぬいく秋ぞ……（蕪村八七）
（句解）去來さり移竹うつりぬいく秌ぞ……（蕪村二一五）
キリギ（類聚）ぎり〴〵す自在をのぼる夜寒哉……（蕪村八三）
キリタ（類聚）伐たをす木は其儘の落葉哉……（蕪村一五二）
（反古）伐たをす木は其儘の落葉哉……（中名三一〇）
キリノ（類聚）桐の葉はおち盡すなるを木芙蓉……（蕪村二一）
キリハ（類聚）霧はれて高砂の町まのあたり……（蕪村九四）
キリヒ（類聚）桐火桶無絃の琴の撫ごゝろ……（蕪村一三七）
（書翰）桐火桶無絃の琴の撫ごゝろ……（蕪村九〇）
（雁風）桐火桶無絃の琴の撫ごゝろ……（近名一一三）
キリフ（類聚）霧ふかき廣野に千ゝの砧哉……（蕪村一〇三）
キリワ（類聚）蟻王宮朱門を閉く牡丹哉……（蕪村七三）
（新花）蟻王宮朱門を閉く牡丹哉……（蕪村三三）
ギンカ（類聚）銀閣に浪花の人や大文字……（蕪村九八）

ク

ケ

コ

サガヘ（類聚）嵯峨へ歸る人はいづこの花に暮し……（蕪村　三三）
サカバ（類聚）帘軒にとしふるしぐれ哉…………（蕪村一三〇）
サギヌ（類聚）鷺ぬれて鶴に日のさすしぐれ哉……（蕪村一三九）
サクベ（類聚）咲べくもおもはであるを石蕗花……（蕪村一五五）
サクラ（類聚）さくら狩美人の腹や減却す…………（蕪村　三一）
（句解）さくら狩美人の腹や減却す…………（蕪村二一三）
（類聚）櫻木の板もやかれて古暦…………（蕪村一四五）
（類聚）櫻さへもみぢしにけり鹿の聲……（蕪村一〇四）
（類聚）さくら散て刺ある草の見ゆる哉……（蕪村　三一）
（類聚）櫻ちる苗代水や星月夜…………（蕪村　一八）
（類聚）櫻なきもろこしかけてけふの月……（蕪村　九〇）
（書翰）さくらなきもろこしかけて今日の月（蕪村　四一）
（書翰）さくらなきもろこしかけてけふの月（蕪村　七三）
（書翰）櫻なきもろこしかけてけふの月……（蕪村一〇三）
（雁風）櫻なき唐土かけてけふの月…………（近名二一）
（類聚）櫻ひと木春に背けるけはひ哉………（蕪村　三〇）
（類聚）さくらより桃にしたしき小家哉……（蕪村　三〇）
（類聚）酒を煮る家の女房ちよとほれた……（蕪村　五九）
（新花）酒を煮る家の女房ちよとほれた……（蕪村　二一）
サケジ（類聚）酒十駄ゆりもて行や夏こだち………（蕪村四七二）

サケタ（類聚）裂けた蝋と見る蝶も交るいてう哉…（蕪村一一〇）
サザメ（類聚）さゞめごと頭巾にかづく羽折哉……（蕪村一三九）
（書翰）私語頭巾にかづく羽織哉…………（蕪村　三一）
ササン（類聚）山茶花の木間見せけり後の月………（蕪村　九一）
サシシ（類聚）さし汐に雨の細江のほたる哉………（蕪村　六八）
サシヌ（類聚）さしぬきを足でぬぐ夜や朧月………（蕪村　一三）
サトス（類聚）里過て古江に鶯を見付たり…………（蕪村一四六）
サトビ（類聚）里人はさともおもはじをみなへし…（蕪村一二三）
（類聚）里人よ八橋つくれ春の水…………（蕪村　九）
サヽフ（類聚）里ふりて江の鳥白し冬木立…………（蕪村一五二）
（書翰）里ふりて江の鳥白し冬木立…………（蕪村　三〇）
サネカ（類聚）實方の長櫃通るなつ野かな…………（蕪村　四四）
サネモ（類聚）實盛が紙子は夜のにしきかな………（蕪村一四〇）
サビシ（類聚）さびしさに花咲ぬめり山櫻…………（蕪村　三二）
（類聚）さびしさの嬉敷もあり秋のくれ……（蕪村　八五）
（類聚）淋し身に杖わすれたり秋の暮………（蕪村　八四）
（書翰）淋し身の杖わすれたり秋のくれ……（蕪村　二五）
サホガ（類聚）佐保川に鴨の毛捨るゆうべ哉………（蕪村一四六）
サミダ（類聚）さみだれに見えずなりぬる徑哉……（蕪村　四五）
（新花）さみだれに見えずなりぬる徑哉……（蕪村　一三）

シ

シンデ（類聚）新田に國常立の案山子かな……………（蕪村 九九）

シンヒ（類聚）晋人の尻べた見えつ簟……………（蕪村 五四）

シンマ（類聚）新米に假居の君のもどりかな………（蕪村 一一七）

（類聚）新米の坂田は早しもがみ河………（蕪村 一一七）

（類聚）新米にまだ草の實の匂ひ哉………（蕪村 一一七）

ス

スヱフ（類聚）居風呂に後夜きく花のもどりかな…（蕪村 三二）

（類聚）居風呂に棒の師匠や春のくれ……（蕪村 七）

スガメ（類聚）眇なる醫師わびしき頭巾哉………（蕪村 一三九）

（書翰）眇なる醫師わびしき頭巾哉………（蕪村 三一）

スシオ（類聚）鮓おしてしばし淋しきこゝろかな…（蕪村 六〇）

（新花）鮓壓してしばし淋しきこゝろかな…（蕪村 二一）

スシヲ（類聚）すし桶を洗へば淺き游魚かな……（蕪村 六〇）

（新花）すし桶を洗へば淺き游魚かな……（蕪村 二一）

（類聚）鮓をおす石上に詩を題すべく……（蕪村 六〇）

（新花）鮓をおす石山に詩を題すべく…（蕪村 二一）

（類聚）鮓を壓す我酒醸す隣あり………（蕪村 六〇）

（類聚）鮓桶をこれへと樹下に床几哉……（蕪村 六一）

スシツ（類聚）鮓漬て誰待としもなき身哉……（蕪村 六〇）

（類聚）鮓つけてやがて去たる魚屋かな……（蕪村 六〇）

（新花）鮓つけてやがて去たる魚屋かな…（蕪村 二一）

スシノ（類聚）鮓の石に五更の鐘のひゞきかな……（蕪村 六〇）

（新花）鮓の石に五更の鐘のひゞきかな……（蕪村 二一）

ススキ（類聚）薄枯てまねかずとても歸花……（蕪村 一五四）

（類聚）鱸得てうしろめたさよ浪の月……（蕪村 一〇七）

（類聚）薄見つ萩やなからん此邊り……（蕪村 一一三）

（連選）「薄見つ萩やなからん」の連句…（蕪村 四二）

スズシ（類聚）すゞしさをあつめて四つの山おろし（蕪村 四三）

（類聚）涼しさに麥を月夜の卯兵衛哉……（蕪村 四三）

（文集）涼しさに麥を月夜の卯兵衛哉……（蕪村 三五）

（類聚）涼しさや鐘をはなるゝかねの聲……（蕪村 四三）

（書翰）涼しさや鐘を離るゝ鐘の聲……（蕪村 一〇）

（御柱）涼しさや鐘をはなるゝかねの聲……（蕪村 三六三）

（類聚）すゞしさや都を竪にながれ川……（蕪村 四三）

スズミ（類聚）涼舟舳にたち盡す列子哉……（蕪村 五五）

ススハ（類聚）すゝ拂や塵に交る夜のとの……（蕪村 一四五）

（類聚）煤掃や調度すくなき人は誰……（蕪村 一四四）

セ

ソ

タ

チ

テ

（類聚）とし守夜老は尊く見られけり……（蕪村一四五）
（續明）とし守夜老は尊く見られけり……（中名三五四）
ドツコ（類聚）獨鈷鎌首水かけ論のかはづかな……（蕪村　二三）
（句解）獨鈷鎌首水かけ論のかはづかな　……（蕪村二三）
トニイ（類聚）戸に犬の寐がへる音や冬籠……（蕪村一三五）
（其雪）戸に犬の寐がへる音や冬籠　……（中名三一〇）
トノバ（類聚）殿原のいづち急ぞ草のつゆ……（蕪村　九四）
（類聚）殿原の名護屋皃なる鵜河かな……（蕪村　六二）
（新花）殿原の名護屋皃なる鵜河かな……（蕪村　二〇）
（類聚）殿原は細工めさるや夕すゞみ……（蕪村　五五）
トノモ（類聚）殿守のそこらをゆくや夏の月……（蕪村　四八）
トバデ（類聚）鳥羽殿へ五六騎いそぐ野分かな……（蕪村　九六）
トビイ（類聚）飛石も三ッ四ッ蓮のうき葉哉……（蕪村　七七）
（類聚）飛入の力者あやしき角力かな……（蕪村一〇三）
トビウ（類聚）飛魚となる子育るつばめ哉……（蕪村　三一）
トビカ（類聚）飛かはすやたけ心や親すゞめ……（蕪村　三一）
トビツ（類聚）飛盡す鳥ひとつゞゝ秋の暮……（蕪村　八五）
トビノ（類聚）飛のりの戻り飛脚や雲の峰……（蕪村　四七）
トヒヨ（類聚）訪ひよりし角力うれしき端居哉……（蕪村一〇四）
トホア（類聚）遠淺に兵舟や夏の月……（蕪村　四八）
（五車）遠淺に兵舟や夏の月……（中名三七五）
トホカ（類聚）十日まり日和つゞきて古暦……（蕪村一四五）
トマリ（類聚）泊りがけの伯母もむれつゝ田植かな（蕪村　五八）
（新花）泊りがけの伯母もむれつゝ田うへ哉（蕪村　二三）
（類聚）泊る氣でひとり來ませり十三夜……（蕪村　九二）
トモシ（類聚）射干して囁く近江やわたかな……（蕪村　六二）
（新花）射干して囁く近江やわたかな……（蕪村　二三）
トラノ（類聚）虎の尾を踏つゝ裾にふとんかな……（蕪村一四一）
トリサ（類聚）鳥さしの西へ過けり秋の暮……（蕪村　八五）
（書翰）鳥さしの西へ過けり秋の暮……（蕪村　二五）
トリツ（類聚）鳥盡てかくるゝ弓か三日月……（蕪村　八八）
トリト（連還）「鳥遠く日に〳〵高し」の連句……（蕪村　二七）
トリナ（類聚）鳥鳴て水音くるゝあじろ哉……（蕪村一四二）
トリマ（類聚）鳥稀に水亦遠し蟬の聲……（蕪村　六八）
トロロ（類聚）とろゝ汲む音なしの瀧や夏木立……（蕪村　七二）
トンボ（類聚）とんぼうやいつまでたゝぬ玉がしは（蕪村一〇九）
（類聚）とんぼうや村なつかしき壁の色……（蕪村一〇八）

ナ

ナニク(類聚)なに喰てゐるかも知らずかんこ鳥……(蕪村 六五)
ナニハ(類聚)難波女や京を寒がる御忌詣……(蕪村 一六)
(其雪)なには女や京を寒がる御忌詣……(蕪村三〇二)
ナノハ(類聚)菜の花に僧の脚半の下りけり……(蕪村 三八)
(類聚)菜の花や油乏敷小家がち……(蕪村 三九)
(類聚)菜の花や鯨もよらず海暮ぬ……(蕪村 三八)
(句解)菜の花や鯨もよらず海くれぬ……(蕪村二二三)
(類聚)なのはなや笋見ゆる小風呂敷……(蕪村 三八)
(句解)なの花や竹の子みゆる小ぶろしき……(蕪村二一三)
(類聚)菜の花や月は東に日は西に……(蕪村 三八)
(句解)菜の花や月は東に日は西に……(蕪村二一三)
(手引)菜の花や月は東に日は西に……(蕪村四四七)
(連選)「菜の花や月は東に」の連句……(蕪村 五二)
(續明)「菜の花や月は東に」の連句……(蕪村三三六)
(類聚)たの花や遠山鳥の尾上まで……(蕪村 三九)
(類聚)なのはなや晝ひとしきり海の音……(蕪村 三九)
(類聚)なの花や法師が宿はとはで過し……(蕪村 三九)
(類聚)菜の花や摩耶を下れば日のくるゝ……(蕪村 三九)
(類聚)菜の花や皆出拂ひし矢走舟……(蕪村 三八)
ナノレ(類聚)〆乘〳〵雨しの原のほとゝぎす……(蕪村 六三)

ナハシ(類聚)苗代にうれしき鮒の行衞哉……(蕪村 一八)
(類聚)苗代の色紙に遊ぶかはづかな……(蕪村 二三)
(類聚)苗代や鞍馬の櫻散にけり……(蕪村 一七)
(明烏)苗代や鞍馬のさくらちりにけり……(中名三二一)
(句解)苗代や鞍馬のさくらちりにけり……(蕪村二一三)
(類聚)苗代や立ゆがめても伊勢の神……(蕪村 一八)
ナバタ(類聚)菜畠にきせる忘るゝ接木哉……(蕪村 一九)
(類聚)菜畠の霜夜は早し鹿の聲……(蕪村一〇五)
ナベカ(類聚)鍋釜もゆかしき宿やけさの露……(蕪村 九四)
ナベサ(類聚)鍋提て淀の小橋を雪の人……(蕪村一三二)
(新花)鍋提て淀の小橋を雪の人……(蕪村 二七)
ナベシ(類聚)鍋敷に山家集あり冬籠……(蕪村一三六)
ナホザ(類聚)等閑に香たく春の夕かな……(蕪村 七)
(書翰)等閑に香炷ク春の夕哉……(蕪村 一五)
ナマコ(類聚)海鼠にも鍼こゝろむる書生哉……(蕪村一五一)
ナマヅ(類聚)鱠得てもどる田植の男哉……(蕪村 五八)
(新花)鱠得てもどる田植の男哉……(蕪村 二三)
ナマメ(類聚)なまめきてざしある僧の頭巾哉……(蕪村一三九)
ナラシ(類聚)ならし來て我夜怜め鉢叩……(蕪村一四二)
ナラミ(類聚)なら道や當皈ばたけの花一木……(蕪村 三三)

ニ

ヌ

ヌギス（類聚）脱捨てひとふし見せよ竹の皮……（蕪村 七三）
ヌケガ（類聚）ぬけがけの淺瀨わたるや夏の月……（蕪村 四八）
ヌシシ（類聚）主しれぬ扇手にとる酒宴哉……（蕪村 五三）
ヌスビ（類聚）盗人の首領哥よむけふの月……（蕪村 九〇）
（書翰）盗人の首領歌よむけふの月……（蕪村 一〇〇）
（類聚）盗人の屋根に消行夜寒かな……（蕪村 八三）
ヌナハ（類聚）蓴生ふ池のみかさやはるの雨……（蕪村 一四）
（類聚）ぬなはとる小舟にうたはなかり鳧……（蕪村 七八）
（新花）ぬなはとる小舟にうたはなかり鳧……（蕪村 二一）
ヌフテ（類聚）縫ふて居る側に紙子を待身哉……（蕪村 四〇）

ネ

ネキア（類聚）葱洗ふ流もちかし井手の里……（蕪村 一五六）
ネキカ（類聚）葱買て枯木の中を歸りけり……（蕪村 四八）
ネグル（類聚）寐ぐるしき伏やを出れば夏の月……（蕪村 四八）
ネニカ（類聚）根に歸る花や吉野の蕎麥畠……（蕪村 一八）
ネハン（類聚）涅槃會や嘘を月夜と成に鳧……（蕪村 一七）
ネブタ（類聚）ねぶたさの春は御室の花よりぞ……（蕪村 三三）
ネボト（類聚）寐佛をきざみ仕舞ば春くれぬ……（蕪村 一〇）
ネリク（類聚）ねり供養まつり皃なる小家哉……（蕪村 五〇）
（新花）ねり供養まつり皃なる小家哉……（蕪村 二〇）
ネンコ（類聚）念比な飛脚過行深雪かな……（蕪村 一三三）

ノ

ノウレ（類聚）のうれんに東風吹いせの出店哉……（蕪村 一一）
ノキニ（類聚）軒に寢る人追聲や夜半の月……（蕪村 八六）
ノコキ（類聚）鋸の音貧しさよ夜半の冬……（蕪村 一三一）
ノチノ（類聚）野路の秋我後ロより人や來る……（蕪村 八六）
（類聚）後の月賢き人をとふ夜哉……（蕪村 九一）
（類聚）後の月鴫たつあとの水の中……（蕪村 九二）
ノトト（類聚）野とゝもに燒る地藏のしきみ哉……（蕪村 一八）
ノノイ（連選）「野の池や氷らぬかたに」の連句……（蕪村 八九）
ノノウ（類聚）野の馬の韮をはみ折る霜の朝……（蕪村 一三〇）
ノバカ（類聚）野ばかまの法師が旅や春のかぜ……（蕪村 一三）
ノベノ（類聚）野邊の梅白くも赤くもあらぬ哉……（蕪村 二五）
ノリア（類聚）のり合に渡唐の僧や冬の月……（蕪村 一三四）

ハ

ハナニ(類聚)花に去ぬ雁の足あとよめかぬる……(蕪村 二三)
(類聚)花に來て花に居眠るいとま哉……(蕪村 三一)
(類聚)花に來て鱠をつくる嫗哉　……(蕪村 三四)
(類聚)花にくれぬ我住む京に歸去來……(蕪村 三四)
(類聚)花に暮て我家遠き野道かな……(蕪村 三三)
(類聚)花に遠く櫻に近しよしの川　……(蕪村 三〇)
(書翰)花に遠くさくらにちかしよし野河…(蕪村 四二)
(書翰)花に遠くさくらに近しよしの川……(蕪村 八九)
(句解)花に遠くさくらに近し吉野河…(蕪村二二三)
(新雜)花に遠く櫻にちかしよし野川　……(中話四一六)
(類聚)花に啼聲としもなき燕哉……(蕪村 三二)
(連選)「花にぬれて見どころ得たり」の連句(蕪村 七二)
(類聚)花に表太雪に君あり鉢叩……(蕪村一四三)
(句解)花に表太雪に君あり鉢たゝき……(蕪村二一八)
(類聚)花に舞はで歸さにくし白拍子……(蕪村 三三)

ハナノ(類聚)花の御能過て夜を泣ク浪花人……(蕪村 三三)
(類聚)花の香や嵯峨のともしび消る時　…(蕪村 三二)
(類聚)花の雲五色の雲のうはがさね　……(蕪村 三五)
(類聚)芳の雲三たびかさねて雲の峯……(蕪村 四八)
(文集)花の雲三重にかさねて雲の峯……(蕪村 一五)
(連選)「花の雲三たびかさねて」の連句……(蕪村 五八)
(類聚)花の幕兼好を覗く女あり……(蕪村 三六)
(類聚)花の春誰ソやさくらの春と秋……(蕪村 三)
(雁風)花の春誰ソやさくらの春と秋……(近名一〇三)
(連選)「花の春誰ソや櫻の」の連句……(蕪村 五〇)

ハナビ(類聚)花火せよ淀の御茶屋の夕月夜……(蕪村一〇四)
(句解)花火せよ淀の御茶屋の夕月夜……(蕪村二一五)
(類聚)花火見て湊がましき家百戸……(蕪村一〇四)
(連選)「花見たく楼の老を」の連句……(蕪村 八九)

ハナミ(類聚　花見戻丹波の鬼のすだく夜に……(蕪村 三八)

ハナモ(類聚)花紅葉終にしほ木の夕煙……(蕪村一一八)
(類聚)花守の身は弓矢なきかゞし哉……(蕪村 三五)
(續松)花守の身は弓矢なきかゝし哉……(中名四一八)
(類聚)花守は野守に劣るけふの月……(蕪村 九〇)

ハニツ(類聚)葉に蔓にいとはれ顔や種ふくべ……(蕪村一一八)

ハネイ(類聚)羽いろも鼠にそめつかんこどり……(蕪村 六五)

ハフネ(類聚)法然の珠數もかゝるや松の藤……(蕪村 三八)
(五車)法然の珠數もかゝるや松の藤……(中名三七二)

ハヘイ(類聚)蠅いとふ身を古鄕に晝寐かな……(蕪村 五五)

ハヘウ(類聚)蠅打て留守居ながらや病上り……(蕪村 六七)

(類聚)春雨や身にふる頭巾着たりけり……(蕪村 一四)
(類聚)春雨やもの書ぬ身のあはれなる……(蕪村 一五)
(類聚)春雨やものがたりゆく蓑と傘 ……(蕪村 一四)
(類聚)春雨やゆるい下駄借す奈良の宿……(蕪村 一四)

ハルス(類聚)春過てなつかぬ鳥や杜鵑……(蕪村 六三)
(書翰)春過てなつかぬ鳥や杜鵑……(蕪村 三三)

ハルノ(類聚)春の雨穴一のあなにたまりけり……(蕪村 一五)
(類聚)春の雨日暮むとしてけふも有……(蕪村 一四)
(類聚)春の梅終日のたり〳〵哉……(蕪村 九)
(書翰)春の海終日のたり〳〵かな……(蕪村 八八)
(其雪)春のうみ終日のたり〳〵かな……(中名三〇二)
(類聚)春の暮家路に遠き人斗……(蕪村 七)
(類聚)春のくれ筑紫の人とわかれけり……(蕪村 八)
(類聚)春の水にうたゝ鵜縄の稽古哉……(蕪村 九)
(類聚)春の水すみれつばなをぬらしゆく……(蕪村 九)
(類聚)春の水背戸に田作らんとぞ思ふ……(蕪村 九)
(類聚)春の水山なき國を流れけり……(蕪村 八)
(類聚)春の夕かの絹羽織きたりけり……(蕪村 七)
(類聚)春の夕たえなむとする香をつぐ……(蕪村 七)
(類聚)春の夜に尊き御所を守身かな……(蕪村 八)
(類聚)春の夜や狐の誘ふ上童……(蕪村 八)
(類聚)春の夜やたらいを捨る町はづれ……(蕪村 八)
(類聚)春の夜や宵あけぼのゝ其中に……(蕪村 八)
(明烏)春の夜や宵あけぼのゝ其中に……(中名三一九)
(連選)「春の夜や宵曙の一の連句……(蕪村 五一)

ハルモ(類聚)春もやゝあなうぐひすよむかし聲……(蕪村 二〇)

ハルヤ(類聚)春やむかし頭巾の下の鼎疵……(蕪村 一三九)

ハンコ(類聚)半江の斜日片雲の時雨かな……(蕪村 一三八)
(書翰)半江の斜日片雲の時雨哉……(蕪村 二七)

ハンニ(類聚)半日の閑を榎の木に蟬のあり……(蕪村 六八)
(類聚)般若讀む庄司が宿の若葉哉……(蕪村 七〇)
(新花)般若よむ庄司が宿の若葉哉……(蕪村 一九)

バンヤ(類聚)番屋ある村は更たりけふの月……(蕪村 九〇)

ヒ

ヒアタ(類聚)日あたりの草しをらしく枯にけり……(蕪村 一五六)

ビイド(類聚)硝子の魚おどろきぬけさの秋……(蕪村 八二)
(類聚)硝やこれも籟秋の風……(蕪村 九三)

フ

ヘ

ホ

マ

ミ

ム

メ

モ

ヤ

ユ

ヨ

ロ

ワ

一茶俳諧全句索引

ア

イ・ヰ

ウ

(選抄)梅が枝や欲にや希ぬ三ヶの月……(一茶 五三)
(選抄)梅が香よ湯の香よ外に三日の月……(一茶 五一)
ウメサ(選抄)梅咲けど鶯啼けどひとり哉……(一茶 四九)
(選抄)梅咲くやあはれことしももらひ餅……(一茶 五〇)
(選抄)梅咲くや現金酒の通帳……(一茶 五一)
(選抄)梅咲やしなの丶おくも草履道……(一茶 五二)
(選抄)梅咲くや地獄の釜も休日と……(一茶 五一)
(選抄)梅さくや地獄の門も休み札……(一茶 五二)
(選抄)梅さくや手垢に光るなで佛……(一茶 五三)
(選抄)梅咲や唐士の鳥の來ぬ先に……(一茶 五三)
(我春)梅さくや平親王の御月夜……(一茶 二七)
(選抄)梅咲くや見るかげもなき門に迄……(一茶 四九)
(選抄)梅さくや我にとりつく不性神……(一茶 五〇)
(選抄)梅さげし人しばしとやえびす講……(一茶三三五)
ウメチ(選抄)梅散れば取て仕舞ふやかざり井戸……(一茶 五二)
ウメニ(選抄)梅に月いやみからみはなかりげり……(一茶 五四)
ウメノ(選抄)梅の木に何か申て出替りぬ……(一茶 五〇)
(選抄)梅の木のある顔もせぬ山家哉……(一茶 五〇)
(選抄)梅の木の心しづかに青葉かな……(一茶一三〇)
(選抄)梅の木や御祓箱を負ながら……(一茶二一七)
(おら)梅の木や御祓箱を負ながら……(一茶一〇九)
(株番)梅の木や月がなくても其通り……(一茶 四九)
(寛政)梅の月一枚のこす雨戸哉……(一茶 五)
(選抄)梅の花娑を盗めとさす月か……(一茶 五二)
(おら)梅の花娑を盗めとさす月か……(一茶 八八)
(我春)梅の花雀がつんで仕廻けり……(一茶 三〇)
(選抄)梅の花見倒し買の手にかゝる……(一茶 四九)
ウメハ(選抄)梅ばちの大挑灯やかすみから……(一茶 二四)
ウメモ(選抄)梅守に舌切らるゝなむら雀……(一茶 四九)
ウラカ(選抄)浦風にお色の黒いひゝなかな……(一茶 二八)
(選抄)うら壁やしがみ付たる貧乏雪……(一茶二〇六)
(選抄)末枯も一番はやき庵哉……(一茶一三八)
(選抄)末枯や諸勸化入れぬ小制札……(一茶一三八)
ウラズ(選抄)うら住の二軒もやひの灯籠哉……(一茶一六〇)
(選抄)うら住や五尺の空も春のてふ……(一茶 四六)
ウラタ(選抄)うら店や青葉一鉢帋のぼり……(一茶 八三)
(選抄)うら店やつッぱり廻る梅の花……(一茶 五一)
ウラチ(選抄)浦千鳥だまって玉子とられけり……(一茶三三九)
ウラノ(選抄)うらの戸や腹へひゞきて凍割る……(一茶一九一)
ウラマ(選抄)うら町は犬の後架もはつ雪ぞ……(一茶二〇三)

エ

オ・ヲ

オトサ（選抄）おとされし巣をいく度見る鳥哉……（一茶四一）
（選抄）おどされて引返しけりうかれ猫……（一茶三二）
オトシ（選抄）落水魚も古郷へもどる哉……（一茶一五七）
（選抄）落し水鮓も瀧を上るなり……（一茶一五八）
（選抄）おとなしく雁よ鮓よくどこも旅……（一茶一六四）
（選抄）おとなしや蝶も淺黄の出立は……（一茶四七）
オトマ（選抄）乙松やことし祭の赤扇……（一茶九七）
（選抄）乙松や手を引れつゝ餅配……（一茶二二三）
オトラ（選抄）おとらじと峯拵へる小雲かな……（一茶八三）
オトリ（選抄）御取越飴でもちくふ夜なりけり……（一茶二三六）
ヲドリ（選抄）踊酵母そつくりくぞ……（一茶一五五）
ヲドル（選抄）をどる魚桶とおもふや思はぬや……（一茶八六）
（菁翰）踊る夜やさそひ出されし庵の笠……（一茶二四）
オトロ（選抄）おとろへの急に目につく團哉……（一茶九四）
（選抄）おとろへや花を折るにも口曲る……（一茶六三）
オナカ（選抄）御中間に猫も坐とるや年忘……（一茶二一七）
オナシ（株番）同じ世をへろく百足小ばん哉……（一茶五〇）
オナリ（選抄）御成風吹かせて雁の立にけり……（一茶一六五）
（選抄）御成場や人よけさせて雁の鳴く……（一茶一六五）
オニイ（選抄）鬼茨踏んばたがつて枯にけり……（一茶二三五）

オニノ（選抄）鬼の出た瀧揺出しておくら哉……（一茶二二六）
オニバ（選抄）鬼茨も添て見よく一涼み……（一茶七五）
（おらゝ）鬼茨も添て見よく一涼み……（一茶九七）
オニヨ（選抄）鬼除よ浪人よけよさし柊……（一茶二二六）
オネハ（選抄）御ねはんやとりわけ花の十五日……（一茶二七）
オノガ（選抄）おのが里仕廻てどこへ田植笠……（一茶八五）
（おらゝ）おのが里仕廻てどこへ田植笠……（一茶八九）
オノレ（選抄）おのれやれ今や五十の花の春……（一茶五）
（株番）おのれやれ今や五十の花の春……（一茶四三）
オハレ（選抄）追れく蚊の湧く艸を寢所哉……（一茶二一〇）
オヒケ（選抄）老けりな扇づかひの小せはしき……（一茶九三）
オヒタ（選抄）老たりな瓢と我が影法師……（一茶一八五）
（選抄）老たりた衾かぶろもどつこいな……（一茶二三三）
オヒト（選抄）追鳥や鳥より先につかれ寢る……（一茶二三九）
オヒヌ（花見）老ぬれば開とはなしに夜の鹿……（一茶一五）
（選抄）老ぬれば櫻も寒いばかり哉……（一茶五七）
（選抄）老ぬれば只蚊をやくを手柄哉……（一茶二一〇）
（選抄）老ぬれば日の永いにも泪かな……（一茶三）
オヒノ（選抄）老の手や蠅を打さへ逃げた跡……（一茶二一四）
（選抄）老の身やかゞしの前もはづかしき……（一茶一五七）

(選抄)がい骨の笛吹やうな枯野哉 ……(一茶一八九)

カイチ(選抄)開帳に逢ふや雀もおや子連 ……(一茶 四〇)

カイデ(選抄)嗅で見てよしにする也猫の戀 ……(一茶 三二)

カイハ(選抄)かいはいの口すぎになる櫻哉 ……(一茶 五六)

カイブ(選抄)蚊いぶしを持つて引越す木陰哉 ……(一茶 九五)

(選抄)蚊いぶしにぷつぷと煮える土瓶哉 ……(一茶 九五)

(選抄)かいぶしの上に煮立つ土鍋かな ……(一茶 九五)

(選抄)蚊いぶしもなぐさみになるひとり哉 ……(一茶 九五)

カイマ(集成)「かい曲り寐て見る藤の」の連句 ……(一茶 三五)

カイワ(選抄)界隈の繩なひ所や木下闇 ……(一茶一三一)

カウイ(選抄)斯う活て居るも不思議ぞ花の陰 ……(一茶 六三)

カウコ(選抄)斯來よと菊の立けり這入口 ……(一茶一八〇)

カウシ(選抄)斯しては居られぬ世なり雁が來た ……(一茶一六四)

カウネ(選抄)斯う寐るも我火燵ではなかりけり ……(一茶一三五)

カヲコ(選抄)蚊を殺す紙燭にうつる白髮哉 ……(一茶一一〇)

カヲヤ(選抄)蚊を燒くや紙燭にうつる妹が皃 ……(一茶一一〇)

カカシ(選抄)かゝし立て餅なき家はなかりけり ……(一茶一五六)

カガチ(選抄)蚊がちらりほらり是から老が世ぞ ……(一茶一一一)

(おら)蚊がちらりほらり是から老が世ぞ ……(一茶 八九)

カカル(集成)「かゝる夜を何が不足ぞ」の連句 ……(一茶一三九)

(集成)「かゝる世に生れた上に」の連句 ……(一茶一一八)

(株番)かゝる世に何をほたへて鳴蛙 ……(一茶 四二)

カキサ(選抄)柿崎やしぶ〱鳴の閑古鳥 ……(一茶一〇四)

(おら)柿崎やしぶ〱鳴の閑古鳥 ……(一茶 九八)

カキソ(選抄)垣外へ屁を捨に出る夜寒哉 ……(一茶一三七)

(選抄)垣添やことし花もつわか櫻 ……(一茶 六〇)

(選抄)垣添や猫の寢る程草青む ……(一茶 六六)

カキチ(選抄)書賃の蜜柑見い〱吉書哉 ……(一茶 九)

カキツ(選抄)杜若花ゆゑに葉も切れけり ……(一茶一三九)

(選抄)杜若低い花にも風の吹く ……(一茶一三九)

カキノ(選抄)柿の木であいと答へる小僧哉 ……(一茶一一五)

(選抄)柿の實や幾日ころげて麓迄 ……(一茶一七五)

カクア(寬政)かくあらば衣賣まじを春の霜 ……(一茶 八)

カクレ(選抄)かくれ家に氷柱廻りて這入けり ……(一茶一九二)

(株番)隱家に何の來ずともよい螢 ……(一茶 五九)

(選抄)隱家の犬も人數やすゝ祝 ……(一茶二二三)

(選抄)かくれ家の柱で蚤を打れけり ……(一茶 八四)

(おら)かくれ家の柱で蚤を打れけり ……(一茶 九一)

(靑翰)かくれ家は氣の向た夜が月見哉 ……(一茶 三三)

(選抄)かくれ家は蠅も小勢でくらしけり ……(一茶一一三)

(我春)象潟や田中の嶋も秋の暮……(一茶 三五)
(選抄)象潟や能因どのゝ夏の月……(一茶 八二)
キサラ(我春)二月や天神さまの梅花……(一茶 二八)
キジウ(選抄)雉うろ／＼／＼門を覗くぞよ……(一茶 三九)
(株番)雉うろ／＼／＼菴を覗くぞよ……(一茶 五三)
キジト(選抄)雉と臼寺の小晝は過にけり……(一茶 三九)
(株番)雉と臼寺の小晝は過にけり……(一茶 五三)
キジナ(花見)雉なくや彼梅わかの泪雨……(一茶 一三)
(選抄)雉子鳴やきのふ焼れし千代の松……(一茶 三九)
(選抄)雉鳴くや道灌どのゝ馬先に……(一茶 三九)
(選抄)雉鳴や先今日は是ぎりと……(一茶 三九)
(選抄)きじなくや見かけた山のあるやうに(一茶 三九)
(株番)雉なくや見かけた山のあるやうに……(一茶 五三)
(選抄)雉子なども粗鳴にけり大根引……(一茶二三六)
キソヤ(選抄)木曾山はうしろになりぬ鳴雲雀……(一茶 三五)
(選抄)木曾山へながれ込けり天の川……(一茶一四二)
(選抄)木曾山やしごき弃るも茶つみ唄……(一茶 三一)
キタサ(選抄)北嵯峨や春の雨夜のむかし杵……(一茶 一七)
キタマ(選抄)北窓や人あなどれば歸り花……(一茶二三三)
キチニ(選抄)吉日の卯月八日もかんこ鳥……(一茶一〇四)

キチモ(選抄)吉も吉上吉日ぞほとゝぎす……(一茶一〇二)
ギチユ(選抄)義仲寺はあれにゆはつ時雨……(一茶一九六)
(選抄)義仲寺や拙者も是にはつ時雨……(一茶一九六)
キツツ(選抄)木つゝきが目利して居る菴哉……(一茶一六六)
(おら)木つゝきが目利して居る菴哉……(一茶一〇六)
(選抄)木啄のけいこに叩く柱かな……(一茶一六六)
(選抄)木つゝきの死ねとて敲く柱哉……(一茶一六六)
(選抄)啄木のやめて聞かよ夕木魚……(一茶一六六)
(おら)木啄のやめて聞かよ夕木魚……(一茶一〇六)
キナガ(選抄)着ながらも洗濯したり夏の雨……(一茶 八一)
キニイ(選抄)氣に入た櫻の陰もなかりけり……(一茶 六〇)
(三韓)氣に入た櫻の蔭もなかりけり……(一茶 七四)
(選抄)氣に入らぬ蕣過分咲にけり……(一茶一八〇)
キニウ(花見)木に打は竹には足らぬ古井哉……(一茶 一五)
キニモ(選抄)木に餅の花咲く世にも逢にけり……(一茶 三四)
キヌキ(選抄)きぬ／＼やかすむ迄見る妹が家……(一茶 二一)
キヌク(書翰)衣配天窓數にははづれけり……(一茶 一六)
キノカ(選抄)木の陰や尻にあてがふ日傘……(一茶 八九)
(選抄)木の陰や蝶と休むも他生の緣……(一茶 四八)
キノシ(選抄)木の雫天窓張りけりかたつむり……(一茶二一九)

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

チリガ(選抄)散がての花よりもろき泪哉……………(一茶　六三)
(選抄)ちり紙に漉込るゝた風のてふ………(一茶　四五)
チリノ(おら)ちりの身とともにふはく紙帳哉…(一茶　八九)
(選抄)ちりの身とともにふはく紙帳哉…(一茶　九六)
チリマ(寛政)散松葉昔ながらの掃除番…………(一茶　八)
チリメ(選抄)ちりめんの狙を抱く子よ丸雪ちる…(一茶二〇八)
チルウ(選抄)ちる梅のかゝる賤しき身の柱哉………(一茶　四九)
チルコ(選抄)散る木の葉音致さぬが又寒き………(一茶二三二)
(我春)ちる木葉則去ル夕かな……………(一茶　三七)
(選抄)散る木の葉社の錠の錆しよな………(一茶二三二)
チルサ(選抄)ちる櫻けふもむちゃくちゃくらしけり(一茶　五七)
(選抄)散る櫻肌着の汗を吹せけり…………(一茶　五七)
(選抄)散櫻よしなき口を降り埋よ…………(一茶　五七)
チルス(選抄)ちる芒寒くなるのが目にみゆる……(一茶一八四)
(寂砂)ちる芒寒くなるのが目にみゆる……(一茶三三九)
チルモ(選抄)散る紅葉水ない所も月夜也…………(一茶二三三)
チルハ(花見)散る花を脇になしてや江戸贔負……(一茶　三)
(選抄)ちる花に喧嘩買らが通りけり………(一茶　六三)
(株番)散花に佛とも法ともしらぬ哉………(一茶　四六)
(選抄)散る花のぱつぱと春はなくなりぬ…(一茶　六四)
(選抄)ちる花のわらぢながらに一寝哉……(一茶　六二)
(選抄)散花もつかみ込けりばくち銭………(一茶　六三)
(選抄)ちる花やお市小袖の裙ではく………(一茶　六三)
(選抄)ちる花や已におのれも下り坂………(一茶　六三)
チンバ(選抄)ちんば鷄たまく出れば時雨けり…(一茶一九九)

ツ

ツイソ(選抄)ついそこの二文渡しや春の月………(一茶　一五)
(株番)ついそこの二文渡しや春の月………(一茶　五一)
ツイタ(書簡)朔日は迹になり行く瓢かな…………(一茶　一一)
(集成)「朔日や袷もたねば」の連句…………(一茶　六三)
(株番)「朔日や袷もたねば」の連句…………(一茶　五六)
(選抄)朔日や一文爪も江戸の客……………(一茶　九)
ツイテ(選抄)ついて來た犬も乘る哉彼岸舟………(一茶　三)
ツイノ(選抄)終の身も見事なりけり枯野原………(一茶一八九)
ツヱカ(選抄)杖かりし夜はおとゝしよ門の雪……(一茶二〇四)
ツヱサ(選抄)杖先で害解する也きくの花…………(一茶一七八)
(おら)杖先で害解する也きくの花…………(一茶一〇八)

（選抄）辻だんぎちんぷんかんも長閑哉……（一茶　一三）
ツタモ（選抄）蔦紅葉最一つ家をほしげ也…………（一茶一七五）
ツチウ（集成）「土臼も秋めかしけり」の連句………（一茶一三三）
ツチク（花見）土くさき畑はづれやなく鶉…………（一茶　一五）
（選抄）塊のはしやぎ抜けり多椿……………（一茶一三四）
（選抄）塊も心おくかよ巣立鳥……………（一茶　四一）
（書翰）土團子今日も木がらし〲ぞ………（一茶　九）
ツチデ（選抄）土でつくねた西行も月見哉…………（一茶一五三）
ツヅレ（選抄）つゞれさせ迚虫が叱る也……………（一茶一六九）
ヅニノ（選抄）圖に乘つて夕立來るやけふも又……（一茶　八一）
ツノオ（選抄）角落てはづかしげ也山の鹿…………（一茶　三一）
ツノク（選抄）つの國の何を申も枯木立……………（一茶一三一）
（おら）つの國の何を申も枯木立……………（一茶一〇五）
ツバク（選抄）乙鳥子のけいこにとぶや馬の尻……（一茶　三七）
（選抄）乙鳥の泥口ぬぐふぼたん哉…………（一茶　三七）
（選抄）燕もおれが門をば嫌ふげな…………（一茶　三六）
（株番）乙鳥や里のばくちをべちやくちやと（一茶　五一）
（株番）乙鳥よ紅粉がたらずば梅の花………（一茶　四九）
ツバメ（選抄）乙鳥飛ぶや二度とふたゝび來ぬふりに（一茶一六七）
ツブク（集成）「粒栗をころばして子に」の連句……（一茶一三八）

ヅブヌ（選抄）づぶ濡の大名を見るこたつ哉………（一茶一三四）
ツマナ（選抄）妻なしは草を咲かせて夕涼…………（一茶　七四）
（選抄）妻なしやありやかすんで居る小家…（一茶　二三）
（選抄）妻やなきしはがれ聲のきり〲す…（一茶一七〇）
ツミノ（選抄）摘殘る草の先より夕雲雀……………（一茶　三五）
ツムマ（選抄）積薪の一ッ二ッや後の月……………（一茶一三三）
ツユオ（株番）露下りて四條はもとの川原哉………（一茶　五九）
ツユケ（選抄）露けさや石の下より艸の花…………（一茶一八三）
ツユシ（選抄）露時雨佛頂面へかゝりけり…………（一茶一四三）
（選抄）露霜をゑいしてなめる御馬哉………（一茶一四六）
ツユダ（選抄）露だぶり世がよい上に又よいぞ……（一茶一四四）
ツユチ（選抄）露ちりて急にみじかくなる夜哉……（一茶　七〇）
（選抄）露散ぞ迯尻するな初螢…………（一茶一一五）
（選抄）露ちろに彌陀の御苦勞あそばさる…（一茶一四三）
（選抄）露ちるや五十以上の旅人衆…………（一茶一四四）
（選抄）露ちるや是から永き夜の段…………（一茶一四四）
（選抄）露ちるや地獄の種をけふも蒔く……（一茶一四六）
（選抄）露ちるやむさい此世に用なしと……（一茶一四三）
ツユノ（選抄）露の玉つまんで見たるわらは哉……（一茶一四四）
（書翰）露の玉つまんでみたるわらは哉……（一茶　一八）

テ

ト

トグチ（選抄）戸口から青水無月の月夜哉……（一茶　六九）
（選抄）戸口から難波がたなり夏の月……（一茶　八二）
（株番）戸口から難波がた也夏の月……（一茶　五八）
（選抄）戸口迄つい と枯込む野原哉……（一茶一八九）
トクト（選抄）とくとけよ貧乏雪とそしらるゝ……（一茶二〇六）
トクニ（選抄）とく逃げよにげよ打たれなそこの蠅（一茶二一四）
トクホ（選抄）徳本の御杖の穴や蛇も入る……（一茶一六七）
（選抄）徳本の念佛ともなれ石の露……（一茶一四四）
（選抄）徳本の腹をこやせよ蕎麥の花……（一茶一八六）
ドコヲ（選抄）どこを風が吹かとひとり餽哉……（一茶三三一）
ドコテ（選抄）どこでとしとつてもそちはらくだ哉（一茶一九三）
ドコヘ（株番）どこへなと我をもおぶへ磯の龜……（一茶　五〇）
トコロ（選抄）心太から流けり男女川……（一茶　八八）
（選抄）心太芒もともにそよぐぞよ……（一茶　八八）
ドサウ（選抄）土藏から筋違にさす初日かな……（一茶　七）
トシカ（選抄）としかさをうらやまれたる寒哉……（一茶一九一）
（書翰）年かさをうらやまれたる寒かな……（一茶　三七）
（選抄）年神が今行かしやるぞ御時宜せよ……（一茶一九四）
トシタ（選抄）年立や雨落ちの石凹む迄……（一茶　三）
トシド（選抄）とし〴〵に霜かれにけりいろは茶屋（一茶一八八）

（選抄）年問へば片手出す子や更衣……（一茶　九〇）
（おら）年問へば片手出す子や更衣……（一茶一〇一）
（書翰）としとるもわかれ〴〵やしらぬ旅……（一茶　三八）
トシノ（選抄）としの暮龜はい迄吊さるゝ……（一茶一九五）
トシヨ（選抄）としよりと見くびつて蠶逃ぬかよ……（一茶一〇八）
（選抄）としよりと見るや鳴蚊の耳のそば……（一茶一二一）
（おら）としよりと見るや鳴蚊の耳のそば……（一茶　八九）
（選抄）とし寄のせいにあれ〴〵節季ゆ……（一茶　三六）
（選抄）年寄や月を見るにもなむあみ陀……（一茶一五一）
（選抄）としよれば犬も嗅ぬぞ初袷……（一茶　九一）
トシモ（選抄）年もはや穴かしこなり如來様……（一茶一九三）
ドタバ（選抄）どたばたは婆の砧としられけり……（一茶一五六）
トチタ（選抄）栃だんごうたがふらくは是仙家……（一茶一六一）
トチノ（選抄）橡の實やいく日ころげて麓まで……（一茶一七七）
ドチム（株番）どちむくも万吉とや鳴蛙……（一茶　五〇）
ドチラ（選抄）どちらから寒くなるぞよかゞし殿……（一茶一五六）
トツク（選抄）陶の脉を見い〳〵雪見哉……（一茶二〇七）
トツト（選抄）とつときの江戸畵屏風や御取越……（一茶三三六）
トテモ（選抄）とてもなら餅につかれよ庵の草……（一茶　三〇）
（選抄）とても行く春ならいそげ草の雨……（一茶　一四）

ナ

二

ヌ

ネ

(選抄)寐返りをするぞそこのけ蛬……(一茶一七一)
ネグラ(選抄)寐ぐらしに丁度よい程夜寒哉……(一茶一三七)
(選抄)寝ぐらしやねぶつもよ佛に合歡の花(一茶一三三)
ネコカ(寛政)猫飼ずば罪作らじを雀の子……(一茶　五)
ネゴコ(選抄)寐心や膝の上なる土用雲……(一茶　六九)
ネコト(選抄)猫ともに二人ぐらしや朝蚊やり……(一茶　九五)
ネコナ(株番)猫なくや中を流るゝ角田川……(一茶　五一)
ネコノ(選抄)猫の子が益すりつける榎かな……(一茶一〇八)
(書翰)猫の子にかして遊ばす手まり哉……(一茶　二三)
(選抄)猫の子のざれなくしけりさし柊……(一茶二二六)
(選抄)猫の子のちよいと押へる木の葉哉……(一茶二三一)
(書翰)猫の子のちよいと押へる木葉かな……(一茶　九)
(選抄)猫の子や秤にかゝりつゝざれる……(一茶　三三)
(おら)猫の子や秤にかゝりつゝじやれる……(一茶　八五)
ネコロ(選抄)寝ころぶや手まり程でも春の山……(一茶　一三)
(寛政)寐ころんで蝶泊らせる外湯哉……(一茶　五)
ネスガ(日記)寝すがたの蠅追ふもけふがかぎり哉(一茶　二八)
ネズミ(選抄)鼠とはかせぎ仲間よみそさゞい……(一茶三三八)
(集成)「鼠等に茶の子ふるまふ」の連句(一茶　九四)
ネセツ(選抄)寝せつけし子のせんたくや夏の月(一茶　八二)
ネタア(選抄)寐た跡の尻も結ばず歸る雁……(一茶　三九)
ネタイ(選抄)寐た犬にふはとかぶさる一葉哉……(一茶一七四)
(選抄)寝たいやらかぶりふりけり凧……(一茶　九)
ネタシ(選抄)寝た下を凧づうん〳〵哉……(一茶二二〇)
(書翰)寐た下を凧づうん〳〵哉……(一茶　二八)
ネテオ(選抄)寐て起て大欠して猫の戀……(一茶　三三)
(選抄)寐ておはしても佛ぞよ花が降る……(一茶　二七)
ネテス(選抄)寐て涼む月や未來がおそろしき……(一茶　七五)
ネテバ(選抄)寝てばかや貰ふ餅つき二所……(一茶二二三)
ネテミ(選抄)寐て見るや元日焚の柴一把……(一茶一九三)
ネドコ(選抄)寝所見ろ程は卯花明りかな……(一茶一二三)
(おら)寝所見ゆ程は卯花明りかな……(一茶　九一)
ネナカ(選抄)寝仲間に我をも入よ春の山……(一茶　一三)
(選抄)寝仲間に我も這入ぞ野邊の蝶……(一茶　四七)
(選抄)寝ならぶやしなのゝ山も夜の雪……(一茶二〇五)
ネナラ(選抄)寝並んで遠夕立の評議哉……(一茶　八〇)
(おら)寝並んで遠夕立の評議哉……(一茶　九五)
ネバナ(選抄)寝咄の足でおり〳〵鳴子哉……(一茶一五七)
ネハン(選抄)涅槃像銭見ておはす皃もあり……(一茶　二七)
(西歌)涅槃像銭見ておはす皃もあり……(近名二五二)

ノ

ノドケ（寛政）長閑しや雨後の畠の朝煙ッ……（一茶　三）
　（選抄）長閑しや大宮人の裾埃り……（一茶　一三）
ノニフ（選抄）野に伏せば蚊屋釣草も頼むべし……（一茶一三〇）
ノノサ（選抄）のゝさまと指た月出たりけり……（一茶一五二）
ノノス（選抄）野の菫あの家なくもあれかしな……（一茶　六七）
ノハコ（選抄）野ばこせん見ることなかれみそさゞい（一茶二三八）
ノハヤ（選抄）野は柳頭巾やよけん笠よけん……（一茶二三一）
ノビツ（選抄）野火つけてはらばうて見る男哉……（一茶　二八）
ノビヤ（選抄）野火山火夜も世の中よいとやな……（一茶　二八）
ノボリ（選抄）幟から引つゞくなり田のそよぎ……（一茶　八三）
ノミシ（選抄）蚤虱よりあひもする春中哉……（一茶一〇八）
ノミト（集成）「蚤飛べよ同じ事なら」の連句……（一茶一一〇）
　（選抄）蚤どもがさぞ夜永だろ淋しかろ……（一茶一三五）
　（選抄）蚤どもに松島見せて逃しけり……（一茶一〇七）
　（選抄）蚤どもも隠るゝすべはしりにけり……（一茶一〇八）
ノミノ（選抄）蚤の迹かぞへながらに添乳哉……（一茶一〇八）
　（おら）蚤の迹かぞへながらに添乳哉……（一茶一〇一）
　（選抄）蚤の跡それも若きはうつくしき……（一茶一〇七）
　（選抄）蚤の迹吹いて貰ってなく子哉……（一茶一〇八）
ノミハ（選抄）蚤蠅にあなどられつゝけふも暮ぬ……（一茶一一三）
　（集成）「蚤蠅にあなどられつゝ」の連句……（一茶一四三）
ノミヒ（選抄）蚤ひよいひよい〳〵達者じまん哉（一茶一〇九）
ノミヤ（選抄）蚤焼て日和占ふ山家哉……（一茶一〇九）
ノラク（選抄）のらくらが遊びかげんの夜寒哉……（一茶一三八）
　（おら）のらくらが遊びかげんの夜寒哉……（一茶一〇六）
　（選抄）のらくらもあればあるぞよ年の暮……（一茶一九五）
　（選抄）のらくらも御代のけしきぞ更衣……（一茶　九〇）
ノラネ（選抄）のら猫も妻かせぎする夜也けり……（一茶　三二）
　（選抄）のら猫も妻乞ふ聲は持にけり……（一茶　三三）
ノラノ（選抄）野らの蛇入るや鼠の明穴に……（一茶一六七）
　（選抄）のら〳〵の丈の高さよ烏麥……（一茶一三四）
ノラユ（選抄）野ら雪や菰にくるんで捨ル菴……（一茶二〇六）
ノリカ（選抄）乗掛のひよつくり出たるわか葉哉……（一茶一三〇）
ノリツ（選抄）粘づけよ迚鳥が鳴紙子哉……（一茶二三一）
ノリノ（選抄）法の山や蛇もうき世を捨衣……（一茶　四五）
　（おら）法の山や蛇もうき世を捨衣……（一茶　九一）
　（選抄）法の世や蛇もそつくり捨衣……（一茶　四五）
ノワキ（選抄）野分して見事に暮るゝ焚火かな……（一茶　一一）
ノンタ（株番）呑太郎泣ならやらん梅の花……（一茶　四九）

ハ

(選抄)初春や千代のためしに立ち給ふ……(一茶　五)

ハツホ

(選抄)はつ螢其手はくはぬとびぶりや……(一茶一五)

(おら)はつ螢其手はくはぬとびぶりや……(一茶　九七)

(選抄)はつ螢ついとそれたる手風哉……(一茶一五五)

(選抄)初螢脇目もふらず通りけり……(一茶一五)

ハツモ

(選抄)初物ぞうすつぺらでもおれが雪……(一茶二〇三)

(書翰)はつものゝうちになくなれ門の雪……(一茶　一九)

(選抄)初ものや大雷の光さへ……(一茶　一七)

ハツユ

(選抄)初雪をいま／＼しいといふべかな……(一茶二〇三)

(書翰)初雪をいま／＼しいといふべ哉……(一茶　二一)

(選抄)はつ雪を鬼一口にくひてけり……(一茶二〇二)

(選抄)はつ雪を敵のやうにそしる哉……(一茶二〇二)

(選抄)初雪を着て戻りけり祕藏猫……(一茶二〇三)

(書翰)初雪を着て戻りけり祕藏猫……(一茶　一九)

(選抄)はつ雪を降らせておくや鉢の松……(一茶二〇三)

(選抄)はつ雪を皆ふんづけし烏哉……(一茶二〇二)

(選抄)はつ雪を見よや奴が尻の先……(一茶二〇三)

(選抄)初雪といふ聲今年よわりけり……(一茶二〇三)

(選抄)はつ雪のひッつき易い鍬手哉……(一茶二〇二)

(選抄)初雪のふは／＼かゝる小鬢哉……(一茶二〇二)

(選抄)はつ雪の降り捨てある家尻哉……(一茶二〇三)

(おら)はつ雪の降り捨てある家尻哉……(一茶一九九)

(花見)初雪やあしたの原の吹とまり……(一茶　一六)

(選抄)はつ雪や家鴨の椀も朝のさま……(一茶二〇二)

(選抄)初雪や御駕へ運ぶ二八そば……(一茶二〇三)

(選抄)はつ雪や御きげんのよい御烏……(一茶二〇三)

(選抄)はつ雪やおしかけ客の夜番小屋……(一茶二〇三)

(選抄)はつ雪や息を殺して相借家……(一茶二〇二)

(選抄)はつ雪や今行く里の見えて降る……(一茶二〇四)

(選抄)初ゆきや椽から落し上草履……(一茶二〇三)

(我春)はつ雪や雪隱の供の小でうちん……(一茶　三六)

(選抄)はつ雪や其角が窓も見えて降る……(一茶二〇二)

(選抄)はつ雪やこきつかはるゝ立佛……(一茶二〇三)

(選抄)初雪や誰ぞ來よかしの素湯土瓶……(一茶二〇二)

(選抄)初雪や俵の上の小行燈……(一茶二〇三)

(選抄)はつ雪やちりふの布の錢叺……(一茶二〇二)

(選抄)はつ雪やとある木陰の神樂笛……(一茶二〇二)

(選抄)はつ雪やといふも家にあればこそ……(一茶二〇三)

(我春)はつ雪やとても作らば立砂佛……(一茶　三七)

(選抄)はつ雪やどなたが這入る野雪隱……(一茶二〇三)

(選抄)春風のそこ意地寒し信濃山……(一茶 一五)
(書翰)春風のそこ意地寒ししなの山……(一茶 二三)
(選抄)春風の夜にして見たる我家哉……(一茶 一五)
(選抄)春風や逢坂越る女講……(一茶 一五)
(選抄)春風や牛にひかれて善光寺……(一茶 一六)
(我春)春風や牛にひかれて善光寺……(一茶 二八)
(寛政)春風や順禮共がねり供養……(一茶 九)
(選抄)春風や十づゝ十の石なごに……(一茶 一五)
(選抄)春風やとある垣根の赤草履……(一茶 一五)
(集成)「春風も久し振にて」の連句……(一茶 二三)

ハルコ(書翰)春駒は竹でしてさへいさみけり……(一茶 二三)

ハルサ(選抄)春雨に大欠伸する美人哉……(一茶 一九)
(我春)春雨に大欠ビスル美人哉……(一茶 二七)
(選抄)春雨のいくらもふれよ茶呑橋……(一茶 一七)
(花見)春雨の晴所也君が松……(一茶 一三)
(株番)春雨や翌は何くふ浦の家……(一茶 四二)
(選抄)春雨や相に相生の松の臀……(一茶 一九)
(選抄)春雨や家鴨よち／＼門歩き……(一茶 一八)
(選抄)春雨や喰れ殘りの鴨が鳴……(一茶 一八)
(選抄)春雨や盃見せて狐よぶ……(一茶 一八)
(選抄)春雨やしたゝか錢の出た窓へ……(一茶 一八)
(株番)春雨やてうちん持の小傾城……(一茶 五一)
(選抄)はる雨や鮽ののぼる程の瀧……(一茶 一九)
(選抄)はる雨や猫に踊をしへる子……(一茶 一九)
(選抄)春雨や腹をへらしに湯につかる……(一茶 一九)
(寛政)春雨や獨法談ニはいかい……(一茶 六)
(我春)春雨や貧乏樽の梅の花……(一茶 二七)
(選抄)春雨や鼠のなめる角田川……(一茶 一九)
(選抄)春雨や窓から直ぎる肴うり……(一茶 一七)
(選抄)春雨や窓も一人に一ツづゝ……(一茶 一八)
(選抄)春雨や藪に吹るゝ捨手紙……(一茶 一八)

ハルタ(花見)春立といふばかりにや吉野槐……(一茶 一三)
(選抄)春立と申すもいかゞ上野山……(一茶 四)
(選抄)春立や愚の上に又愚にかへる……(一茶 四)
(選抄)春立や先づ人間の五十年……(一茶 四)
(選抄)春立や見古したれど筑波山……(一茶 四)
(選抄)春立や彌太郎改一茶坊……(一茶 四)

ハルノ(寛政)春の雨倦もはてなで糸車……(一茶 五)
(選抄)春の風足むく方へいざさらば……(一茶 一五)
(選抄)春の風おまんが布のなりに吹ク……(一茶 一五)

ヒ

フ

マ

ム

メ

(選抄)名月や山有川有寐ながらに……(一茶一五〇)

メイメ(選抄)めい〳〵に鳴き場を坐とる蛙哉……(一茶四四)

メウト(選抄)夫婦鴨碇おろして遊びけり……(一茶二三〇)

メヲサ(選抄)目を覺せあこが乙鳥も參たぞ……(一茶三六)

メキキ(選抄)目利だてふしくれ大根引にけり……(一茶二三五)

メザス(選抄)目ざす敵は鷄頭よ横時雨……(一茶一九七)

メサマ(選抄)目覺しのぼたん芍藥でありしよな……(一茶二三五)

メシケ(選抄)飯けむり賑ひにけり夕きぬた……(一茶一五六)

メシツ(寬政)召仕新しき哉小正月……(一茶五)

(選抄)飯纏にきせれば蒲團なかりけり……(一茶二三三)

メシノ(選抄)飯の湯のうれしくなるやちるみぞれ(一茶二〇八)

メシビ(選抄)飯櫃の蔭に寄き屑家哉……(一茶九二)

(選抄)飯櫃の螢追ひ出す夜舟哉……(一茶二一七)

メソメ(選抄)めそ〳〵と年は暮けり貧乏樽……(一茶一九五)

メダシ(選抄)芽出しから人さす艸はなかりけり……(一茶六六)

メデタ(選抄)めでたさの煙袋えてなく蛙……(一茶四五)

(選抄)目出度は案山子もつひのけぶり哉……(一茶一五七)

(選抄)目出度はことしの蚊にも喰れけり……(一茶二一一)

(選抄)目出度もちう位也おらが春……(一茶五)

(おら)目出度もちう位也おらが春……(一茶八四)

メニハ(選抄)目に這入るやうな門でも寄柳ぞ……(一茶五四)

メノウ(選抄)目の上の瘤とひろがる榎哉……(一茶二三〇)

メノス(選抄)目の砂をこする握手に小てふ哉……(一茶四五)

モ

モクボ(選抄)木母寺が見ゆる〳〵と日傘哉……(一茶八九)

モクレ(選抄)默禮の髮がそよぐぞ苔の花……(一茶二三〇)

モジノ(選抄)文字のある木の葉もおちよ身延山……(一茶二三二)

モズナ(選抄)鵙鳴くやあつもり返せ〳〵迚……(一茶一六七)

モズノ(選抄)鵙の聲かんにん袋きれたりな……(一茶一六六)

(おら)鵙の聲かんにん袋きれたりな……(一茶一〇八)

モズヨ(選抄)鵙よ鵙びんちやんするなかゝる代に(一茶一六六)

モタイ(選抄)勿體なや晝寐して聞く田植唄……(一茶八五)

(選抄)もたいなや虫も蓑着てかせぐ世に……(一茶一七三)

モチウ(選抄)餅臼にそれうぐひすよ〳〵……(一茶二二四)

モチカ(選抄)餅買に箱提灯や春の雨……(一茶二〇)

(我春)餅買に箱てうちんや春雨……(一茶二八)

(選抄)餅欠の石と成りけり春の雨……(一茶一八)

ヤ

ユ

レ

ロ

ワ

全句索引をはり

輯末に

「日本俳書大系」全十七卷の刊行に私達が着手してより一年有半、幸にも大なる過失なく、大なる遲滯なく、こゝに最後の卷たる「索引」を編し終へた次第である。

此「索引」は――最初に刊行の言葉の中にも述べた如く――此「大系」全十七卷を有機的に生かすものとして編纂に意を注いだのであつて、從來刊行されてゐる俳諧の叢書文庫類になき此「大系」本の特色でもある。一體、「索引」といふものが、讀者にとつては非常に便利なものであると共に、編纂者にとつては非常に面倒なものである事は、豫想の外といふべきである。近頃、或人が大藏經索引を完成されたが、其には三十年の日數を要したといふ話である。其と此とは量に於て比較にならぬと云はれようとも、兎も角、我が俳諧道に於ける殆ど一切の古書を輯成したる觀のある、卽ち俳諧の大藏經たる此「大系」の索引が短日月にして完成した事は、諸君に喜んでいたゞいてもいゝと思ふ。

「大系」の全卷が、例へば人間の全軀であるとしたならば、「索引」は方に其頭腦に當るべきものである。痒き所に向つて直に手をとゞかしめる事が頭腦の反射的なる作用である如く、求むる所のものを速に見出さしむる事が明敏なる頭腦の作用にある如く、或俳人に就て知らんとする事、或地名に就て知らんとする事、又、或句に就て審かならしめんとする事等、すべて此「索引」に依れば眞の痒きを掻くが如く、嚢中を搜るが如きものであらう。――何處に何があるか？といふ事は、單に古書を檢索する場合ばかりでなく、私達の日常生活に於ても肝要な事である。自分が確に有してゐる所のものでも、若し其を要する場合に其を見出し得ないならば、所有してゐないと同じ事である。否、焦慮

をなし手間をとるだけ、全然所有してゐないよりもまだ悪い場合さへある。さういふ意味で、世間に多くの全集類が單に所謂ツンドクに終つて、四肢不随なる書棚の臥病人の如き中に、此「大系」が好き腦髓と鋭き神經とをもてるが如く、隨所に隨時に働き得るといふ事は、あながち編纂者側の自賛ばかりでもあるまいと思ふ。

だが、そこに一つ考へねばならぬ事がある。諸君の中には古俳諧の考證的研究のみを主としてをられる方もあらうが、恐らく、諸君の大部分は、俳句の愛好者であり、又俳句の作家であらう、即ち俳句を以て心裡を樂ましめ、又句作を以て心境を進めんとしてゐる方々であらう。さういふ方にとつては、芭蕉の斯ういふ逸話が何の書に出てゐるかとか、蕪村の彼句は何年の作であるかとか、一茶の誰に宛てた書簡には何とあるかとかいふ問題よりも、もつと直接に自分の心に響いて來る問題、もつと緊密に自分の趣味を養ひ得る資料こそ、一層有益なるものに違ひない。さういふ意味に於て――之は私が云ふまでもない所かも知れぬが――諸君の各自が自分としての「索引」を持たれねばならない事、つまり、誰もが自分の頭腦を持つてゐる如く、諸君自身の選擇と判斷とを以て此「大系」を諸君自身に役立てゝゆかねばならぬ事である。如何なる好き書物だとても、其全部が心の糧となるものではない、甲にとつては特に或一章が、乙にとつては他の一章が消化され、吸取される。此「大系」の如き浩翰なる集成ものに於ては猶更、其選擇作用は必要である。たとへば、芭蕉のどういふ思想から啓發される所があるか、蕪村のどういふ句を嘆賞すべきであるか、一茶が人間としてのどういふ點に共鳴するか、其を決定するものは諸君の聰明なる頭腦でなければならぬ、而してその「頭腦」即ち「索引」に依つて、此「大系」を通讀せられてこそ、全十六卷の尨大なるものが初めて眞に生きて、諸君の内的生活の上の光となり、諸君が趣味求眞の上の指針となるであらう。古の俳句が必しも古いものではない。其を新しいものとして今日に生かす事も出來る。古の俳話のかなり妄誕なものでさへも、其から逆說的なる暗示を感ず

る事も出來る。それらは凡て諸君自身の心にある所の個人的なる「索引」に依て、健全なる同化作用を行はるべきものである。芭蕉が單に二百數十年前の存在として研究せらるゝならば、それは骨董芭蕉である、我等に於て何の關りあらんやである。私達が芭蕉を愛敬する所以は我等の芭蕉としてゞはないか。私達が古人の道を踏んでゐるといふ事は、古人の歩んだ其先に更に好き進出をなさんが爲ではないか。南山大師の言葉――「古人の跡を求めずして古人の求めたる所を求めよ」――とは芭蕉も引いてゐる所だが、實に千古不易の名言である。私達が芭蕉を研究するのは、芭蕉の跡を發掘するやうな意味ではなくて、芭蕉が求めてゐた所のものは何かといふ事を知り、而して其が私達の求めてゐる所のものと如何に合致してゐるかを確めた上で、芭蕉に教へらるべき所を教へられ、芭蕉の爲し殘したる所を爲さねばならぬのである。重ねて云ふ、此「大系」本の「索引」が諸君に便する事は多からうと思ふが、更に好き「索引」、即ち諸君の內的生活の上に俳諧道から何を索り何を引出して來たらば好きかといふ事は、諸君自身の聰明なる頭腦に待たねばならぬ事である。（荻原井泉水）

日本俳書大系 第十六卷 終

昭和三年二月廿四日印刷
昭和三年三月一日發行

非賣品

日本俳書大系

(16)

著作者　神田豐穗

發行者　神田豐穗
東京市日本橋區數寄屋町一番地

印刷者　谷口熊之助
東京市牛込區早稲田鶴巻町四〇三

印刷所　春秋社印刷所

發行所
東京市麹町區内山下町一ノ一・春秋社内
日本俳書大系刊行會
電話銀座五六五二番





